

法施行令第十四條乃至第十七條ノ規定ニ依ル
遺族年金ノ受給期間満了スル場合ニ於ケル一時金ヲ受クベキ遺族ノ範
圍及順位ハ前項ノ規定ニ依ル
前項ノ遺族ナキ場合ハ第二十二條ノ規定ニ依ル

第七款 特別給與金

第六十七條 特別給與金ハ本規程ニ定ムル諸給付ヲ受クルコト能ハザル
モ特ニ救済ヲ必要トスル事情アルトキ又ハ之ヲ受クルモ仍救済ノ必要
アリト認ムルトキハ百圓以内ニ於テ之ヲ支給スルコトヲ得

第三節 第二種組合員ニ對スル給付

第一款 疾病給與金

第六十八條 疾病給與金ハ第二種組合員又ハ其ノ家族ノ疾病又ハ負傷ニ
關シ左ノ區別ニ依リ之ヲ支給ス但シ職務上ニ起因スル場合ヲ除ク

一 醫療金

第六十九條 醫療金ハ第二種組合員又ハ其ノ家族醫療ヲ受ケタルトキ左
ノ區別ニ依リ之ヲ支給ス

- 一 組合員 組合ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師ノ醫療ヲ受ケタルト
キハ醫療費ヨリ組合員ノ負擔額ヲ控除シタル額、組合ノ指定セザル
醫師又ハ齒科醫師ノ醫療ヲ受ケタルトキハ醫療費ノ十分ノ八ニ相當
スル金額但シ結核性呼吸器疾病ノ爲本市ヨリ出勤停止ヲ命ゼラレタ
ルトキハ其ノ間ノ醫療費ニ付テハ全額
 - 二 家族 醫療費ノ十分ノ五ニ相當スル金額
- 醫療金ノ支給ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付其ノ
醫療金ノ支給ヲ開始シタル日ヨリ起算シ六月ヲ經過シタルトキハ之ヲ
爲サズ

結核性疾病ニ關シテハ前項ノ期間ヲ超エ通ジテ一年ニ至ル迄繼續シテ
支給ヲ爲ス但シ其ノ支給ヲ開始シタル日前三月以上引續キ組合員タリ
シ者ニ限ル

第二種組合員第七條第二號ニ依リ組合ヲ脱退シタル際第一項ニ依ル醫
療金ノ支給ヲ受クルトキハ第二種組合員又ハ其ノ家族トシテ醫療金ノ
支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ期間繼續シテ其ノ支給ヲ受クルコトヲ
得

引續キ六月以上組合員タリシ者健康保險法ノ被保險者ト爲リタルトキ
ハ其ノ後六月間家族醫療金ノ支給ヲ受クルコトヲ得

第七十條 醫療金ハ左ノ各號ノ範圍トス

- 一 診察
- 二 藥劑又ハ治療材料
- 三 處置手術其ノ他ノ治療
- 四 入院
- 五 看護
- 六 移送

前項醫療金ノ標準ハ統理別ニ之ヲ定ム

第七十一條 前條第一項第四號乃至第六號ノ療養ニ付醫療金ノ支給ヲ受
ケントスルトキハ組合ノ承認ヲ受クベシ但シ統理ノ定ムル疾病又ハ負
傷ニヨリ入院スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ承認ヲ得ザル者ニ付テハ醫療金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザルコ
トアルベシ

第七十二條 第六十九條第四項ノ規定ニ該當スル者他ノ其濟組合、健康
保險又ハ船員保險等ノ組合員若ハ被保險者ト爲リタルトキハ其ノ日ヨ

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

リ第六十九條第一項第一號ニ依ル醫療金ノ支給ハ之ヲ爲サズ

第二種組合員ノ家族ニシテ本組合、他ノ其濟組合、健康保險又ハ船員
保險等ノ組合員若ハ被保險者ト爲リタルトキハ其ノ日ヨリ第六十九條
第一項第二號ニ依ル醫療金ノ支給ハ之ヲ爲サズ

第七十三條 第二種組合員、第三種組合員タリシ者又ハ第二種組合員ノ
家族ニシテ組合ノ指定シタル醫師若ハ齒科醫師ニ付醫療ヲ受ケタルト
キハ組合ハ醫療金ノ支給ニ代ヘ其ノ額ノ限度ニ於テ當該醫師ニ對シ其
ノ費用ヲ支拂フコトヲ得

組合必要アリト認ムルトキハ前項ノ支拂限度ヲ超エ醫療費ヲ立替支拂
フコトヲ得

前項ノ醫療費ノ立替金ハ立替ヲ爲シタル月以後ノ第二種組合員ノ本市
又ハ組合ヨリ受クル給料其ノ他諸給與金中ヨリ之ヲ徴收ス

第七十四條 休養手當金ハ第二種組合員疾病又ハ負傷ノ爲業務ニ服スル
コト能ハザルニ至リタル日ヨリ起算シ第四日ヨリ給料ノ支給ヲ受ケザ
ル期間一日ニ付給料日額ノ十分ノ六ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ入院
シタル第二種組合員ニ對シ支給スベキ休養手當金ハ家族ナキ場合ニ於
テハ給料日額ノ十分ノ二ニ相當スル金額トス

第七十五條 前條ノ規定ニ依ル休養手當金ノ支給期間ハ同一ノ疾病又ハ
負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付テハ療養ノ爲業務ニ服スルコト能ハ
ザルニ至リタル日ヨリ起算シ六月ヲ以テ限度トス

第六十九條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
前二項ノ休養手當金ハ其ノ支給期間ヲ經過セザルトキト雖モ醫療金ノ
支給ヲ爲シ得ル期間ヲ經過スルニ至リタルトキハ之ヲ支給セズ

第二款 特症給與金
第七十六條 特症給與金ノ支給ニ付テハ第三十八條ノ規定ヲ準用ス

第三款 産婦給與金
第七十七條 産婦給與金ハ第二種組合員又ハ其ノ配偶者分娩シタルトキ
左ノ區別ニ依リ之ヲ支給ス

- 一 分娩手當金
 - 二 休養手當金
- 第二種組合員ニ對スル分娩手當金ハ分娩日前三月以上引續キ組合員タ
リシ者、休養手當金ハ六月以上引續キ組合員タリシ者ニ非ザレバ之ヲ
支給セズ

組合長必要ト認ムルトキハ第二種組合員ヲ産院ニ入院セシムルコトヲ
得

第六十九條第五項ノ規定ハ配偶者分娩手當金ノ支給ニ之ヲ準用ス

第七十八條 分娩手當金ハ第二種組合員又ハ其ノ配偶者分娩シタルトキ
左ノ區別ニ依リ之ヲ支給ス

- 一 組合員 三十圓
- 二 配偶者 十五圓

第七十九條 休養手當金ハ第二種組合員分娩ノ爲休養シ給料ノ支給ヲ受
ケザルトキハ分娩ノ日前二十八日、分娩ノ日以後四十二日以内ニ於テ
一日ニ付給料日額ノ十分ノ六ニ相當スル金額ヲ支給ス

分娩ノ日其ノ豫定日ヨリ後レタルトキハ前項ノ分娩ノ日前ノ期間ヲ七
日以内延長スルコトアルベシ

入院シタルトキニ支給スベキ第一項ノ休養手當金ニ付テハ第七十四條
但書ノ規定ヲ準用ス

第一項ニ依ル休養手當金ノ支給ヲ爲ストキハ其ノ期間第七十四條ニ依
ル休養手當金ハ之ヲ支給セズ

第四款 災厄給與金

第八十條 災厄給與金ノ支給ニ付テハ第四十條乃至第四十三條ノ規定ヲ準用ス

第五款 脱退手當金

第八十一條 脱退手當金ノ支給ニ付テハ第四十四條乃至第四十六條ノ規定ヲ準用ス

第六款 養老年金

第八十二條 養老年金ノ支給ニ付テハ第四十七條乃至第四十九條及第五十二條ノ規定ヲ準用ス

第八十三條 養老年金ノ支給ヲ受クル者ガ死亡シタル場合ニ於テハ既ニ支給ヲ受ケタル養老年金ノ總額ガ組合脱退ノ際支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ脱退手當金ニ相當スル金額ニ滿タザルトキハ其ノ差額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

第八十四條 第二種組合員タリシ期間二十年以上ナル者ガ養老年金ノ支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ場合ニ於テハ其ノ者ガ支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ脱退手當金ニ相當スル金額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

前項ノ規定ハ第二種組合員タリシ期間二十年以上ナル者ガ脱退手當金ノ支給ヲ受ケタル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

第八十五條 第一種組合員ヨリ第二種組合員ト爲リタル者ニ對スル養老年金及脱退手當金ハ第一種組合員タリシ期間及第二種組合員タリシ期間ヲ通算シタル期間ニ付前三條ノ規定ニ依リ之ヲ支給ス

第八十六條 第二種組合員タリシ者ニシテ組合脱退ノ際第三種組合員又ハ第四種組合員タリシ者ニハ第八十二條ノ規定ニ依リ準用スル第五十二條第一項本文ノ規定ニ拘ラズ養老年金ノ支給ヲ爲ス場合ト雖モ脱退

手當金ヲ支給ス此ノ場合ニ於ケル脱退手當金ノ額ハ第二種組合員タリシ期間(第一種組合員ヨリ第二種組合員ト爲リタル者 在リテハ第一種組合員タリシ期間及第二種組合員タリシ期間ヲ通算シタル期間)ニ付第二種組合員ニ對スル脱退手當金ノ規定ニ依リ算出シタル金額ヲ控除シタル金額トス

第八十七條 第一種組合員タリシ期間二十年以上ニシテ引續キ第二種組合員ト爲リタル者ガ組合ヲ脱退シタル後死亡シタルトキハ第六十二條乃至第六十六條ノ規定ヲ準用シ遺族年金ヲ支給ス此ノ場合ニ於テハ第一種組合員タリシ期間及第二種組合員タリシ期間ハ之ヲ通算ス

前項ノ組合員ニ對スル養老年金ノ支給ニ付テハ第八十五條ノ規定ニ依リ準用スル第八十三條及第八十四條ノ規定ニ拘ラズ第五十條、第五十一條第一項及第二項後段ノ規定ヲ準用ス

第七款 特別給與金

第八十八條 特別給與金ノ支給ニ付テハ第六十七條ノ規定ヲ準用ス

第四節 第三種組合員ニ對スル給付

第一款 疾病給與金

第八十九條 疾病給與金ノ支給ニ付テハ第六十八條乃至第七十五條ノ規定ヲ準用ス

第二款 特症給與金

第九十條 特症給與金ノ支給ニ付テハ第三十八條ノ規定ヲ準用ス

第三款 産婦給與金

第九十一條 産婦給與金ノ支給ニ付テハ第七十七條乃至第七十九條ノ規定ヲ準用ス

第四款 厄災給與金

第九十二條 厄災給與金ノ支給ニ付テハ第四十條乃至第四十三條ノ規定

〔大例一三號〕

ヲ準用ス

第五款 脱退手當金

第九十三條 脱退手當金ハ第三種組合員退職若ハ死亡シタルニ因リ組合ヲ脱退シタルトキ給料日額ニ別表第二及第四ニ定ムル日數ヲ乘ジテ得タル金額ヲ本人又ハ其ノ遺族ニ支給ス

第九十四條 第三種組合員職務執行ニ起因セズシテ死亡シタルトキハ左ノ區別ニ依リ算出シタル金額ヲ脱退手當金ニ加算シ其ノ遺族ニ支給ス但シ組合加入一年未滿ノ者ニ對シテハ給料三十日分ヲ支給ス

組合加入年數一年以上ノ者 給料四十日分

同 三年以上ノ者 給料五十日分

同 五年以上ノ者 給料六十日分

前項ノ金額ガ五十圓未滿ナルトキハ五十圓トス

第九十五條 第四十四條第二項、第三項及第四十六條ノ規定ハ脱退手當金ノ支給ニ付テハ準用ス

第六款 特別給與金

第九十六條 特別給與金ノ支給ニ付テハ第六十七條ノ規定ヲ準用ス

第五節 第四種組合員ニ對スル給付

第一款 特症給與金

第九十七條 特症給與金ノ支給ニ付テハ三十八條ノ規定ヲ準用ス

第九十八條 労働者年金保險法ニ依リ廢疾年金又ハ廢疾手當金ノ支給ヲ受クル者ニハ特症給與金ヲ支給セズ

第二款 災厄給與金

第九十九條 災厄給與金ノ支給ニ付テハ第四十條乃至第四十三條ノ規定ヲ準用ス

第三款 脱退手當金

第七類 給與 第六章 厚生施設

〔大例一三號〕

第一百條 脱退手當金ハ第四種組合員退職若ハ死亡シタルニ因リ組合ヲ脱退シタルトキ給料日額ニ別表第二ニ定ムル日數ヲ乘ジテ得タル金額ヲ本人又ハ其ノ遺族ニ支給ス

第一百一條 第四種組合員職務執行ニ起因セズシテ死亡シタルトキハ左ノ區別ニ依リ算出シタル金額ヲ脱退手當金ニ加算シ其ノ遺族ニ支給ス但シ組合加入一年未滿ノ者ニ對シテハ給料三十日分ヲ支給ス

組合加入年數一年以上ノ者 給料四十日分

同 三年以上ノ者 給料五十日分

同 五年以上ノ者 給料六十日分

前項ノ金額ガ五十圓未滿ナルトキハ五十圓トス

第一百二條 第四十四條第二項、第三項及第四十六條ノ規定ハ脱退手當金ノ支給ニ付テハ準用ス

第四款 特別給與金

第一百三條 特別給與金ノ支給ニ付テハ第六十七條ノ規定ヲ準用ス

第六節 第五種組合員ニ對スル給付

第一款 醫療金

第一百四條 醫療金ノ支給ニ付テハ第六十八條(第二號ヲ除ク)、第六十九條第一項乃至第三項及第五項、第七十條乃至第七十三條ノ規定ヲ準用ス

第五種組合員第七條第二號又ハ第三號ノ規定ニ依リ組合ヲ脱退シ又ハ休職ヲ命ゼラレタル際醫療金ノ支給ヲ受クルトキハ第五種組合員又ハ其ノ家族トシテ醫療金ノ支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ期間引續シテ其ノ支給ヲ受クルコトヲ得

引續キ六月以上健康保險法ノ被保險者タリシ者第五種組合員ト爲リタルトキハ其ノ日ヨリ家族醫療金ノ支給ヲ受クルコトヲ得

第二款 特種給與金
第一百五條 特種給與金ノ支給ニ付テハ第三十八條ノ規定ヲ準用ス

第三款 分娩手當金
第一百六條 分娩手當金ノ支給ニ付テハ第七十七條(第二號ヲ除ク)及第七十八條ノ規定ヲ準用ス

第四款 災厄給與金
第一百七條 災厄給與金ノ支給ニ付テハ第四十條乃至第四十三條ノ規定ヲ準用ス

第五款 特別給與金
第一百八條 特別給與金ノ支給ニ付テハ第六十七條ノ規定ヲ準用ス

第五章 會計

第一百九條 組合ノ會計年度ハ市ノ會計年度ニ依ル

第一百十條 組合費ノ徵收、田納及物品財産ノ管理其ノ他會計事務並ニ豫算決算ニ關スル事項ハ統理之ヲ定ム

第六章 役員、職員及役員會

第一百十一條 組合ニ在ノ役員ヲ置ク

一 組合長

二 事務長

三 審議員

四 評議員

第一百十二條 組合長ハ市吏員中ヨリ事務長ハ市吏員又ハ組合職員中ヨリ統理之ヲ選任ス

第一百十三條 組合長ハ組合ヲ代表シ統理ノ命ヲ受ケ組合ノ事務ヲ掌理シ組合職員及備員ヲ指揮監督ス

認テ得テ組合長之ヲ囑託又ハ任免ス

第七章 給與

第一百二十條 組合ノ役員ガ其ノ職務ノ爲ニ要シタル費用ハ組合ニ於テ之ヲ負擔スルコトヲ得

前項ノ負擔額ハ統理之ヲ定ム

第一百二十一條 組合ノ役員ハ前條ノ負擔ノ外其ノ職務ニ從事スル間市ヨリ給與ヲ受ケザルトキハ本組合ニ於テ市ヨリ給與セラレベキ給與ニ相當スル額ヲ支給ス

第一百二十二條 第一百十九條ノ規定ニ依ル職員及備員ノ給料及給與ニ關シテハ統理ノ定ムル所ニ依ル

第一百二十三條 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ統理之ヲ定ム

附則

第一百二十四條 本改正規程ハ昭和十七年六月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ癩疾年金ノ癩疾手當金ノ支給ニ關スル規定ハ昭和二十年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一百二十五條 本改正規程施行ノ際既ニ組合員タル者ハ從前ノ規定ニ依リ組合員タル資格ヲ取得シタル日ヨリ引續キ本改正規程ニ依リ第一種、第二種又ハ第五種組合員ト看做ス

第一百二十六條 本改正規程施行ノ際從前ノ規定ニ依リ甲種組合員タル者ニシテ本改正規定施行ノ日ニ於テ第四種組合員ト爲リタル者ニ對スル脱退手當金ノ算定方法ハ統理之ヲ定ム

第一百二十七條 昭和十六年三月三十一日以前ニ既ニ組合員タル者吏員ト爲リ又ハ電氣局ニ轉職シタルニ因リ組合ヲ脱退シタルトキハ退職シタルモノト看做ス第四十四條ノ規定ニ拘ラズ脱退手當金ハ其ノ際之ヲ支給ス

事務長ハ組合長ヲ輔佐シ組合長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス
第一百十四條 審議員ノ定數ヲ六名トシ評議員中ヨリ統理之ヲ命ズ
第一百十五條 本組合ニ審議員會ヲ置ク
審議員會ハ審議員ヲ以テ組織シ組合長ノ諮問ニ應ジ左ノ事項ヲ審議ス
一 第三十四條第一項本文、第三十五條、第四十條(第八十條、第九十二條、第九十九條及第一百七條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)及第六十七條(第八十八條、第九十六條、第一百三條及第一百八條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依ル給付金額算定ニ關スル事項
二 其ノ他組合長ニ於テ必要ト認ムル事項
第一百十六條 評議員ハ報國會長ノ推薦シタル組合員ニ付統理之ヲ命ズ統理ハ前項以外ノ組合員又ハ其ノ他ノ市職員中ヨリ之ヲ命ズルコトヲ得

評議員ノ員數ハ統理別ニ之ヲ定ム

第一百十七條 本組合ニ評議員會ヲ置ク

評議員會ハ評議員ヲ以テ組織シ組合長之ヲ統裁ス

評議員會ハ統理ノ諮問ニ應ジ左ノ事項ヲ審議ス

一 歳入出豫算ニ關スル事項

二 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ナル義務ノ負擔及權利ノ拋棄ニ關スル事項

四 福利事業ノ方策ニ關スル事項

五 其ノ他統理ニ於テ必要ト認ムル事項

第一百十八條 評議員會ハ統理之ヲ召集ス

組合長ハ會議録ヲ作成スベシ

第一百十九條 組合ニ職員及備員ヲ置キ市職員中又ハ其ノ他ヨリ統理ノ承

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

第一百二十八條 本改正規程施行前給付事由生ジタル給付金又ハ本改正規程施行ノ際現ニ給付金ヲ受クル者ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第一百二十九條 本改正規程施行前職務執行ニ因リ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ニ付本改正規程施行後從前ノ規定ニ依リ障害給與金ヲ支給ス

スベキ事由生ジタルトキハ仍從前ノ規定ニ依リ障害給與金ヲ支給ス

第一百三十條 本改正規程施行ノ際從前ノ規定ニ依リ甲種組合員タル者ニシテ本改正規程施行ノ日ニ第四種組合員ト爲リタル者ニ對スル特種給與金ノ支給ニ付テハ從前ノ規定ニ依リ甲種組合員トシ期間ヲ通算ス

附則 (昭一八、四告示一四三)

第一百三十一條 本改正規定施行前給付事由ノ生ジタル給付金ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル但シ本改正規定施行ノ際現ニ疾病給與金ノ支給ヲ受クル者ハ此ノ限ニ在ラズ

附則 (昭一八、七告示一七三)

本改正規定ハ昭和十八年四月一日以降ノ該當者ニ之ヲ適用ス
昭和十八年四月一日改正健康保險法ノ施行ニ因リ同法ノ被保險者ト爲リタルガ爲組合ヲ脱退シタル第五種組合員(同年九月末日迄ニ)再ビ第五種組合員ト爲リタルトキハ家族醫療金及配偶者分娩手當金ノ支給ニ付キ健康保險法ノ被保險者タリシ期間ハ之ヲ組合員タリシモノト看做ス

別表第一

在職年數	支給日數	在職年數	支給日數
三年以上	四十五日	十三年以上	二百七十五日
四年以上	六十日	十四年以上	三百日

在職年數	支給日數	在職年數	支給日數
五年以上	百 日	十五年以上	三百二十五日
六年以上	百二十日	十六年以上	三百五十日
七年以上	百四十日	十七年以上	三百七十五日
八年以上	百六十日	十八年以上	四百 日
九年以上	百八十日	十九年以上	四百二十五日
十年以上	二百 日	二十年以上	四百五十日
十一年以上	二百二十五日	二十一年以上	四百五十日ニ増ス 毎ニ其ノ一年ヲ増ス シテ二百五十日ヲ加算ス
十二年以上	二百五十日		

別表第二

在職年數	支給日數	在職年數	支給日數
一年以上	十五 日	十二年以上	二百五十日
二年以上	三十 日	十三年以上	二百七十五日
三年以上	四十五日	十四年以上	三百 日
四年以上	六十 日	十五年以上	三百二十五日
五年以上	百 日	十六年以上	三百五十日
六年以上	百二十日	十七年以上	三百七十五日
七年以上	百四十日	十八年以上	四百 日

組合加入年數	支給日數	組合加入年數	支給日數
八年以上	百六十日	十九年以上	四百二十五日
九年以上	百八十日	二十年以上	四百五十日
十年以上	二百 日	二十一年以上	四百五十日ニ増ス 毎ニ其ノ一年ヲ増ス シテ二百五十日ヲ加算ス
十一年以上	二百二十五日		

別表第三

組合加入年數	支給日數	組合加入年數	支給日數
一年以上	十 日	十二年以上	二百七十六日
二年以上	四十 日	十三年以上	二百九十九日
三年以上	六十五日	十四年以上	三百二十二日
四年以上	九十二日	十五年以上	三百四十五日
五年以上	百一十五日	十六年以上	三百六十八日
六年以上	百三十八日	十七年以上	三百九十一日
七年以上	百六十一日	十八年以上	四百十四日
八年以上	百八十四日	十九年以上	四百三十七日
九年以上	二百 日	二十年以上	四百六十日
十一年以上	二百三十日	二十一年以上	四百六十日ニ増ス 毎ニ其ノ一年ヲ増ス シテ二百五十日ヲ加算ス
十二年以上	二百五十三日		

別表第四

組合加入年數	支給日數	組合加入年數	支給日數
三年以上	四十 日	十三年以上	百八十八日
四年以上	五十 日	十四年以上	二百 日
五年以上	六十 日	十五年以上	二百二十日
六年以上	七十五日	十六年以上	二百四十日
七年以上	九十 日	十七年以上	二百六十日
八年以上	百 日	十八年以上	二百八十日
九年以上	百二十日	十九年以上	三百 日
十一年以上	百三十五日	二十年以上	三百二十日
十一一年以上	百五十日	二十一年以上	三百二十日ニ増ス 毎ニ其ノ一年ヲ増ス シテ二百五十日ヲ加算ス
十二年以上	百六十五日		

共済組合規程施行細則

制定昭一八、四、一 共公示三九九

昭和十六年共済組合公示第三七六號 大阪市共済組合規程施行細則左ノ
通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一章 總則

- 第一條 本細則ニ於テ規程トハ大阪市共済組合規程ヲ、所屬トハ室局部課區等ヲ謂フ
- 第二條 本組合ノ事務所ハ市役所總務局内ニ之ヲ置ク
- 第三條 組合員、組合員タリシ者及其ノ遺族本細則ノ定ムル所ニ依リ請求書、届書其ノ他文書ヲ組合ニ提出セントスル場合ニ於テハ總テ所屬又ハ元所屬ヲ經由スベシ但シ特ニ組合ヨリ指示アリタルモノハ此ノ限ニ在ラズ
- 第四條 所屬長前條ノ規定ニ依リ文書ヲ受理シタルトキハ之ヲ審査シ組合ニ回付スベシ此ノ場合所屬長ハ所要ノ證明ヲ爲シ又ハ意見ヲ附スベシ
- 前項ノ證明又ハ意見ハ請求書若ハ添付書類ノ餘白ニ附記スルコトヲ得
- 第五條 組合長必要ト認ムルトキハ所屬長、組合員、組合員タリシ者及其ノ遺族ヨリ本細則ニ定ムル以外ノ書類ヲ提出セシムルコトヲ得
- 第六條 組合員ノ身分又ハ所屬ノ變更其ノ他掛金又ハ給付金ニ關シ影響スベキ事項發生シタル場合ニ於テハ其ノ都度所屬長ハ速ニ之ヲ組合ニ通報スベシ

第七類 給與 第六章 厚生施設

第七條 本組合ニ於テ公示スベキ事項ハ大阪市公報ニ登載ス

第二章 組合員

第八條 規程第五條第一項第五號ニ依リ任意加入者ヲラントスル者ハ所定ノ加入申込書ヲ組合ニ提出スベシ

第九條 所屬員中組合員タルベキ資格ヲ取得シタル者アルトキハ所屬長ハ五日以内ニ之ヲ所定ノ新組合員通報ニ依リ組合ニ通報スベシ

第十條 組合員ニ對シテハ所定ノ組合員證ヲ交付ス

組合員證ハ之ヲ他人ニ貸與又ハ讓渡スルコトヲ得ズ

組合員組合ヲ脱退シタルトキハ本人又ハ之ニ代ルベキ者ヨリ速ニ組合員證ヲ返付スベシ但シ組合脱退後繼續シテ醫療金ノ支給ヲ受クル場合ハ組合員證ヲ組合ニ提出シ所定事項ノ記入ヲ受ケベシ

前項但書ノ適用ヲ受ケル者醫療金ノ支給ヲ受ケザルニ至リタルトキハ速ニ本人又ハ之ニ代ルベキ者ヨリ組合員證ヲ組合ニ返付スベシ

第十一條 組合員證ノ記載事項ニ異動アリタルトキハ組合員ハ速ニ之ヲ所屬長ニ提出シ其ノ改訂ヲ受ケベシ

組合員證ヲ滅失若ハ毀損シタルトキ又ハ餘白ナキニ至リタルトキハ組合員ハ遲滞ナク其ノ旨組合ニ届出テ新ニ交付ヲ受ケベシ滅失ノ場合ヲ除キ届出ニハ組合員證ヲ添付スベシ

第十二條 給料月額百五十圓以上ノ第五種組合員ニシテ組合ヲ脱退セシトスルトキハ所定ノ脱退承認申請書ヲ組合ニ提出シ組合長ノ承認ヲ受ケベシ

第十三條 所屬長ハ所屬組合員一人毎ニ所定ノ組合員名簿二通ヲ作成シ一通ハ新組合員通報又ハ加入申込書ト共ニ組合ニ送付シ一通ハ所屬ニ於テ之ヲ保管スベシ

第十四條 組合長及所屬長第六條ノ通報中組合員名簿ノ異動ニ係ル事項ニ付テハ通報發受後遲滞ナク各其ノ保管セル名簿ヲ整理スベシ

第十五條 組合員ハ家族ヲ有スルトキハ速ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル所定ノ家族調書ヲ所屬長ニ提出スベシ家族ヲ有スルニ至リタルトキ亦同シ

一 家族ノ職業、住所、氏名、生年月日及組合員トノ續柄

二 家族ガ組合員ノ配偶者及子以外ノ者ナルトキハ同一世帯ニ屬シタル年月日及扶養スルニ至リタル事由

前項ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ其ノ都度之ヲ所屬長ニ届出ツベシ

第十六條 所屬長ハ家族調書ヲ編綴シ前條第二項ノ届出アリタル都度之ヲ整理スベシ所屬長ニ於テ前條第一項ノ記載事項ニ變更アリタルコトヲ知リタルトキ亦同シ

第三章 給付

第一節 疾病給與金

第十七條 組合員ハ組合ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師(以下指定醫師ト稱ス)中自己ノ選定シタル者ニ就キ醫療ヲ受ケベシ

第十八條 組合員ハ家族ガ指定醫師ニ就キ醫療ヲ受ケントスルトキハ所屬長ニ申出テ家族診療券ヲ交付ヲ受ケベシ

前項ノ申出アリタルトキハ所屬長ハ所定ノ家族診療券ヲ交付スベシ此ノ場合所屬長ハ家族調書ニ交付年月日其ノ他必要ナル事項ヲ記載スベシ

所屬長ハ同一疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付テハ再び家族診療券ヲ交付スルコトヲ得ズ

家族診療券ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ家族診療券ノ再交付ヲ爲スコトヲ得

家族診療券ハ之ヲ他人ニ貸與又ハ讓渡スルコトヲ得ズ

第十九條 組合員本人又ハ其ノ家族ニ付第十七條ノ醫療ヲ受ケントスルトキハ其ノ都度組合員證又ハ家族診療券ヲ指定醫師ニ提示シ所定事項ノ記入ヲ受ケベシ

指定醫師ニ就キ醫療ヲ受ケル組合員又ハ其ノ家族ガ指定醫師ヲ變更セントスルトキ又ハ同時ニ他ノ指定醫師ノ醫療ヲ受ケントスルトキハ現ニ醫療ヲ受ケル指定醫師ヨリ所定ノ療養證明書又ハ家族療養證明書ヲ交付ヲ受ケベシ

前項ノ療養證明書又ハ家族療養證明書ハ組合員證又ハ家族診療券ト看做ス

組合員醫療金ノ支給ニ關シ必要アルトキハ組合員證又ハ家族調書ヲ提出セシムルコトアルベシ

第二十條 左ノ場合ニ於テハ第十七條ノ規定ニ拘ラズ組合ノ指定セラザル醫師又ハ齒科醫師(以下指定外醫師ト稱ス)ニ就キ醫療ヲ受ケルコトヲ得

一 豫メ組合ノ承認ヲ受ケタルトキ

二 緊急ノ場合指定醫師ニ就キ診療ヲ受ケルコト困難ナルトキ

前項第二號ニ依リ診療ヲ受ケタルトキハ組合員ハ遲滞ナク其ノ理由ヲ具シ組合ニ申出テ其ノ承認ヲ受ケベシ

屬ニ於テ之ヲ保管スベシ

第十四條 組合長及所屬長第六條ノ通報中組合員名簿ノ異動ニ係ル事項ニ付テハ通報發受後遲滞ナク各其ノ保管セル名簿ヲ整理スベシ

第十五條 組合員ハ家族ヲ有スルトキハ速ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル所定ノ家族調書ヲ所屬長ニ提出スベシ家族ヲ有スルニ至リタルトキ亦同シ

一 家族ノ職業、住所、氏名、生年月日及組合員トノ續柄

二 家族ガ組合員ノ配偶者及子以外ノ者ナルトキハ同一世帯ニ屬シタル年月日及扶養スルニ至リタル事由

前項ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ其ノ都度之ヲ所屬長ニ届出ツベシ

第十六條 所屬長ハ家族調書ヲ編綴シ前條第二項ノ届出アリタル都度之ヲ整理スベシ所屬長ニ於テ前條第一項ノ記載事項ニ變更アリタルコトヲ知リタルトキ亦同シ

第三章 給付

第一節 疾病給與金

第十七條 組合員ハ組合ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師(以下指定醫師ト稱ス)中自己ノ選定シタル者ニ就キ醫療ヲ受ケベシ

第十八條 組合員ハ家族ガ指定醫師ニ就キ醫療ヲ受ケントスルトキハ所屬長ニ申出テ家族診療券ヲ交付ヲ受ケベシ

前項ノ申出アリタルトキハ所屬長ハ所定ノ家族診療券ヲ交付スベシ此ノ場合所屬長ハ家族調書ニ交付年月日其ノ他必要ナル事項ヲ記載スベシ

所屬長ハ同一疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付テハ再び家族診療券ヲ交付スルコトヲ得ズ

家族診療券ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ家族診療券ノ再交付ヲ爲スコトヲ得

家族診療券ハ之ヲ他人ニ貸與又ハ讓渡スルコトヲ得ズ

第十九條 組合員本人又ハ其ノ家族ニ付第十七條ノ醫療ヲ受ケントスルトキハ其ノ都度組合員證又ハ家族診療券ヲ指定醫師ニ提示シ所定事項ノ記入ヲ受ケベシ

指定醫師ニ就キ醫療ヲ受ケル組合員又ハ其ノ家族ガ指定醫師ヲ變更セントスルトキ又ハ同時ニ他ノ指定醫師ノ醫療ヲ受ケントスルトキハ現ニ醫療ヲ受ケル指定醫師ヨリ所定ノ療養證明書又ハ家族療養證明書ヲ交付ヲ受ケベシ

前項ノ療養證明書又ハ家族療養證明書ハ組合員證又ハ家族診療券ト看做ス

組合員醫療金ノ支給ニ關シ必要アルトキハ組合員證又ハ家族調書ヲ提出セシムルコトアルベシ

第二十條 左ノ場合ニ於テハ第十七條ノ規定ニ拘ラズ組合ノ指定セラザル醫師又ハ齒科醫師(以下指定外醫師ト稱ス)ニ就キ醫療ヲ受ケルコトヲ得

一 豫メ組合ノ承認ヲ受ケタルトキ

二 緊急ノ場合指定醫師ニ就キ診療ヲ受ケルコト困難ナルトキ

前項第二號ニ依リ診療ヲ受ケタルトキハ組合員ハ遲滞ナク其ノ理由ヲ具シ組合ニ申出テ其ノ承認ヲ受ケベシ

屬ニ於テ之ヲ保管スベシ

第十四條 組合長及所屬長第六條ノ通報中組合員名簿ノ異動ニ係ル事項ニ付テハ通報發受後遲滞ナク各其ノ保管セル名簿ヲ整理スベシ

第十五條 組合員ハ家族ヲ有スルトキハ速ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル所定ノ家族調書ヲ所屬長ニ提出スベシ家族ヲ有スルニ至リタルトキ亦同シ

一 家族ノ職業、住所、氏名、生年月日及組合員トノ續柄

第二十五條 醫療金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ醫療金請求書ニ醫療費ノ内容ヲ明細ニ記載シタル領收書ヲ添附シ組合ニ提出スベシ家族醫療金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ前項領收書ノ外家族證明書ヲ添附スベシ

第二十六條 休養手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ休養手當金請求書ニ業務ニ服スルコト能ハザル期間ニ關スル醫師ノ意見書ヲ添附シ組合ニ提出スベシ

規程第七十五條第二項ノ規定ニ依リ休養手當金ノ延長給付ヲ受ケントスルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附シ所定ノ延長給付承認申請書ヲ組合ニ提出シ其ノ承認ヲ受ケベシ但シ第二十三條第一項ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二節 特症給與金

第二十七條 特症給與金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ特症給與金請求書ニ本市所屬醫員、囑託醫又ハ指定醫師ノ診斷書ヲ添附シ組合ニ提出スベシ

第三節 産婦給與金

第二十八條 分娩手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ分娩手當金請求書ニ醫師、産婆若ハ市區町村長ノ分娩ノ事實證明書ヲ添附シ組合ニ提出スベシ

第二十九條 休養手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ産婦休養手當金請求書ニ醫師、産婆若ハ市區町村長ノ分娩ノ事實證明書ヲ添附シ組合ニ提出スベシ但シ前條ニ依リ事實證明書ノ提出アリタルトキハ其ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

二 生年月日ニ關スル市區町村長ノ證明書又ハ戸籍ノ抄本

三 印鑑證明書

四 癡疾年金證書ノ交付ヲ受ケタル者ニシテ規程第五十八條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ受給ヲ選擇シタル者ニ在リテハ癡疾年金證書

第三十五條 養老年金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ其ノ都府養老年金證書ヲ組合ニ提出スベシ此ノ場合遠隔ノ地ニ住居シ證書ヲ提出シ難キ狀況ノ者ニ在リテハ其ノ地ノ市區町村長ノ閱覽證明書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第三十六條 養老年金ハ三月、六月、九月及十二月ノ四期ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ支給ス但シ前支給期月ニ支給スベカリシ養老年金又ハ養老年金受給者ガ死亡シタル場合ニ於テハ其ノ期ノ養老年金ハ支給期月ニ非ザル時期ニ於テモ之ヲ支給ス

第三十七條 養老年金受給者本市ニ再ビ就職シタルニ因リ其ノ支給ヲ停止セラレタルトキハ速ニ養老年金證書ヲ組合ニ返付スベシ養老年金ノ支給ヲ停止セラレタル者再ビ支給ヲ開始セララルニ至リタルトキハ養老年金證書ヲ交付ス

第三十八條 養老年金證書ヲ亡失シタルトキ又ハ毀損汚損シテ不判明ト爲リタルトキハ速ニ再交付ヲ請求スベシ毀損汚損シテ不判明ト爲リタル場合ノ再交付ノ請求ニハ其ノ養老年金證書ヲ添附スベシ

第三十九條 養老年金證書ノ再交付アリタルトキハ従前ノ證書ハ其ノ效力ヲ失フ

第四十條 養老年金受給者住所、戸籍ノ變更其ノ他養老年金證書ノ記

規程第七十九條第二項ノ規定ニ依リ休養手當金ノ延長給付ヲ受ケントスルトキハ前項ノ外ニ分娩ノ豫定日ニ關スル醫師又ハ産婆ノ意見書ヲ添附スベシ

第四節 災厄給與金

第三十條 災害見舞金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ災害見舞金請求書ニ所屬長ノ實情調査書ヲ添附シ組合ニ提出スベシ

第三十一條 家族弔慰金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ家族弔慰金請求書ニ組合員ノ家族ニシテ死亡ノ事實ヲ證スルニ足ル書類ヲ添附シ組合ニ提出スベシ

第五節 脱退手當金

第三十二條 脱退手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ脱退手當金請求書ニ在職中ノ履歴書ヲ添附シ組合ニ提出スベシ

死亡ニ因ル脱退手當金ニ在リテハ前項ノ外ニ組合員ト其ノ家族トノ身分關係ヲ知り得ベキ戸籍謄本又ハ之ニ代ルベキ證明書ヲ添附スベシ

第三十三條 餞別金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ餞別金請求書ニ入替ヲ證スルニ足ル書類ヲ添附シ組合ニ提出スベシ

第六節 養老年金

第三十四條 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ハ所定ノ養老年金證書ヲ交付ス

養老年金證書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ所定ノ養老年金證書交付請求書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ組合ニ提出スベシ
一 在職中ノ履歴書

載事項ニ變更アリタルトキハ速ニ養老年金證書ヲ組合ニ提出シ其ノ改訂ヲ受ケベシ

第四十一條 養老年金受給者死亡シタルトキハ其ノ遺族ハ速ニ其ノ旨届出テ養老年金證書ヲ組合ニ返付スベシ

第四十二條 規程第五十條、第五十一條ノ規定ニ依リ一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ一時金請求書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ組合ニ提出スベシ
一 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ知り得ベキ戸籍謄本又ハ之ニ代ルベキ證明書

二 養老年金受給者ノ死亡ニ關スル證明書又ハ之ニ代ルベキ證明書
第七節 癡疾年金及癡疾手當金

第四十三條 癡疾年金ヲ受ケントスル者ハ所定ノ癡疾年金請求書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ組合ニ提出スベシ

一 癡疾ノ状態ノ程度及疾病又ハ負傷ノ經過ニ關スル本市職員タル醫員又ハ囑託醫ノ診斷書

二 在職中ノ履歴書

三 印鑑證明書

前項ノ場合ニ於テ癡疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルモノト決定シタルトキハ所定ノ癡疾年金證書ヲ交付ス

第三十五條乃至第四十一條ノ規定ハ癡疾年金ノ場合ニ之ヲ準用ス
第四十四條 癡疾年金受給者ハ其ノ癡疾ガ癡疾年金ヲ受クル程度ノ状態ニ該當セザルニ至リタルトキハ速ニ癡疾年金證書ヲ組合ニ返付スベシ

第四十五條 規程第五十六條、第五十七條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ一時金請求書ヲ組合ニ提出スベシ
前項ノ請求書ニ添附スベキ書類ニ付テハ第四十二條ノ規定ヲ準用ス
第四十六條 癡疾年金受給者ハ規程第六十一條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ所定ノ一時金請求書ニ癡疾年金證書ヲ添附シ組合ニ提出スベシ

第四十七條 癡疾手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ癡疾手當金請求書ニ癡疾ノ状態ノ程度及疾病又ハ負傷ノ經過ニ關スル本市職員タル職員又ハ囑託醫ノ診斷書ヲ添附シ組合ニ提出スベシ

第八節 遺族年金
第四十八條 遺族年金ヲ受ケル權利ヲ有スル者ニハ所定ノ遺族年金證書ヲ交付ス
遺族年金證書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ所定ノ遺族年金證書交付請求書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ組合ニ提出スベシ

- 一 組合員タリシ者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ知り得ベキ戸籍謄本又ハ之ニ代ルベキ證明書
- 二 組合員タリシ者ノ死亡ニ關スル證明書又ハ之ニ代ルベキ證明書
- 三 請求者ガ配偶者ニ非ザルトキハ組合員タリシ者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタルコトヲ認メ得ベキ證明書
- 四 印鑑證明書

第四十九條 規程第六十四條ノ規定ニ依リ遺族年金ノ支給ヲ受ケルベキ後順位者ガ遺族年金證書ノ交付ヲ受ケントスルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス

附屬事業ニ關スル規程其ノ他必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

電氣局共濟組合條例

制定 大二三、五、一條例 七
最近改正 昭一七、六 條例二二

本市會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ大阪市電氣鐵道部従業員ノ共濟組合ニ關スル條例左ノ通相定ム

大阪市電氣局共濟組合條例

- 第一條 本市電氣局職員及傭員ハ市長ノ定ムル所ニ依リ其ノ相互共濟及福利増進ヲ目的トスル組合ヲ組織ス
- 第二條 市ハ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ組合員ノ給料總額ノ千分ノ五十以內ニ相當スル金額ヲ限度トシテ組合ニ補給金ヲ交付ス但シ組合ノ豫算ニ不足ヲ生シタル年度ニ於テハ組合員ノ養老年金、癡疾年金、癡疾手當金、遺族年金及脱退手當金ノ支給額ヲ限度トシテ補給金ヲ増加スルコトアルヘシ

第三條 市長ハ電氣局ノ職員ヲシテ組合ノ事務ニ從事セシムルコトヲ得
第四條 組合ノ重要ナル事項ヲ審議スル爲組合ニ評議員ヲ置ク
評議員會ノ組織ハ市長之ヲ定ム

附則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
同一原因ニ付雇傭員扶助規程其ノ他ノ規程ニ依リ本市ヨリ給與金ヲ受クルトキハ之ヲ本條例ノ給與金ヨリ控除ス

第五十條 第三十五條乃至第四十一條ノ規定ハ遺族年金ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十一條 遺族年金受給者ハ規程第六十四條ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ速ニ遺族年金證書ヲ組合ニ返付スベシ
第五十二條 第六十五條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ一時金請求書ヲ組合ニ提出スベシ

前項ノ請求書ニ添附スベキ書類ニ付テハ第四十二條ノ規定ヲ準用ス
遺族年金受給者引續キ受給期間満了シタル場合ノ一時金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ前項ノ添附書類ヲ要セズ此ノ場合ニ於テハ遺族年金證書ヲ添附スベシ

第九節 特別給與金

第五十三條 特別給與金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所定ノ特別給與金請求書ニ所屬長ノ實情調査書ヲ添附シ組合ニ提出スベシ

第四章 審議員會

- 第五十四條 審議員會ニハ委員長ヲ置キ審議員中ヨリ統理之ヲ命ズ
- 第五十五條 審議員會ハ組合長之ヲ招集ス
- 第五十六條 委員長ハ審議員會ノ會務ヲ處理ス
- 第五十七條 委員長必要ト認ムルトキハ會議ノ招集ニ代ヘ書面表決ノ方法ニ依ルコトヲ得
- 第五十八條 審議員會ノ審議ノ結果ハ委員長ヨリ之ヲ組合長ニ報告スベシ

第五章 補則

第五十九條 本細則ニ定ムルモノノ外本組合ノ處務規程、會計規程、

〔大例一三號〕

附則 (昭一六、四條例九)

本改正條例ハ昭和十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭一七、六條例二二)

本改正條例ハ昭和十七年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 組合ノ事務所ハ電氣局内ニ之ヲ置ク
 第三條 組合ノ事務ハ統理之ヲ統轄ス
 統理ハ電氣局長ヲ以テ之ニ充ツ
 第四條 組合ハ條例第一條ノ目的ヲ達スル爲本規程ニ定ムルモノノ外必要ナル施設ヲ爲スコトヲ得

第二章 組合員

第五條 組合員ノ種類左ノ如シ
 一 第一種組合員
 二 第二種組合員
 三 第三種組合員
 四 第四種組合員
 五 第五種組合員

第六條 第一種組合員トハ労働者年金保險法施行令第三十二條第一項ノ規定ニ依リ労働者年金保險法ニ依ル被保險者ニ非ザル常備ノ備員ヲ謂フ

第二種組合員トハ本改正規程施行ノ際従前ノ規定ニ依リ第一種組合員タル者ニシテ左ニ掲グル者ヲ謂フ

一 雇員
 二 労働者年金保險法ニ依ル被保險者ニ非ザル常備ノ備員ニシテ第一種組合員ニ非ザル者

第三種組合員トハ労働者年金保險法ニ依ル被保險者タル常備ノ備員ヲ謂フ

第四種組合員トハ左ニ掲グル者ニシテ第二種組合員ニ非ザル者ヲ謂フ

〔大例一三號〕

電氣局共済組合規程

制定 昭一七、六、一 告示 三九ノ一〇

最近改正 昭一八、七、七 告示 二七四

昭和十六年大阪市告示第百六十號 大阪市電氣局共済組合規程左ノ通改正ス

大阪市電氣局共済組合規程

第一章 總則

第一條 大阪市電氣局共済組合(以下組合ト稱ス)ハ大正十二年大阪市條例第七號(以下條例ト稱ス)ニ基キ之ヲ組織ス

一 雇員

二 労働者年金保險法ニ依ル被保險者ニ非ザル常備ノ備員ニシテ第一種組合員ニ非ザル者

第五種組合員トハ左ニ掲グル者ヲ謂フ
 一 健康保險法ニ依ル被保險者ニ非ザル吏員、雇員及日勤ノ囑託ニシテ給料月額百五十圓未満ノ者

二 前號ニ掲グル者ニシテ給料月額百五十圓以上ト爲リタル際脱退ノ意思表示ヲ爲サザル者

三 吏員、雇員及日勤ノ囑託中給料月額百五十圓以上ノ者ニシテ組合ニ加入シタル者

第二種組合員又ハ第四種組合員ニシテ第五種組合員タルベキ者ハ兩者ヲ相兼ヌルモノトス

第七條 第三種組合員及第四種組合員タルベキ者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シタル日ニ於テ組合ニ加入ス

一 雇員ハ電氣局勤務ヲ命ゼラレタル日

二 常備ノ備員ハ採用セラレタル日

第五種組合員タルベキ者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シタル日ニ於テ組合ニ加入ス

一 前條第五項第一號ニ掲グル者ハ電氣局勤務ヲ命ゼラレタル日又ハ囑託セラレタル日

二 吏員、雇員及日勤ノ囑託ニシテ健康保險法ニ依ル被保險者タラザルニ至リタル日

三 前條第五項第三號ニ掲グル者ハ加入申込ヲ爲シタル日

〔大例一三號〕

第八條 第一種組合員労働者年金保險法第十六條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル者タラザルニ至リタルトキハ其ノ當日第二種組合員ト爲ル

第二種組合員又ハ第四種組合員労働者年金保險法ニ依ル被保險者ト爲ルニ至リタルトキハ其ノ當日第三種組合員ト爲ル

第三種組合員労働者年金保險法ニ依ル被保險者タラザルニ至リタルトキハ其ノ當日第四種組合員ト爲ル

第九條 第一種組合員、第二種組合員、第三種組合員及第四種組合員左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ其ノ翌日組合ヲ脱退ス

一 死亡シタルトキ

二 退職シタルトキ

三 解職セラレタルトキ

四 吏員ニ任用セラレタル日ニ於テ退職シタルトキ

五 吏員ニ任用セラレタル場合ニ於テ前號ニ該當セザルトキ

六 電氣局外ノ局部課解區へ轉勤シタルトキ

第五種組合員左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ其ノ翌日組合ヲ脱退ス

一 死亡シタルトキ

二 退職シタルトキ

三 解職、解職又ハ解囑セラレタルトキ

第六條第五項第一號ニ掲グル者給料月額百五十圓以上ト爲リタル際脱退ノ意思表示ヲ爲シタルトキ

第六條第五項第二號及第三號ニ掲グル者脱退ノ意思表示ヲ爲シ組合長ノ承認ヲ受ケタルトキ

六 電氣局外ノ局部課區區へ轉勤シタルトキ

第十條 給料月額トハ左ニ掲グル金額ヲ謂フ但シ電氣局運輸職員、運輸從業員勤続給與金規程又ハ電氣局技術職員、技術從業員勤続給與金規程ニ依リ勤続給與金ヲ受クル者ノ給料月額ハ第一號又ハ第二號ニ掲グル金額ニ勤続給與金ノ月割額ヲ加ヘタル金額トス

一 日給者ニ在リテハ其ノ日給額ノ三十日分ニ相當スル金額
二 月給者ニ在リテハ其ノ月給額
三 年給者ニ在リテハ其ノ年給額ノ十二分ノ一ニ相當スル金額
給料月額トハ給料月額ノ十分ノ一ニ相當スル金額ヲ謂フ

第十一條 組合員タリシ期間ノ計算ハ月ヲ以テ基準トス再ビ組合ニ加入シタル者ノ組合員タリシ期間ニハ前ノ組合員タリシ期間ヲ通算セズ
休職及休務ノ期間ハ之ヲ組合員タリシ期間ニ通算ス但シ入替ノ爲休務ヲ命ゼラレタル者退替後自己ノ都合ニ依リ本市ノ勤務ニ復セザルトキ又ハ復スト雖モ相當期間ニ互リ勤務セザルトキハ其ノ休務ノ期間ハ之ヲ組合員タリシ期間ニ通算セズ

第十二條 組合員、組合員タリシ者及其ノ遺族ハ本規程ニ依ル給付ヲ受クルノ外組合ニ對シ何等ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

第三章 掛金及補給金

第十三條 掛金月額ハ給料月額ニ左ノ率ヲ乘ジテ得タル金額トス

- 一 第一種組合員 千分ノ二十三
- 二 第二種組合員 千分ノ二十
- 三 第三種組合員 千分ノ三
- 四 第四種組合員 千分ノ二十二

五 第五種組合員

第六種組合員又ハ第四種組合員ニシテ第五種組合員ヲ兼ヌル者 千分ノ十七
第五種組合員トシテ 千分ノ十五
第十四條 掛金月額ニ一錢未滿ノ端數生ジタルトキハ其ノ端數ハ之ヲ四捨五入ス

第十五條 組合員ハ毎月給料ヲ受クルトキ掛金月額ヲ支拂フベシ但シ第十條第一項但書ニ規定スル者ハ掛金月額中勤続給與金ニ對スル部分ヲ勤続給與金ヲ受クルトキ支拂フベシ
給料ヲ受ケザル月ハ之ヲ受クルモ其ノ額ガ掛金月額ニ滿タザルトキハ其ノ月ノ掛金月額ハ最近ニ於テ受クル給料ガ掛金月額ヲ支拂フニ足ルトキ之ヲ支拂フベシ

第十六條 掛金月額ニ異動ヲ生ズベキ事由アルトキハ其ノ翌月ヨリ掛金月額ヲ改定ス但シ月初日ニ於テ掛金月額ニ異動ヲ生ズベキ事由アリタルトキハ其ノ月ヨリ之ヲ改定ス

第十七條 組合員戰時事變應召者特別給與條例ノ適用ヲ受クルトキ又ハ之ニ準ズルトキハ其ノ間掛金ヲ徵收セズ組合員休職又ハ休務ヲ命ゼラレタルトキ亦同ジ

第十八條 條例第二條本文ノ規定ニ依リ組合ガ毎年市ヨリ受クル補給金ノ額ハ給料總額ニ左ノ率ヲ乘ジテ得タル金額トス

- 一 第一種組合員 千分ノ五十
- 二 第二種組合員 千分ノ四十五
- 三 第三種組合員 千分ノ五
- 四 第四種組合員 千分ノ二十七

五 第五種組合員

第六種組合員又ハ第四種組合員ニシテ第五種組合員ヲ兼ヌル者 千分ノ十八

第五種組合員トシテ 千分ノ十五

第四章 給付

第一節 總則

第十九條 組合員休職又ハ休務ヲ命ゼラレタルトキハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外其ノ間給付ヲ爲サズ

第二十條 組合員ノ遺族健康保險法ニ依ル被保險者タル組合員ノ死亡ニ關シ同法ニ依リ埋葬料又ハ埋葬ニ要シタル費用ノ支給ヲ受クベキトキハ脱退手當金ヨリ其ノ相當金額ヲ控除ス
組合員又ハ其ノ遺族同一原因ニ付損害賠償ヲ受ケタルトキハ給付金ヨリ其ノ相當金額ヲ控除ス

第二十一條 給付金ハ左ノ給料日額ニ依リ之ヲ算定ス

- 一 給付事由生ジタルトキノ給料日額
- 二 養老年金ニ付テハ組合ヲ脱退シタル際ノ給料日額
- 三 轉職又ハ昇格ニ因リ給料日額ヲ減ゼラレタル者ノ其ノ月迄ノ脱退手當金ニ付テハ轉職又ハ昇格前ノ給料日額

第二十二條 養老年金、脱退手當金、療疾年金、遺族年金及療疾手當金ノ額ニ一圓未滿ノ端數生ジタルトキハ其ノ端數ハ之ヲ圓位ニ滿タシム

前項ノ規定ニ依ル給付金以外ノ給付金ノ額ニ一錢未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ其ノ端數ハ之ヲ四捨五入ス

第二十三條 給付金ハ請求ヲ俟テ之ヲ支給ス但シ第二十四條ノ控除金

アルトキハ請求ナキトキト雖モ之ヲ控除ス

前項ノ規定ニ依ル請求ハ給付事由生ジタル日ヨリ一年以内ニ之ヲ爲スニ非ザレバ其ノ效力ナシ但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條 給付金支拂ノ際掛金、療養費立替金、供給物品代金、貸付金等ノ未拂アルトキハ此ノ順位ニ依リ給付金ヨリ之ヲ控除ス

第二十五條 養老年金、療疾年金及遺族年金ノ支給ハ之ヲ支給スベキ事由ノ生ジタル月ノ翌月ヨリ之ヲ始メ權利消滅ノ月ヲ以テ終ル

第二十六條 或ル種類ノ組合員ヨリ他ノ種類ノ組合員ト爲リタル者ニ對スル脱退手當金ノ算定方法ハ電氣局長之ヲ定ム

第二十七條 特種給與金ノ支給ニ付テハ各種類ノ組合員タリシ期間ヲ通算ス

第二十八條 勞働者年金保險法施行令第十四條乃至第十七條ノ規定ハ遺族年金ノ支給ヲ受クベキ者ノ範圍及順位ニ之ヲ準用ス

勞働者年金保險法施行令第十八條及第十九條ノ規定ハ第三十八條（第八十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）、第三十九條（第八十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）、第五十二條、第五十三條及第六十條（第八十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ一時金、脱退年金及弔慰金ノ支給ヲ受クベキ者ノ範圍及順位ニ之ヲ準用ス

第六十一條（第八十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ一時金ノ支給ヲ受クベキ遺族ノ範圍及順位ハ左ノ順序ニ依ル

一 第一項ノ規定ニ依ル遺族ノ範圍及順位
二 前項ノ規定ニ依ル遺族ノ範圍及順位

第二十九條 前條ノ規定ニ依リ給付金ヲ受クル者ナキトキハ統理ハ組合

ノ趣旨ニ從ヒテ之ヲ處分スルコトヲ得

第三十條 組合員、組合員タリシ者又ハ遺族年金ノ支給ヲ受クル者死亡シタルトキハ第二十八條ニ定ムル者ハ組合長ニ遲滞ナク之ヲ申告スベシ

第三十一條 組合員若ハ組合員タリシ者又ハ其ノ家族ニシテ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルニ因リ又ハ癡疾ノ状態ニ在ルニ因リ給付金ノ支給ヲ受クベキ場合ニ於テ必要アリト認めタルトキハ組合長ノ指定シタル醫師ノ診断ヲ行フコトアルベシ

組合員若ハ組合員タリシ者又ハ其ノ家族ハ正當ノ理由アルニ非ザレバ前項ノ規定ニ依ル診斷ヲ拒ムコトヲ得ズ

第三十二條 前二條ノ規定ニ違反シタルトキハ給付金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザルコトアルベシ

第三十三條 組合員若ハ組合員タリシ者又ハ其ノ家族故意若ハ重大ナル過失ニ因リ又ハ正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハザルニ因リ給付事由ヲ生ゼシメタルトキハ給付金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザルコトアルベシ組合員懲戒處分其ノ他之ニ類スル處分ニヨリ解職、解僱若ハ解囑セラレタルトキ又ハ之ニ準ズル情狀ニヨリ退職シタルトキ亦同シ

組合員又ハ組合員タリシ者ガ自己ノ故意ノ犯罪行爲ニ因リ事故ヲ生ゼシメタルトキハ癡疾年金、癡疾手當金又ハ遺族年金ヲ支給セズ
第二十八條ニ定ムル者ガ組合員、組合員タリシ者又ハ遺族年金ノ支給ヲ受クル者ヲ故意ニ死ニ致シタルトキハ其ノ者ニ對シテハ支給セズ此ノ場合ニ於テ後順位者アルトキハ其ノ者ニ支給ス

第三十四條 養老年金、癡疾年金又ハ遺族年金ノ支給ヲ受クル者ニ付必

要アリト認めタルトキハ其ノ身分關係ノ異動及癡疾狀態ノ繼續ノ有無ニ關シ其ノ者ヲシテ必要ナル書類ヲ提出セシムルコトアルベシ

前項ノ場合ニ於テ書類ヲ提出セザル者ニ對シテハ養老年金、癡疾年金又ハ遺族年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルベシ

第三十五條 給付金ヲ受クルノ權利ハ之ヲ處分スルコトヲ得ズ
第二節 第一種組合員ニ對スル給付

第一款 養老年金

第三十六條 第一種組合員タリシ期間二十年以上ナル者ガ組合ヲ脱退シタル後五十五歳ヲ超エタルトキ又ハ五十五歳ヲ超エ組合ヲ脱退シタルトキハ其ノ者ノ死亡ニ至ル迄甲種養老年金ヲ支給ス

第三十七條 甲種養老年金ノ額ハ給料日額百二十日分ニ相當スル金額トシ第一種組合員タリシ期間二十一年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ給料日額五日分ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス

第三十八條 甲種養老年金ノ支給ヲ受クル者ガ死亡シタル際其ノ者ノ死亡ニ關シ遺族年金ノ支給ヲ受クベキ者ナキ場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル甲種養老年金ノ總額ガ其ノ者ガ組合ヲ脱退シタル際支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ甲種脱退手當金及其ノ者ガ組合ヲ脱退シタル後死亡ニ至ル迄ニ支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ乙種養老年金ノ總額ノ合算額ニ滿タザルトキハ其ノ差額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

第三十九條 第一種組合員タリシ期間二十年以上ナル者ガ甲種養老年金ノ支給ヲ受クルコトナクシテ死亡シタル際其ノ者ノ死亡ニ關シ遺族年金ノ支給ヲ受クベキ者ナキ場合ニ於テハ其ノ者ガ組合ヲ脱退シタル際

〔大例一三號〕

支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ甲種脱退手當金ニ相當スル金額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス
前項ノ規定ハ第五十三條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受クル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ第一種組合員タリシ期間二十年以上ナル者ガ甲種脱退手當金ノ支給ヲ受ケタルトキ亦同シ
第四十條 第一種組合員タリシ期間二十年以上ナル者五十五歳ヲ超エ組合ヲ脱退シタルトキハ其ノ者ノ死亡ニ至ル迄乙種養老年金ヲ支給ス
第四十一條 乙種養老年金ノ額ハ給料日額ノ三十分分ニ相當スル金額トス
第四十二條 甲種養老年金ノ支給ヲ受クル者ニハ乙種養老年金ヲ支給セズ
第二款 脱退手當金
第四十三條 第一種組合員タリシ期間一年以上ナル者組合ヲ脱退（職務執行ニ因ラズシテ死亡シタルニ因ル場合ヲ除ク）シタルトキハ本人又ハ其ノ遺族ニ甲種脱退手當金ヲ支給ス
第四十四條 甲種脱退手當金ノ額ハ給料日額ニ第一種組合員タリシ期間ニ依リ左表ニ定ムル日數ヲ乘ジテ得タル金額トス

四年以上	百八十日
五年以上	二百五十日
六年以上	三百二十日
七年以上	三百九十日
八年以上	四百六十日
九年以上	五百三十日
十年以上	六百日
十一年以上	六百六十日
十二年以上	七百二十日
十三年以上	七百八十日
十四年以上	八百四十日
十五年以上	九百日
十六年以上	九百六十日
十七年以上	千二百十日
十八年以上	千八百十日
十九年以上	千四百四十日
二十年以上	千二百日

二十一年以上

二十年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ五十日ヲ加ヘタル日數

第四十五條 甲種養老年金ヲ受クベキ者ニハ甲種脱退手當金ヲ支給セズ但シ本人ノ選擇ニ依リ甲種養老年金ニ代ヘ甲種脱退手當金ヲ支給スルコトヲ得

甲種養老年金ヲ受クベキ者ガ前項但書ノ規定ニ依ル選擇ヲ爲サズシテ死亡シタルトキハ甲種脱退手當金ヲ選擇シタルモノト看做ス
癡疾年金ノ支給ヲ受クル者ニハ甲種脱退手當金ヲ支給セズ

第四十六條 第一種組合員職務執行ニ因ラズシテ死亡シタルニ因リ組合ヲ脱退シタルトキハ其ノ遺族ニ乙種脱退手當金ヲ支給ス

第四十七條 乙種脱退手當金ノ額ハ給料日額ニ第一種組合員タリシ期間ニ依リ左表ニ定ムル日數ヲ乘シテ得タル金額トス

第一種組合員タリシ期間		日數
一年未滿	六	十日
一年以上	百	二十日
二年以上	百	四十日
三年以上	百	八十日
四年以上	二百	三十日
五年以上	三百	百日
六年以上	三百	七十日

第四十九條 餉別金ノ額ハ二十圓トス

第三款 癡疾年金

第五十條 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ガ労働者年金保險法施行令別表第一ニ定ムル程度ノ癡疾ノ状態ニ在ルニ因リ組合ヲ脱退シタルトキハ其ノ者ノ死亡ニ至ル迄癡疾年金ヲ支給ス

第五十一條 癡疾年金ノ額ハ給料日額ニ第一種組合員タリシ期間ニ依リ左表ニ定ムル日數ヲ乘シテ得タル金額トス

第一種組合員タリシ期間		日數
十年未滿	九	十日
十年以上	百	日
二十年以上	百	二十日
二十一年以上	二百	十日

第五十二條 第一種組合員タリシ期間二十年未滿ナル者ニシテ癡疾年金ノ支給ヲ受クル者ガ死亡シタル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル癡疾年金ノ總額ガ其ノ者ガ組合ヲ脱退シタル際支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ甲種脱退手當金及癡疾手當金ノ合算額ニ相當スル金額ニ滿タザルトキハ其ノ差額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

第五十三條 第一種組合員タリシ期間二十年以上ナル者ニシテ癡疾年金ノ支給ヲ受クル者ガ死亡シタル際其ノ者ノ死亡ニ關シ遺族年金ノ支給ヲ受クベキ者ナキ場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル癡疾年金ノ總額ガ其ノ者ガ組合ヲ脱退シタル際支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ甲種脱退手當金及癡疾手當金ノ合算額ニ相當スル金額トス

第七類 給與 第六章 厚生施設

七年以上	四百四十日
八年以上	五百十日
九年以上	五百八十日
十年以上	六百五十日
十一年以上	七百十日
十二年以上	七百七十日
十三年以上	八百三十日
十四年以上	八百九十日
十五年以上	九百五十日
十六年以上	千七十日
十七年以上	千七十日
十八年以上	千三百三十日
十九年以上	千九百九十日
二十一年以上	千二百五十日

前項ノ規定ニ依ル金額ガ五十圓未滿ナルトキハ五十圓ヲ支給ス
第四十八條 第一種組合員タリシ期間六月未滿ナル者ハ其ノ遺族ニ對シテ癡疾手當金及癡疾手當金ノ合算額ニ相當スル金額ニ滿タザルトキハ其ノ差額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

第五十四條 甲種養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ癡疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ癡疾年金ハ之ヲ支給セズ

甲種養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタル者ガ同時ニ癡疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキ亦同シ

癡疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ甲種養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ權利ヲ有スル者ノ選擇ニ依リ一年金ヲ支給ス

第五十五條 癡疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ労働者年金保險法施行令別表第一ニ掲グル程度ノ癡疾ノ状態ニ該當セザルニ至リタルトキハ爾後癡疾年金ヲ支給セズ

第五十六條 癡疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ前條ノ規定ニ依リ癡疾年金ノ支給ヲ受ケザルニ至リタル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル癡疾年金ノ總額ガ其ノ者ガ組合ヲ脱退シタル際支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ甲種脱退手當金ニ相當スル金額ニ滿タザルトキハ其ノ差額ヲ支給ス

第四款 遺族年金
第五十七條 第一種組合員タリシ期間二十年以上ナル者ガ組合ヲ脱退シタル後死亡シタルトキハ其ノ遺族ニ對シ十年間遺族年金ヲ支給ス但シ第二種組合員タリシ期間二十年以上ナル者ガ甲種脱退手當金ノ支給ヲ受クル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十八條 遺族年金ノ額ハ左ノ區別ニ依ル金額トス

一 甲種養老年金又ハ癡疾年金ノ支給ヲ受クル者ガ死亡シタル場合ニ於テハ其ノ者ニ支給セラレル甲種養老年金又ハ癡疾年金ノ額ノ二分ノ一ニ相當スル金額

二 第一種組合員タリシ期間二十年以上ナル者ガ甲種養老年金ノ支給ヲ受クルコトナクシテ死亡シタル場合ニ於テハ其ノ者ガ支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ甲種養老年金ノ額ノ二分ノ一ニ相當スル金額

第五十九條 遺族年金ノ支給ヲ受クル者ガ死亡シタルトキ其ノ他勞働者年金保險法施行令第二十二條ノ規定ニ依ル事由ニ準ズル事由ニ該當スルニ至リタルトキハ遺族年金ヲ受クル權利ヲ失フ此ノ場合ニ於テ遺族年金ノ支給ヲ受クベキ後順位者アルトキハ其ノ者ニ遺族年金ヲ支給ス但シ其ノ者ガ遺族年金ノ支給ヲ受クベキ期間ハ既ニ支給セラレタル期間ト合算シテ十年ヲ超ユルコトヲ得ズ

第六十條 遺族年金ノ支給ヲ受クル者ガ遺族年金ヲ受クル權利ヲ失ヒタル場合ニ於テ遺族年金ノ支給ヲ受クベキ後順位者ナキトキハ左ノ區別ニ依ル金額ヲ一時金トシテ第一種組合員タリシ者ノ遺族ニ支給ス

一 甲種養老年金又ハ癡疾年金ノ支給ヲ受クル者ガ死亡シタルニ因リ遺族年金ノ支給ヲ受ケタル場合ニ在リテハ既ニ支給ヲ受ケタル甲種養老年金又ハ癡疾年金ト其ノ遺族ガ其ノ者ノ死亡ニ關シ支給ヲ受ケタル遺族年金トノ合算額ガ第一種組合員タリシ者ガ組合ヲ脱退シタル際支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ甲種養退手當金及癡疾手當金並ニ其ノ者ノ組合ヲ脱退シタル後死亡ニ至ル迄ニ支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ乙種養老年金ノ總額ノ合算額ニ滿タザルトキハ其ノ差額ヲ一時金トシテ第一種組合員タリシ者ノ遺族ニ支給ス

受クルコトヲ得ベカリシ乙種養老年金ノ總額ノ合算額ニ滿タザルトキハ其ノ差額

二 第一種組合員タリシ期間二十年以上ナル者ガ甲種養老年金ノ支給ヲ受クルコトナクシテ死亡シタルニ因リ遺族年金ノ支給ヲ受ケタル場合ニ在リテハ其ノ者ノ死亡ニ關シ既ニ支給ヲ受ケタル遺族年金ノ總額ガ第一種組合員タリシ者ガ組合ヲ脱退シタル際支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ甲種養退手當金ニ滿タザルトキハ其ノ差額

第六十一條 遺族年金ノ支給期間満了シタル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル甲種養老年金又ハ癡疾年金及遺族年金ノ合算額ガ第一種組合員タリシ者ガ組合ヲ脱退シタル際支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ甲種養退手當金及癡疾手當金並ニ其ノ者ガ組合ヲ脱退シタル後死亡ニ至ル迄ニ支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ乙種養老年金ノ總額ノ合算額ニ滿タザルトキハ其ノ差額ヲ一時金トシテ第一種組合員タリシ者ノ遺族ニ支給ス

第五款 癡疾手當金

第六十二條 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ガ勞働者年金保險法施行令別表第二ニ定ムル程度ノ癡疾ノ状態ニ在ルニ因リ組合ヲ脱退シタルトキハ癡疾手當金ヲ支給ス

第六十三條 癡疾手當金ノ額ハ給料日額ノ二百十分ニ相當スル金額トス但シ甲種養退手當金ノ額ト合算シテ給料日額ノ三百九十分ニ相當スル金額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 項第二號乃至第四號ノ一ニ該當シ組合ヲ脱退シタル者ニ對シ癡疾手當金ヲ支給スル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依ル癡疾手當金ノ額ガ給料日額ノ二百十分ニ相當スル金額ニ滿タザルトキハ給料日額ノ二百十分ニ相當スル金額ヲ支給ス

第六十四條 甲種養老年金又ハ癡疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ癡疾手當金ヲ支給セズ

第六款 特症給與金

第六十五條 第一種組合員職務執行ニ因ラズシテ肺結核、喉頭結核又ハ癩病ニ罹リ第九條第一項第二號乃至第四號ノ一ニ該當シタルニ因リ組合ヲ脱退シタルトキハ特症給與金ヲ支給ス

第六十六條 特症給與金ノ額ハ給料日額ノ第一種組合員タリシ期間ニ依リ左表ニ定ムル日數ヲ乘ジテ得タル金額トス

第一種組合員タリシ期間		日數
一年以上	九	十日
三年以上	百	二十日

第六十七條 癡疾年金又ハ癡疾手當金ノ支給ヲ受クル者ニハ特症給與金ヲ支給セズ

第七款 災害見舞金

第六十八條 第一種組合員水火震災其ノ他非常ノ災厄ニ罹リ財産ニ著シキ損害ヲ受ケタルトキハ災害見舞金ヲ支給ス

第六十九條 前條ノ規定ニ依ル災害見舞金ノ額ハ給料日額ノ三十日分以内ノ金額トス

第七十條 第一種組合員ノ職務執行ニ因ル災害ヲ救済スル必要アルト

キハ災害見舞金ヲ支給スルコトアルベシ

第七十一條 前條ノ規定ニ依ル災害見舞金ノ額ハ給料日額ノ六十日分以内トス

第七十二條 第一種組合員重大ナル過失ナク職務執行ニ因ラズシテ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ災害見舞金ヲ支給スルコトアルベシ

一 兩眼ヲ盲シ若ハ二肢以上ノ用ヲ失シ終身自用ヲ辨ズルコトヲ得ザルトキ又ハ之ニ準ズベキ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルトキ

二 一肢ノ用ヲ失シ自用ヲ辨シ得ト雖モ終身業務ニ就クコトヲ得ザルトキ又ハ之ニ準ズベキ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルトキ

三 自用ヲ辨シ業務ニ就クコトヲ得ト雖モ身體ノ機能ニ障害ヲ殘シタルニ因リ退職シタルトキ

四 身體ノ機能ニ障害ヲ殘スト雖モ引續キ業務ニ服スルトキ

第七十三條 前條ノ規定ニ依ル災害見舞金ノ額ハ給料日額ノ六十日分以内トス

第七十三條ノ二 癡疾年金、癡疾手當金又ハ特症給與金ノ支給ヲ受クル者ニハ前二條ノ規定ニ依ル災害見舞金ヲ支給セズ

第八款 家族見舞金

第七十四條 第一種組合員ノ同居ノ家族(組合員タル者ヲ除ク)傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ引續キ三十日以上醫療ヲ受ケタルトキハ家族見舞金ヲ支給ス

前項ノ規定ニ依ル家族トハ直系血族、配偶者(内縁ノ配偶者ヲ含ム)及兄弟姉妹ヲ謂フ但シ兄弟姉妹ハ組合員世帯主タルトキニ限ル

第一種組合員婚姻又ハ入夫婚姻ニ依リ他家ニ入りタルトキハ其ノ家ノ直系尊屬ノ前項ノ規定ニ依ル直系血族ニ準ジ取扱フ

第七十五條 家族見舞金ノ額ハ給料日額ノ五日分以内トス

第七類 給與 第六章 厚生施設

第九款 家族弔慰金

第七十六條 第一種組合員ノ同居ノ家族(組合員タル者ヲ除ク)死亡シタルトキハ家族弔慰金ヲ支給ス但シ第一種組合員ノ父母又ハ祖父母死亡シタルトキハ同居セザルモ之ヲ支給ス
第七十四條第二項本文及第三項ノ規定ハ家族弔慰金ノ支給ニ之ヲ準用ス

第七十七條 家族弔慰金ノ額ハ給料日額十日分以内トス

第十款 特別給與金

第七十八條 第一種組合員前各條ニ掲グル給付ヲ受クルコトヲ得ザルモ特ニ救済ヲ要スル事情アルトキ又ハ之ヲ受クルモ猶救済ノ必要アルトキハ特別給與金ヲ支給スルコトアルベシ
第七十九條 特別給與金ノ額ハ百圓以内トス

第三節 第二種組合員ニ對スル給付

第八十條 第二節ノ規定(第五十條乃至第五十六條、第六十二條乃至第六十四條、第七十二條乃至第七十三條ノ二ノ規定ヲ除ク)ハ第二種組合員、第二種組合員タリシ者及其ノ遺族ニ對スル給付ニ之ヲ準用ス
第八十一條 第一種組合員ヨリ第二種組合員ト爲リタル者及其ノ遺族ニ對スル養老年金、脱退手當金及遺族年金ハ第一種組合員タリシ期間及第二種組合員タリシ期間ヲ通算シタル期間ニ付前條ノ規定ニ依リ之ヲ支給ス

第八十二條 第二種組合員タリシ者ニシテ脱退ノ際第三種組合員又ハ第四種組合員タリシ者ニハ第八十條ノ規定ニ依リ準用スル第四十五條第一項本文ノ規定ニ拘ラズ甲種養老年金ノ支給ヲ爲ス場合ト雖モ甲種脱退手當金ヲ支給ス此ノ場合ニ於ケル甲種脱退手當金ノ額ハ第一種組合員タリシ期間(第一種組合員ヨリ第二種組合員ト爲リタル者及其ノ遺族ニ對シテ)ニ對シテ算定スル

第八十三條 第二種組合員重大ナル過失ナク職務執行ニ因ラズシテ傷ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ災害見舞金ヲ支給スルコトアルベシ
一 兩眼ヲ盲シ若ハ二肢以上ノ用ヲ失シ終身自用ヲ辨ズルコトヲ得ザルトキ又ハ之ニ準ズベキ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルトキ
二 一肢ノ用ヲ失シ自用ヲ辨ズ得ト雖モ終身業務ニ就クコトヲ得ザルトキ又ハ之ニ準ズベキ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルトキ
三 自用ヲ辨ズ業務ニ就クコトヲ得ト雖モ身體ノ機能ニ障害ヲ殘シタルニ因リ退職シタルトキ
四 身體ノ機能ニ障害ヲ殘スト雖モ引續キ業務ニ服スルトキ
五 女子ノ外観ニ醜痕ヲ殘シタルトキ

二種組合員タリシ期間(第一種組合員ヨリ第二種組合員ト爲リタル者ニ在リテハ第一種組合員タリシ期間及第二種組合員タリシ期間ヲ通算シタル期間)ニ付第二種組合員ニ對スル甲種脱退手當金ノ規定ニ依リ算出シタル金額ヲ控除シタル金額トス
第八十三條 第二種組合員重大ナル過失ナク職務執行ニ因ラズシテ傷ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ災害見舞金ヲ支給スルコトアルベシ
一 兩眼ヲ盲シ若ハ二肢以上ノ用ヲ失シ終身自用ヲ辨ズルコトヲ得ザルトキ又ハ之ニ準ズベキ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルトキ
二 一肢ノ用ヲ失シ自用ヲ辨ズ得ト雖モ終身業務ニ就クコトヲ得ザルトキ又ハ之ニ準ズベキ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルトキ
三 自用ヲ辨ズ業務ニ就クコトヲ得ト雖モ身體ノ機能ニ障害ヲ殘シタルニ因リ退職シタルトキ
四 身體ノ機能ニ障害ヲ殘スト雖モ引續キ業務ニ服スルトキ
五 女子ノ外観ニ醜痕ヲ殘シタルトキ
第八十四條 前條ノ規定ニ依リ災害見舞金ノ額ハ給料日額六十日分以内トス
第八十四條ノ二 特種給與金ノ支給ヲ受クル者ニハ前二條ノ規定ニ依リ災害見舞金ヲ支給セズ

第四節 第三種組合員ニ對スル給付

第一款 脱退手當金

第八十五條 第三種組合員タリシ期間一年以上ナル者組合員脱退(職務執行ニ因ラズシテ死亡シタルニ因ル場合ヲ除ク)シタルトキハ本八又ハ其ノ遺族ニ甲種脱退手當金ヲ支給ス
第八十六條 甲種脱退手當金ノ額ハ給料日額ニ第三種組合員タリシ期間ニ依リ左表ニ定ムル日數ヲ乘シテ得タル金額トス

第三種組合員タリシ期間	日數
一年以上	二十日
二年以上	四十日
三年以上	六十日
四年以上	八十日
五年以上	百日
六年以上	百二十日
七年以上	百四十日
八年以上	百六十日
九年以上	百八十日
十年以上	二百日
十一年以上	二百五十日

第八十七條 第三種組合員職務執行ニ因ラズシテ死亡シタルニ因リ組合員脱退シタルトキハ其ノ遺族ニ乙種脱退手當金ヲ支給ス
第八十八條 乙種脱退手當金ノ額ハ給料日額ニ第三種組合員タリシ期間ニ依リ左表ニ定ムル日數ヲ乘シテ得タル金額トス

第三種組合員タリシ期間	日數
一年以上	五日
二年以上	十日
三年以上	十五日
四年以上	二十日
五年以上	二十五日
六年以上	三十日
七年以上	三十五日
八年以上	四十日
九年以上	四十五日
十年以上	五十日
十一年以上	五十五日

第七類 給與 第六章 厚生施設

第一種組合員タリシ期間	日數
一年以上	七十日
二年以上	九十日
三年以上	百三十日
四年以上	百五十日
五年以上	百七十日
六年以上	百九十日
七年以上	二百日
八年以上	二百二十日
九年以上	二百四十日
十年以上	二百六十日
十一年以上	二百八十日

前項ノ規定ニ依リ金額ガ五十圓未滿ナルトキハ五十圓ヲ支給ス
第八十九條 第四十八條及第四十九條ノ規定ハ第三種組合員ニ對スル特別金ニ之ヲ準用ス

第二款 特種給與金

第九十條 第六十五條及第六十六條ノ規定ハ第三種組合員ニ對スル特種給與金ニ之ヲ準用ス
第九十一條 勞働者年金保險法ニ依リ癡疾年金又ハ癡疾手當金ノ支給ヲ受クル者ニハ特種給與金ヲ支給セズ

第七類 給與 第六章 厚生施設

第三款 災害見舞金、家族見舞金、家族弔慰金及特別給與金

第九十二條 第三種組合員重大ナル過失ナク職務執行ニ因ラズシテ傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ身體ノ機能ニ障害ヲ殘スト雖モ引續キ業務ニ服スルトキハ災害見舞金ヲ支給スルコトアルベシ

第九十二條ノ二 前條ノ規定ニ依ル災害見舞金ノ額ハ給料日額十五日分以内トス

第九十二條ノ三 勞働者年金保險法ニ依ル廢疾手當金ノ支給ヲ受ケル者ニハ前二條ノ規定ニ依ル災害見舞金ヲ支給セズ

第九十二條ノ四 第二節第七款乃至第十款ノ規定(第七十二條乃至第七十三條ノ二ノ規定ヲ除ク)ハ第三種組合員ニ對スル災害見舞金、家族見舞金、家族弔慰金及特別給與金ニ之ヲ準用ス

第五節 第四種組合員ニ對スル給付

第一款 脫退手當金

第九十三條 第四種組合員タリシ期間一年以上ナル者組合ヲ脫退(職務執行ニ因ラズシテ死亡シタルニ因ル場合ヲ除ク)シタルトキハ本人又ハ其ノ遺族ニ甲種脫退手當金ヲ支給ス

第九十四條 甲種脫退手當金ノ額ハ左ノ各號ニ依リ算出シタル金額ノ合算額トス

- 一 給料日額ニ第四種組合員タリシ期間ニ依リ第八十六條表ニ定ムル日數ヲ乘ジテ得タル金額
- 二 給料日額ニ第四種組合員タリシ期間ニ依リ左表ニ定ムル日數ヲ乘ジテ得タル金額

第四種組合員タリシ期間

日	數
三年以上	四十五日
四年以上	五十五日
五年以上	六十五日
六年以上	八十五日
七年以上	百一十五日
八年以上	百三十五日
九年以上	百六十五日
十年以上	百八十五日
十一年以上	二百一十五日
十二年以上	二百三十五日
十三年以上	二百五十五日
十四年以上	二百七十五日
十五年以上	二百九十五日
十六年以上	三百一十五日

第九十五條 第四種組合員職務執行ニ因ラズシテ死亡シタルニ因リ組合ヲ脫退シタルトキハ其ノ遺族ニ乙種脫退手當金ヲ支給ス

第九十六條 乙種脫退手當金ノ額ハ左ノ各號ニ依リ算出シタル金額ノ合算額トス

三年以上	四十五日
四年以上	五十五日
五年以上	六十五日
六年以上	八十五日
七年以上	百一十五日
八年以上	百三十五日
九年以上	百六十五日
十年以上	百八十五日
十一年以上	二百一十五日
十二年以上	二百三十五日
十三年以上	二百五十五日
十四年以上	二百七十五日
十五年以上	二百九十五日
十六年以上	三百一十五日

一 給料日額ニ第四種組合員タリシ期間ニ依リ第八十八條表ニ定ムル日數ヲ乘ジテ得タル金額

二 給料日額ニ第四種組合員タリシ期間ニ依リ第九十四條表ニ定ムル日數ヲ乘ジテ得タル金額

前項ノ規定ニ依ル金額ガ五十圓未満ナルトキハ五十圓ヲ支給ス

第九十七條 第四十八條及第四十九條ノ規定ハ第四種組合員ニ對スル特別給與金ニ之ヲ準用ス

第二款 特種給與金、災害見舞金、家族見舞金、家族弔慰金及特別給與金

第九十八條 第二節第六款乃至第十款ノ規定(第七十二條乃至第七十三條ノ二ノ規定ヲ除ク)並ニ第八十三條乃至第八十四條ノ二ノ規定ハ第四種組合員ニ對スル特種給與金、災害見舞金、家族見舞金、家族弔慰金及特別給與金ニ之ヲ準用ス

第六節 第五種組合員ニ對スル給付

第一款 療養給與金

第九十九條 第五種組合員職務執行ニ因ラズシテ傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルトキハ療養給與金ヲ支給ス

第一百條 療養給與金ノ額ハ療養費ノ八割ニ相當スル金額トス但シ結核性呼吸器病ニ因リ出陣停止ヲ命セラレタルトキハ其ノ以後療養費ノ金額ニ相當スル金額トス

第一百一條 療養給與金ノ支給ハ同一ノ傷疾又ハ疾病及之ニ因リ生ジタル疾病ニ付其ノ療養ヲ始メタル日ヨリ六月迄トス但シ其ノ療養ヲ始メタル日前三月以上第五種組合員タリシ者ノ結核性疾病ニ付テハ一年迄トス

第一百二條 休職ヲ命セラレタル際又ハ第九條第二項第二號若ハ第六號

第七類 給與 第六章 厚生施設

ニ該當シタルニ因リ組合ヲ脫退シタル際ニ療養給與金ノ支給ヲ受ケタル者ハ前條ニ定ムル期間繼續シテ療養給與金ノ支給ヲ受ケルコトヲ得

第一百三條 療養給與金ヲ支給スベキ療養ノ範圍左ノ如シ

- 一 診察
- 二 藥劑又ハ治療材料
- 三 處置、手術其ノ他ノ治療
- 四 入院
- 五 看護
- 六 移送

第一百四條 前條第四號乃至第六號ノ療養ヲ受ケントスル者ハ組合長ノ承認ヲ受ケルベシ但シ統理ノ定ムル傷疾又ハ疾病ニ因ルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依ル承認ヲ受ケザル者ニ對シテハ療養給與金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザルコトアルベシ

第一百五條 療養給與金ノ標準ハ電氣局長之ヲ定ム

第一百六條 第五種組合員又ハ第五種組合員タリシ者組合長ノ指定シタル醫師、牙科、師又ハ病院ニ就キ療養ヲ受ケタルトキハ組合長ハ療養給與金ノ支給ニ代ヘ其ノ額ノ限度ニ於テ當該醫師、齒科醫師又ハ病院ニ對シ其ノ費用ヲ支拂フコトヲ得

組合員必要アリト認メタルトキハ前項ノ規定ニ依ル支拂限度ヲ超エ療養費ヲ立、支拂フコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル立替金ハ立替ヲ爲シタル月以後ニ於テ第五種組合員ガ本市又ハ組合ヨリ受ケル給料及諸給與金中ヨリ之ヲ支拂ハシム

第一百七條 第五種組合員國、公共團體又ハ其ノ他ノ團體ヨリ療養ノ給

付又ハ療養費ノ支給ヲ受クルトキハ其ノ間療養給與金ヲ支給セズ
第百二條ニ規定スル者療養ノ給付又ハ療養費ノ支給ヲ爲ス共濟組合ノ
組合員又ハ健康保險若ハ之ニ類スル保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ
其ノ日ヨリ療養給與金ヲ支給セズ

第二款 分娩給與金

第百七條ノ二 第五種組合員タリシ期間九十日以上ノ者分娩シタルトキ
ハ分娩給與金ヲ支給シ其ノ額ハ三十圓トス
第百七條ノ三 組合長必要ト認ムルトキハ第五種組合員タリシ期間九十
日以上ノ者ヲ産院ニ入院セシムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於ケル入院料支給額ノ標準ハ電氣局長之ヲ定ム入院料ニ
關シテ第百六條ノ規定ヲ準用ス

第三款 特種給與金、災害見舞金及家族弔慰金

第百七條ノ四 第六十五條、第六十六條、第六十八條、第六十九條、第
七十六條及第七十七條ノ規定ハ第五種組合員(第二種組合員又ハ第四
種組合員ヲ兼ヌル者ヲ除ク)ニ對スル特種給與金、災害見舞金及家族
弔慰金ニ之ヲ準用ス

第四款 弔慰金

第百八條 第五種組合員(第二種組合員又ハ第四種組合員ヲ兼ヌル者ヲ
除ク)死亡シタルトキハ其ノ遺族ニ弔慰金ヲ支給ス
第百九條 第五種組合員(第二種組合員又ハ第四種組合員ヲ兼ヌル者ヲ
除ク)タリシ者ニシテ第百二條ノ規定ニ依リ療養給與金ノ支給ヲ受ケ
ル者死亡シタルトキハ其ノ遺族ニ弔慰金ヲ支給スルコトアルベシ

第百十五條 議長ハ組合長ヲ以テ之ニ充ツ

議長事故アルトキハ事務長其ノ職務ヲ代理ス

第百十六條 評議員ハ電氣局事業報國會長ノ推薦シタル組合員ニ付電氣
局長之ヲ命ズ

第百十七條 評議員ノ定數ハ電氣局長之ヲ定ム
評議員ヲ命ズルコトヲ得

第百十八條 評議員ノ任期ハ一年トシ評議員ヲ命ゼラレタル日ヨリ之ヲ
起算ス

補缺評議員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第百十九條 評議員ニ缺員ヲ生ジタルトキハ電氣局長ハ遲滞ナク補缺評
議員ヲ命ズベシ但シ任期満了ノ日前二月内ニ缺員ヲ生ジタルトキハ此
ノ限ニ在ラズ

第百二十條 評議員會ノ議決スベキ事項左ノ如シ
一 組合ノ歳入田豫算ヲ定ムルコト

二 組合ノ決算ヲ認定スルコト

三 其ノ他組合ニ重大ナル關係アルコト

第百二十一條 評議員會ハ年二回統理之ヲ招集ス但シ統理必要アリト認
メタルトキハ臨時評議員會ヲ招集スルコトアルベシ

第百二十二條 議事ハ出席評議員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナル
トキハ議長之ヲ決スル所ニ依ル

第百二十三條 電氣局長ハ電氣局職員ヲ、組合長ハ事務長其ノ他組合職
員ヲ評議員會ノ會議ニ參與セシムルコトヲ得

第百十條 弔慰金ノ額ハ百圓トス

第五款 家族療養給與金

第百十一條 第五種組合員タリシ期間六月以上ノ者又ハ引續キ六月以上
健康保險法ノ被保險者タリシ者ヲシテ第五種組合員ト爲リタル者ノ家
族傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルトキハ家族療養給與金ヲ支給ス
前項ノ家族トハ第五種組合員ノ配偶者(内縁ノ配偶者ヲ含ム)及子ニシ
テ專ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者並ニ第五種組合員ト同一世帯ニ
屬シ專ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者ヲ謂フ

第百十一條ノ二 家族療養給與金ノ額ハ療養費ノ五割ニ相當スル金額ト
ス

第百十一條ノ三 第百一號乃至第百七條ノ規定ハ家族療養給與金ノ支給
ニ之ヲ準用ス

第六款 配偶者分娩給與金

第百十一條ノ四 第五種組合員タリシ期間六月以上ノ者又ハ引續キ六月
以上健康保險法ノ被保險者タリシ者ニシテ第五種組合員トナリタル者
ノ配偶者(内縁ノ配偶者ヲ含ム)分娩シタルトキハ配偶者分娩給與金ヲ
支給シ其ノ額ハ十圓トス

第五章 財務

第百十二條 組合ノ會計年度ハ市ノ會計年度ニ依ル

第百十三條 組合ノ財務ニ關スル事項ハ電氣局長之ヲ定ム

第六章 評議員會及諮問委員會

第一節 評議員會

第百十四條 評議員會ハ議長及評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

〔大例一三號〕

前項ノ規定ニ依リ評議員會ノ會議ニ參與スル者ハ評議員會ニ於テ意見
ヲ陳述シ評議員ノ質問ニ應答スルコトヲ得ルモ表決ノ數ニ加ハルコト
ヲ得ズ

第百二十四條 評議員會ノ會議ハ組合員之ヲ傍聽スルコトヲ得但シ評
議員會ニ於テ傍聽禁止ノ決議ヲ爲シ又ハ組合長ニ於テ傍聽ヲ禁止シタル
トキハ此ノ限ニ在ラズ

第二節 諮問委員會

第百二十五條 組合員懲戒處分其ノ他之ニ類スル處分ニ依リ解僱セラレ
タル場合ニ於ケル給付金ノ査定ニ關シ組合長ノ諮問ヲ答申セシムル爲
メ諮問委員會ヲ置ク

第百二十六條 諮問委員會ハ委員長及委員六人ヲ以テ之ヲ組織ス

第百二十七條 委員長ハ組合長ヲ以テ之ニ充ツ
委員長ハ會議ヲ招集ス

委員長事故アルトキハ事務長其ノ職務ヲ代理ス
委員長及事務長共ニ事故アルトキハ組合長ノ指名スル者委員長ノ職務
ヲ代理ス

第百二十八條 委員ハ評議員中ヨリ統理之ヲ命ズ

第百二十九條 委員ノ任期ハ評議員ノ任期ニ依ル

第百三十條 第百二十九條及第百二十三條ノ規定ハ諮問委員會ニ之ヲ準用ス

第百三十一條 電氣局長組合ノ事業又ハ事務ノ遂行上必要アリト認メ
タルトキハ臨時若ハ常設ノ委員又ハ幹事會ヲ置クコトアルベシ

第七章 役員

第百三十二條 組合ニ組合長及事務長ヲ置ク

第百三十三條 組合長ハ電氣局職員中ヨリ電氣局長之ヲ命ズ

事務長ハ電氣局職員中又ハ其ノ他ヨリ電氣局長之ヲ任免シ又ハ囑託ス
第三百三十四條 組合長ハ統理ノ命ヲ承ケ組合事務ヲ掌理シ組合職員及備員ヲ指揮監督ス

事務長ハ組合長ヲ輔佐シ組合長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

第八章 職員及備員

第三百三十五條 組合ニ必要ナル職員及備員ヲ置ク
職員ハ電氣局職員中又ハ其ノ他ヨリ電氣局長之ヲ任免シ又ハ囑託ス備員ハ組合長之ヲ任免ス

第九章 給與

第三百三十六條 評議員ハ其ノ職務ノ爲ニ要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得
統理ハ幹事會員、諮問委員會委員其ノ他必要アリト認メタル者ニ對シ其ノ職務ノ爲ニ要スル費用ヲ辨償スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル費用辨償額ハ統理之ヲ定ム

第三百三十七條 評議員其ノ職務ニ從事スル間電氣局ヨリ給與ヲ受ケザル

トキハ電氣局ヨリ支給セラルベキ給與ニ相當スル額ヲ支給ス

第三百三十八條 職員及備員ノ給與ハ電氣局長之ヲ定ム

附則

第三百三十九條 本改正規程ハ昭和十七年六月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ療疾年金及療疾手当金ニ關スル規定ハ昭和二十年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四百十條 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ電氣局長之ヲ定ム

第四百十一條 大正十二年五月一日現ニ組合員タル者ノ組合員タリシ期間ノ規定ニ依ル

通算ス

第五百十條 組合ニ當分ノ間特別組合員ヲ置ク

特別組合員ノ資格、組合員タリシ期間及掛金、給付其ノ他ノ處遇ハ從前ノ規定ニ依ル

附則 (昭一八、七告示七四)

本改正規定ハ昭和十八年四月一日以降ノ該當者ニ之ヲ適用ス

昭和十八年四月一日改正健康保險法ノ施行ニ因リ同法ノ被保險者ト爲リタルガ爲第五種組合員タラザルニ至リタル者ニ對スル家族療養給與金及配偶者分娩給與金ノ支給ハ左ノ各號ニ依ル

一 昭和十八年三月末日ニ於テ引續キ六月以上第五種組合員タリシ者ニ對シテハ同年九月末日迄仍第五種組合員タルモノト看做シ本給與金支給ニ關スル規定ヲ適用ス

二 昭和十八年九月末日迄ニ再ビ第五種組合員ト爲リタルトキハ健康保險法ノ被保險者タリシ期間ハ之ヲ第五種組合員タリシモノト看做シ本給與金支給ニ關スル規定ヲ適用ス

電氣局病院ニ關スル件

制 定 大二三、三、三一告示五九
最近改正 昭八、三 告示七六

本市會ノ議決ヲ經大阪府電氣局病院ニ關スル件左ノ通相定メ大正十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大阪府電氣局病院ニ關スル件

一 本市電氣局ニ病院ヲ置キ電氣局員及其ノ家族並本市電氣事業上ニ關第七類 給與 第六章 厚生施設

間ハ電氣局ニ就職シタル月ヨリ之ヲ計算ス但シ臨時及見習タリシ期間ハ之ヲ通算セズ

第四百二十二條 大阪電燈株式會社ヨリ引繼ギタル從業員ニシテ大正十二年十二月組合ニ加入シ同年十月分以降ノ掛金ヲ拂込ミタル者ハ同年十月ヨリ組合ニ加入シタルモノト看做ス

第四百二十三條 第一增組合員タルベキ者ハ從前ノ規定ニ依リ第一種組合員ト爲リタル日ヨリ引續キ第一種組合員タリシモノト看做ス

第四百二十四條 第二種組合員タルベキ者ハ從前ノ規定ニ依リ第一種組合員ト爲リタル日ヨリ引續キ第二種組合員タリシモノト看做ス

第四百二十五條 本改正規程施行ノ際從前ノ規定ニ依リ第二種組合員タル者ハ從前ノ規定ニ依リ第二種組合員ト爲リタル日ヨリ引續キ第五種組合員タルモノト看做ス

第四百二十六條 本改正規程施行前救濟事由生ジタル救濟金又ハ本改正規程施行ノ際現ニ救濟金ヲ受クル者ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第四百二十七條 本改正規程施行前職務執行ニ因リ傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ニ付本改正規程施行後從前ノ規定ニ依リ公傷給與金ヲ支給スベキ事由生ジタルトキハ仍從前ノ規定ニ依リ公傷給與金ヲ支給ス

第四百二十八條 本改正規程施行ノ際從前ノ規定ニ依リ第一種組合員タル者ニシテ本改正規程施行ノ日ニ於テ第三種組合員ト爲リタル者ニ對スル脱退手当金ノ算定方法ハ電氣局長之ヲ定ム

第四百二十九條 本改正規程施行ノ際從前ノ規定ニ依リ第一種組合員タル者ニシテ本改正規程施行ノ日ニ於テ第三種組合員ト爲リタル者ニ對スル給與金ノ支給ニ付テハ從前ノ規定ニ依リ第一種組合員タリシ期間ヲ

〔大例一三號〕

シ生シタル傷病者ヲ診療スルモノトス但シ時宜ニ依リ電氣局以外ノ本市職員、諸職夫及其ノ家族ヲ診療スルコトアルヘシ

〔大例一三號〕

- 一 入院ニ關スル料金 一日金參圓以下
- 一 藥ニ關スル料金 一種又ハ一日分金貳拾錢以下
- 一 藥劑容器ニ關スル料金 實 費
- 一 手術及處置ニ關スル料金 金參拾圓以下
- 一 註斷及検査其ノ他ニ關スル料金 金貳圓以下
- 一 器具其ノ他ノ賃貸ニ關スル料金 金壹圓以下

本項以外ノ料金ハ其ノ都度市長之ヲ定ム
三 本案施行ニ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

電氣局病院料金規程

制 定 大三四、七、一二告示一四五
最近改正 昭一五、四 告示一六六

大正十三年四月大阪府告示第八十二號大阪府電氣局病院料金規程左ノ通改正シ大正十四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

大阪府電氣局病院料金規程

一 大阪府電氣局病院ノ入院料、藥價其ノ他ノ料金ヲ定ムルコト左ノ如シ

種別	電氣局員及其ノ家族 及本市負擔ニ屬スル 患者		本市名譽職員、電氣 局所屬以外ノ本市吏 員、雇傭員及其ノ家 族	
	金	圓	金	圓
一 入院料 藥餌ヲ含ミ特別手術料及特別處置料ヲ含マズ	金二	圓	金三	圓
二 藥價 高價藥ヲ除ク	金二	圓五十錢	金三	圓
三 藥劑容器料	金六	錢	金九	錢
四 特別手術料及特別處置料	金十	錢	金十五	錢
五 手術料及處置料	金十	錢	金十五	錢
六 特別手術料及特別處置料	金二十	圓以上	金三十	圓以上
七 特別手術料及特別處置料	金二十	圓以上	金三十	圓以上
八 特別手術料及特別處置料	金二十	圓以上	金三十	圓以上
九 特別手術料及特別處置料	金二十	圓以上	金三十	圓以上
十 特別手術料及特別處置料	金二十	圓以上	金三十	圓以上

〔大例一三號〕

種別	電氣局員及其ノ家族 及本市負擔ニ屬スル 患者		本市名譽職員、電氣 局所屬以外ノ本市吏 員、雇傭員及其ノ家 族	
	金	圓	金	圓
一 入院料 藥餌ヲ含ミ特別手術料及特別處置料ヲ含マズ	金二	圓	金三	圓
二 藥價 高價藥ヲ除ク	金二	圓五十錢	金三	圓
三 藥劑容器料	金六	錢	金九	錢
四 特別手術料及特別處置料	金十	錢	金十五	錢
五 手術料及處置料	金十	錢	金十五	錢
六 特別手術料及特別處置料	金二十	圓以上	金三十	圓以上
七 特別手術料及特別處置料	金二十	圓以上	金三十	圓以上
八 特別手術料及特別處置料	金二十	圓以上	金三十	圓以上
九 特別手術料及特別處置料	金二十	圓以上	金三十	圓以上
十 特別手術料及特別處置料	金二十	圓以上	金三十	圓以上

〔大例一三號〕

種別	金	圓	錢
特別診斷書料	金五	圓八十	錢以上
檢案書料	金五	圓八十	錢以上
死亡證書料	金二	圓	錢
身體檢査及 健康診斷料	金二	圓	錢
咯痰、糞尿其ノ他 ノ檢査料	金二	圓	錢
血液檢査料	金二	圓	錢
處方箋料	金二	圓	錢
八 附添人寢具貨料	金三	圓	錢
蒲團、毛布一枚	金六	圓	錢
夜	金六	圓	錢

一 定價
 高價藥品又ハ診療上特別ノ費用ヲ要スルトキノ料金ハ電氣局長之ヲ
 定ム
 二 電氣局現業員又ハ從業員ノ採用等ノ爲行フ身體檢査ニ對シテハ之カ
 料金ヲ免除ス
 三 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ電氣局長之ヲ定ム

電氣局病院料金臨時措置ニ關スル件

大阪市電氣局病院料金臨時措置ニ關スル件左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大阪市電氣局病院料金臨時措置ニ關スル件

大正十四年大阪市告示第四百五十五號大阪市電氣局病院料金規程ニ依ル料金中電氣局員並其ノ家族及本市負擔ニ屬スル患者ニ對スル入院料及藥價ハ特別獨室専用入院料ヲ除クノ外當分ノ間左ノ通トス

- 一 入院料(藥餌ヲ含ミ特別手術料及特別處置料ヲ含マズ)
 - 總室、特別獨室共用 一日 一圓五十錢
 - 普通獨室専用 一日 一圓五十錢
- 二 藥價(高價藥ヲ除ク)
 - 內用藥 一種 八錢
 - 頓服藥 一劑 五錢
 - 外用藥 一劑 十錢
 - 座藥 一個 五錢

寄宿寮規程

本市會ノ議決ヲ經テ經市設共同宿舍貸與規程左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大阪市寄宿寮規程

- 第一條 本寮ハ本市吏員及雇傭員中ノ單身者ニ之ヲ貸與ス但シ居室ニ餘裕アルトキハ單身ノ一般小額給料生活者ニ之ヲ貸與スルコトヲ得
- 第二條 本寮ニハ居室ノ外食堂、浴場、集會室其ノ他必要ナル設備ヲ爲シ寄宿者ノ用ニ供ス
- 第三條 市長必要ト認ムルトキハ寄宿者以外ノ本市吏員及雇傭員ニ前項ノ設備ヲ使用セシムルコトヲ得設備使用ノ爲特ニ要スル費用ハ使用者ヲシテ之ヲ負擔セシム
- 第四條 居室ノ定員ハ一室二人トス但シ時宜ニヨリ之ヲ一人ト爲スコトヲ得
- 第五條 賃貸料ハ一室一月十圓以下ニ於テ市長之ヲ定ム
- 第六條 賃貸料ハ市長ノ定ムル期限内ニ之ヲ納付スヘシ
- 第七條 本市吏員及雇傭員以外ノ者ニ貸與スル場合ハ保證人ヲ立テシメ又ハ賃貸料三月分以内ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納付セシムルコトヲ得
- 第八條 賃貸料又ハ第八條ニ依ル賠償金未納ノトキハ前項保證金中ヨリ控除シ不足金ハ之ヲ追徴ス
- 第九條 居室ハ之ヲ轉貸スルコトヲ得ス
- 第十條 寄宿者建物若ハ備付物品ヲ毀損又ハ滅失シタルトキハ市長ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ原形ニ復シ又ハ其ノ損害ヲ賠償スヘシ
- 第十一條 寄宿者ハ左ニ掲クル行爲ヲ爲スコトヲ得ス
 - 一 承認ヲ經スシテ室内ノ模様替ヲ爲スコト
 - 二 室内ニ於テ炊事ヲ爲シ又ハ瀝ニ火氣ヲ使用スルコト
 - 三 居室ヲ他ノ目的ニ使用スルコト

〔大例一三號〕

四 其ノ他市長ノ禁止スル行爲ヲ爲スコト

第十條 建物ノ管理上必要アルトキハ寄宿者其ノ他ノ立會ヲ得テ室内檢査ヲ行フコトアルヘシ

第十一條 寄宿者退寮セントスルトキハ五日前迄ニ其ノ旨ヲ届出テ係員ノ指示ヲ受クヘシ

第十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長ハ期日ヲ指定シ退寮ヲ命スルコトヲ得

- 一 管理上支障アリト認ムルトキ
- 二 賃貸料ヲ滞納シタルトキ
- 三 其ノ他本規程ニ違反シ又ハ本規程ニ基ク指示ニ從ハサルトキ

寄宿寮規程施行細則

大正十一年大阪市告示第二百二十六號市設共同宿舍貸與規程施行細則左ノ通改正シ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

- 第一條 本寮ノ貸與ヲ受ケントスル者ハ本人出頭ノ上第一號様式ニ依ル借入申込書ヲ提出スヘシ
- 第二條 貸與ノ承認ヲ受ケタル者ハ指定期日內ニ第二號様式ニ依ル借入證書ヲ提出スヘシ
- 第三條 一室一月ノ賃貸料左ノ如シ

種	別	賃 貸 料	
		文 化 寮	鍊・成 寮
第一種	四疊	四圓五〇	四圓
第二種	六疊	六圓五〇	六圓〇〇
第三種	八疊	八圓五〇	
第四種	十二疊半		一〇圓〇〇
第五種	十六疊		一〇圓〇〇
第六種	二十疊		一〇圓〇〇

〔大例一三號〕

- 月ノ中途ニ於テ貸與ノ承認ヲ受ケタルトキハ其ノ日ヨリ、退寮シタルトキハ其ノ日迄日割ヲ以テ其ノ月分ノ賃貸料ヲ計算ス
- 居室變更ニ依ル賃貸料ノ計算ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス但シ變更當日ノ賃貸料ハ變更後ノ賃貸料ニ依ル
- 第四條 賃貸料ハ居室者折半シテ之ヲ負擔スヘシ但シ其ノ一人ヲ納付者ニ指定スルコトアルヘシ
- 第五條 賃貸料ハ保證金ヲ納付シタル者ハ當月分ヲ、其ノ他ノ者ハ翌月分ヲ毎月末日迄ニ納付スヘシ但シ貸與ノ承認ヲ受ケタル月ハ承認ノ日其ノ月分ヲ納付スヘシ
- 第六條 本市吏員及雇傭員以外ノ者貸與ノ承認ヲ受ケタルトキハ指定期日內ニ保證人ヲ立テ又ハ賃貸料二月分ニ相當スル保證金ヲ納付スヘシ

五五〇

保證人ヲ立テントスル者ハ第三號様式ニ依ル保證書ヲ提出スヘシ
 第七條 保證人ハ本市又ハ近接地ニ居住シ相當ノ資産又ハ信用ヲ有スル者ナルコトヲ要ス
 保證人前項ノ規定ニ依ル資格ヲ喪失シタルトキハ寄宿者ハ速ニ之ニ代ルヘキ保證人ヲ立ツヘシ
 第八條 居室ニ餘裕アルトキ又ハ必要ト認ムルトキハ一室一人ノ寄宿ヲ承認スルコトアルヘシ

前項ノ規定ニ依ル承認ハ居室ニ餘裕ナキニ至リタルトキ又ハ必要ト認ムルトキハ五日前ニ豫告シテ之ヲ取消スコトアルヘシ
 第九條 寄宿舎以外ノ本市吏員及雇傭員ニシテ食堂、浴場、集會室等ヲ使用セントスルトキハ豫メ承認ヲ受クヘシ
 第十條 寄宿者心得其ノ他本細則施行ニ關シ必要ナル事項ハ總務局長之ヲ定ム

第一號様式

寄宿寮借入申込書

申		込			者	
本籍	現住所	戸主名	氏名	生年月日	學歷	學歴
		戸主ノ續柄	職業主			
		業務關係		現居住關係	希望居室	
勤務先	所在地	職名	給料	疊數	第	種第
						號
		就年月	室料	其ノ他		

【大例一三號】

第 號

(電話番)

保		證		人	
本籍	氏名	生年月日	現住所	職業	月收
		申込者トノ關係			

【大例一三號】

申込者 氏

名

貴市寄宿寮居室貸與方御承認相成度大阪市寄宿寮規程施行細則第一條ニ依リ前記ノ通及申込候也
 年 月 日

大阪市長 殿

第二號様式

寄宿寮借入證書

第一條 種 第 號室
 私儀今般右記居室貸與御承認相受候ニ就テハ御市諸規則堅ク遵守可致
 大阪市寄宿寮規程施行細則第二條ニ依リ本證書及提出候
 年 月 日

寄宿者 氏

名

大阪市長 殿

第三號様式

寄宿寮借入保證書

本籍 第 號
 戸主トノ續柄 寄宿者 氏
 生年月日 名

大阪市長 殿

給仕獎學規程

制定昭一五、七、三連一七六

五五三

第七類 給與 第六章 厚生施設

給仕獎學規程左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

給仕獎學規程

- 第一條 本市給仕ニシテ夜間中等學校ニ在學シ左ノ各號ニ該當スル者ニ對シテハ本規程ノ定ムル所ニ依リ獎學費ヲ支給ス
- 一 勤務成績、學業成績共ニ優秀ニシテ性行善良ナル者
 - 二 身體強健ナル者
 - 三 本市ニ繼續勤務ノ志望ヲ有スル者
- 前項ノ規定ニ依リ獎學費ノ支給ヲ受クル者助手ニ昇格シタル場合ハ引續キ之ヲ支給スルコトヲ得
- 第二條 獎學費ハ年額百二十圓以内トシ其ノ支給額ハ總務局長之ヲ定ム
- 第三條 獎學費ノ支給ヲ受ケントスル者ハ毎年九月三十日迄ニ第一號書式ニ依リ獎學費支給願ニ左ノ書類ヲ添ヘ總務局長ヲ經テ市長ノ承認ヲ受クヘシ
- 一 所屬長ノ推薦書
 - 二 在學證明書
 - 三 自筆履歴書
 - 四 既往二年間ノ學業成績
 - 五 身體検査書
 - 六 給費希望額及其ノ明細書

- 第四條 前條ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケタル者(以下給費生ト稱ス)ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ第二號書式ニ依リ誓約書ヲ提出スヘシ
- 第五條 獎學費ハ毎月二十五日之ヲ支給ス

十一日迄トス
本規程施行ノ際現ニ助手ニシテ給仕ヨリ昇格シタル者ニ對シテハ本規程ヲ適用ス

第一號書式

獎學費支給願

私儀

學校第 學年ニ在學中ニ有之候處給仕獎學規程ニ依リ
獎學費ノ支給相受度候ニ付テハ必要書類相添ヘ此段及御願候也

年月日

現住所

本人 所屬 職 氏 名 名

親權者 父母 氏 名 名

大阪市長 殿

誓約書

私儀

給仕獎學規程ニ依リ獎學費ノ支給相受候ニ付テハ勤務ニ精勵致
スハ勿論御規則堅ク相守リ學業ニ勉勵可仕此段誓約仕候也

年月日

現住所

本人 所屬 職 氏 名 名

前項ノ期日休日ニ當ルトキハ繰下トス

第六條 給費生左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ月分ヨリ獎學費ノ支給ヲ廢止ス

- 一 本市給仕又ハ助手タルノ身分ヲ喪ヒタルトキ
 - 二 退學シタルトキ
 - 三 停學又ハ退學處分ヲ受ケタルトキ
 - 四 總務局長必要ト認ムルトキ
- 第七條 給費生休學シタルトキ其ノ他總務局長必要ト認ムルトキハ給費ノ停止又ハ減額ヲ爲スコトアルヘシ

第八條 給費生ハ左ニ掲クル事項ニ付テハ遲滞ナク之ヲ總務局長ニ報告スヘシ

- 一 毎學期、每學年ノ成績及賞罰
- 二 進級及卒業
- 三 身分ノ異動其ノ他重要ナル事項

第九條 給費生休學、轉學又ハ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ總務局長ノ承認ヲ受クヘシ

第十條 本規程ニ依リ提出スル願書、報告書及承認申請書ハ總務局長ヲ經由スヘシ

第十一條 總務局長必要ト認ムルトキハ給費生ノ勤務成績、操行等ニ付所屬長ノ報告ヲ求ムルコトアルヘシ

第十二條 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ總務局長之ヲ定ム

附則

本規程施行ノ際ニ限リ第三條中九月三十日迄トアルハ昭和十五年七月三

大阪市長 殿

親權者 父母 氏 名 名

專門學校以上夜間通學者獎學金支給規程

- 制 定 昭一七、四三二二
- 專門學校以上夜間通學者獎學金支給規程左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 第一條 專門學校以上夜間通學者獎學金支給規程
- 一 本市職備員ニシテ左ノ各號ニ該當スル者ニ對シテハ本規程ノ定ムル所ニ依リ獎學金ヲ支給ス
 - 二 勤務成績、學業成績共ニ優秀ニシテ身體強健且操行善良ナル者
 - 三 本市ニ繼續勤務ノ志望ヲ有スル者
 - 四 學資豐ナラサル者
- 第二條 獎學金ノ金額ハ一人ニ付年額百五十圓以内トス
- 第三條 獎學金ハ其ノ支給ノ決定ヲ受ケタル日ヨリ卒業ノ日迄之ヲ支給ス
- 第四條 獎學金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ所屬長ノ推薦ヲ受ケ毎年三月末日迄ニ市長ニ願出ツヘシ
- 第五條 獎學金支給ノ決定ヲ受ケタル者(以下受給者ト稱ス)ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ保證人ト連署シタル誓約書ヲ提出スヘシ

第七類 給與 第六章 厚生施設

第六條

- 一 本市職備員タルノ身分ヲ失ヒタルトキ
- 二 退學シタルトキ
- 三 停學又ハ退學處分ヲ受ケタルトキ
- 四 學業成績不良ナルトキ
- 五 疾病其ノ他ノ事故ニ因リ卒業又ハ通學ノ見込ナキトキ
- 六 其ノ他市長ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第七條

- 一 休職又ハ休務ヲ命セラレタルトキ
- 二 戰時又ハ事變ニ際シ召集又ハ徵用セラレタルトキ
- 三 休學シタルトキ
- 四 其ノ他市長ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第八條

- 一 每學期、每學年ノ成績及賞罰
- 二 進級及卒業
- 三 身分ノ異動其ノ他重要ナル事項

第九條

受給者休學、轉學又ハ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ市長ヲ承認ヲ受クヘシ

第十條

受給者タリシ者ハ其ノ給費ヲ受ケタル期間ノ二倍ニ相當スル期間本市ニ在職ノ義務アルモノトス但シ在職義務期間五年以上ノモノハ

五年トス

在職義務期間ノ算定ハ卒業若ハ獎學金支給ノ廢止又ハ中止ノ翌日ヨリ起算ス

第十一條

受給者タリシ者其ノ在職義務ヲ盡ササルトキハ既ニ受ケタル獎學金ノ全部ヲ一時ニ本人又ハ保證人ヨリ償納セシム但シ願ニ依リ償納義務ノ全部又ハ一部ヲ免除シ若ハ猶豫又ハ分納ヲ認ムルコトアルヘシ

第十二條

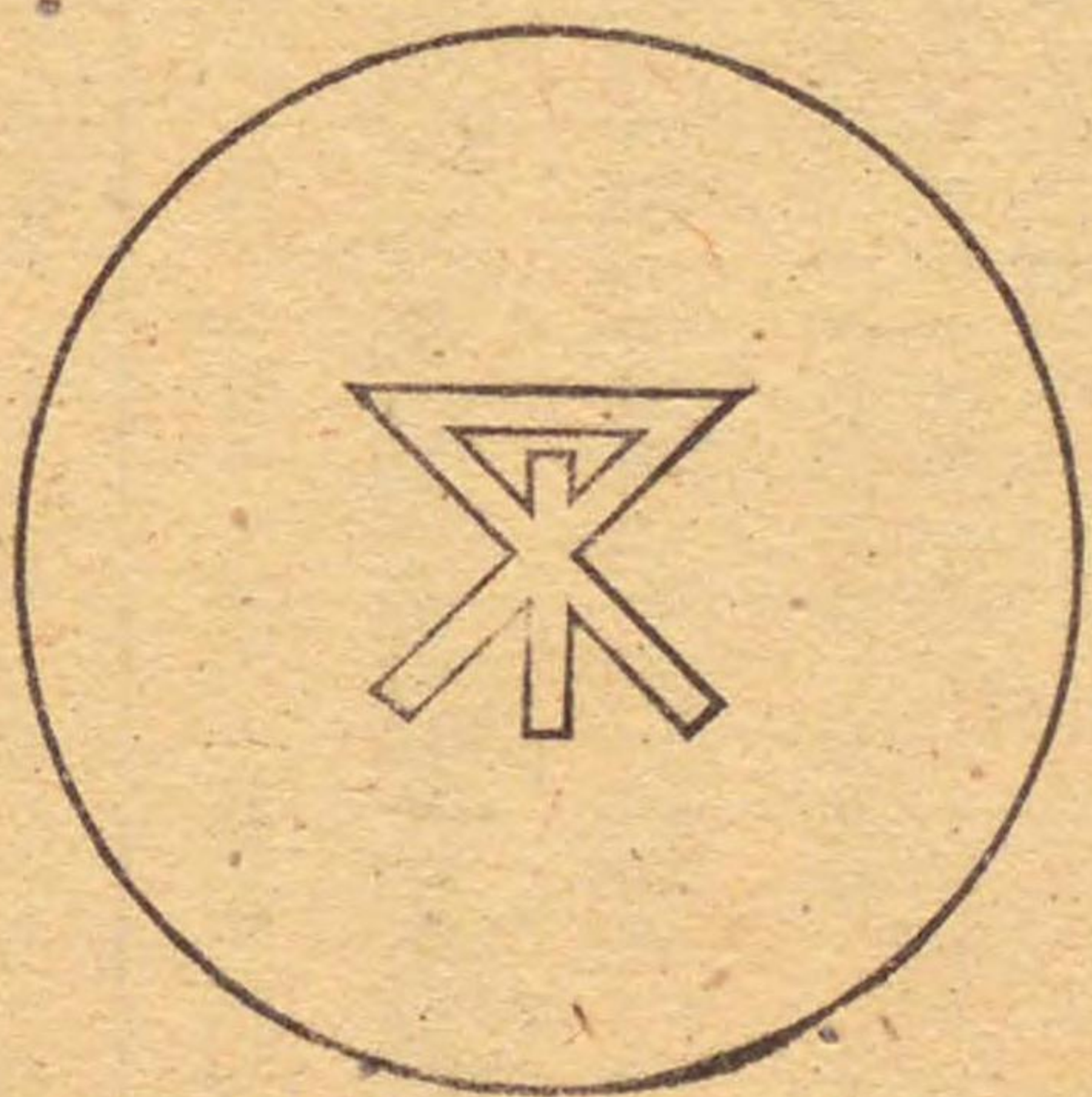
本規程ニ依リ提出スル書類ハ總テ所屬長ヲ經由スヘシ

第十三條

本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ總務局長之ヲ定ム

附 則

本規程施行ノ際ニ限リ第四條ニ依ル願出ハ四月末日迄トス



〔大例一三號〕

第八類 旌 表

第八類 旌表

議員待遇規程

制定 大八、四、二六市會議決
最近改正 昭一〇、一二 市會議決

第一條 滿四年以上本市會議員ノ職ニ在リタル者ニ對シテハ市内在住中終身市ノ舉行スル式典等ニハ現任市會議員ト同様ニ待遇シ且本市交通機關優待乗車券ヲ贈與スルモノトス

第二條 本市會議員ノ職ニ在リタル者ニシテ其ノ功績特ニ顯著ナル者ニ對シテハ市長ノ定ムル所ニ依リ功勞章ヲ贈與スルモノトス

第三條 第一條ニ該當スル者死亡シタルトキハ供花其ノ他適當ノ方法ニ依リ弔意ヲ表スルモノトス

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ待遇ヲ受クル資格ヲ失フモノトス
一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
二 日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキ

第五條 待遇ヲ受クル者市公民權ヲ停止セラレタルトキハ其ノ期間中本規程ヲ適用セス
附則 (昭一〇、一二市會議決)

本改正規程ハ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
市會議員ニ非サル市參事會員タリシ者ニシテ既ニ本規程ニ依ル待遇ヲ受クル者ニ對シテハ仍從前ノ例ニ依ル

寄附者待遇規程

制定 昭三、九、一七市會議決

本市會ノ議決ヲ經寄附者待遇規程左ノ通相定メ公布ノ日ニ之ヲ施行ス

第一條 本市ノ公共事業ニ關シ負擔條件ノ伴ハサル金品ノ寄附ヲ爲シタル者ハ本規程ニ依リ之ヲ待遇ス

第二條 前條ノ寄附者ニ對シテハ其ノ都度感謝狀ヲ贈呈スルノ外其ノ寄附金品ノ價格千圓以上ナルトキハ市長ノ定ムル所ニ依リ金、銀杯ヲ贈呈ス

第三條 價格一萬圓以上ノ金品ノ寄附ヲ爲シタル者ニ對シテハ前條ニ依ルノ外大阪市有功章ヲ贈呈ス

第四條 大阪市有功章ヲ受ケタル者ハ本市在住中紀元節、天長節、明治節及一月一日其他之ニ準スヘキ本市ノ式典ニ參列スルコトヲ得

寄附者待遇規程ニ依ル感謝狀、杯及有功章ニ關スル件

制定 昭三、九、一七市會議決

寄附者待遇規程ニ依ル感謝狀、杯及有功章ニ關スル件左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

寄附者待遇規程ニ依ル感謝狀、杯及有功章ニ關スル件
寄附者待遇規程第二條及第三條ニ依ル感謝狀、金、銀杯及有功章ノ樣式ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 感謝狀

感謝狀

年月日 大阪府 市

シテ 寄附セラレ

仍テ茲ニ深厚ナル謝意ヲ表

ス

年月日

大阪市長 氏 名 印

殿

二、金、銀杯

梨地ニシテ内ニ大阪市徽章
ヲ磨出シ絲尻内部ニ「大阪
市」ノ文字ヲ表ス

三 有功章



直徑五分、地金ハ金ニシテ艶消、表面ニ「功」
ノ文字及大阪市徽章ヲ浮出シ波頭ヲ磨出シ裏
面ニ「大阪市有功章」ノ文字ヲ刻ス

寄附者待遇規程施行ニ關スル件

寄附者待遇規程施行ニ關スル件左ノ通相定ム

寄附者待遇規程施行ニ關スル件

- 一 寄附者待遇規程第一條ニ該當スルモノアルトキハ各局、部、課長ハ直ニ左表ニ依ル調書ニ市會議決又ハ市參事會議決ノ寫若ハ寄附收受ニ關スル市長決裁ノ要録ヲ添付シ庶務部長ニ通知スヘシ

第一號表(金圓寄附ノ場合)

寄附ノ目的	寄附年月日	寄附金額	官職階位	族稱	刑罰ノ有無	本籍及現住所	氏名
		圓	學位				

第二號表(物件寄附ノ場合)

寄附者調書

何 局(部課)

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

大阪市吏員及雇傭員表彰規程

第一條 本市吏員及雇傭員ノ表彰ニ關シテハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本規程ノ定ムル所ニ依ル

第二條 表彰ヲ受クヘキ者左ノ如シ

- 一 職務ニ關シ重大ナル事故ノ發生ヲ未然ニ防止シタル者
 - 二 天災事變ニ際シ其ノ措置衆ノ模範タル者
 - 三 自己ノ一身ヲ顧ス職務ニ盡瘁シタル者
 - 四 市ノ事務、事業ニ關シ又ハ職務上有效ナル發明、考案ヲ爲シ功績顯著ナル者
 - 五 滿二十五年以上本市ニ在職シタル者
 - 六 性質上特ニ有害若ハ危險ナル職務又ハ特ニ辛勞多キ職務ニ從事シ多年精勵恪勤ナル者
 - 七 日常ノ事務、事業ノ執行ニ付其ノ方法ノ改善、事務能率ノ増進、成績ノ向上、士氣ノ振作等功績顯著ナル者
 - 八 職務ノ内外ヲ問ハス市職員ノ名譽ヲ昂揚シ信用ヲ増加スヘキ行爲アリタル者
 - 九 前各號ニ定ムルモノノ外他ノ模範タルヘキ行爲アリタル者
- 第三條 表彰ハ別紙様式ノ表彰狀ヲ授與シテ之ヲ行フ
- 前項ノ規定ニ依ルノ外特別ノ理由アルモノニ付テハ左ノ各號ニ依リ表彰スルコトアルヘシ

- 一 金品ノ授與
- 二 賞牌ノ授與
- 三 特別昇給

史員及雇傭員表彰規程

大阪市吏員及雇傭員表彰規程左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

寄附ノ目的	寄附年月日	寄附品名	寄附數量	寄附物件價額	官職階位	族稱	刑罰ノ有無	本籍及現住所	氏名
					學位				

二 庶務部長ハ前項ノ通知書ヲ調査シ待遇スヘキモノト認ムルトキハ其ノ都長市長ノ決裁ヲ經感謝狀、金杯、銀杯又ハ有功章贈呈ノ手續ヲ爲スヘシ

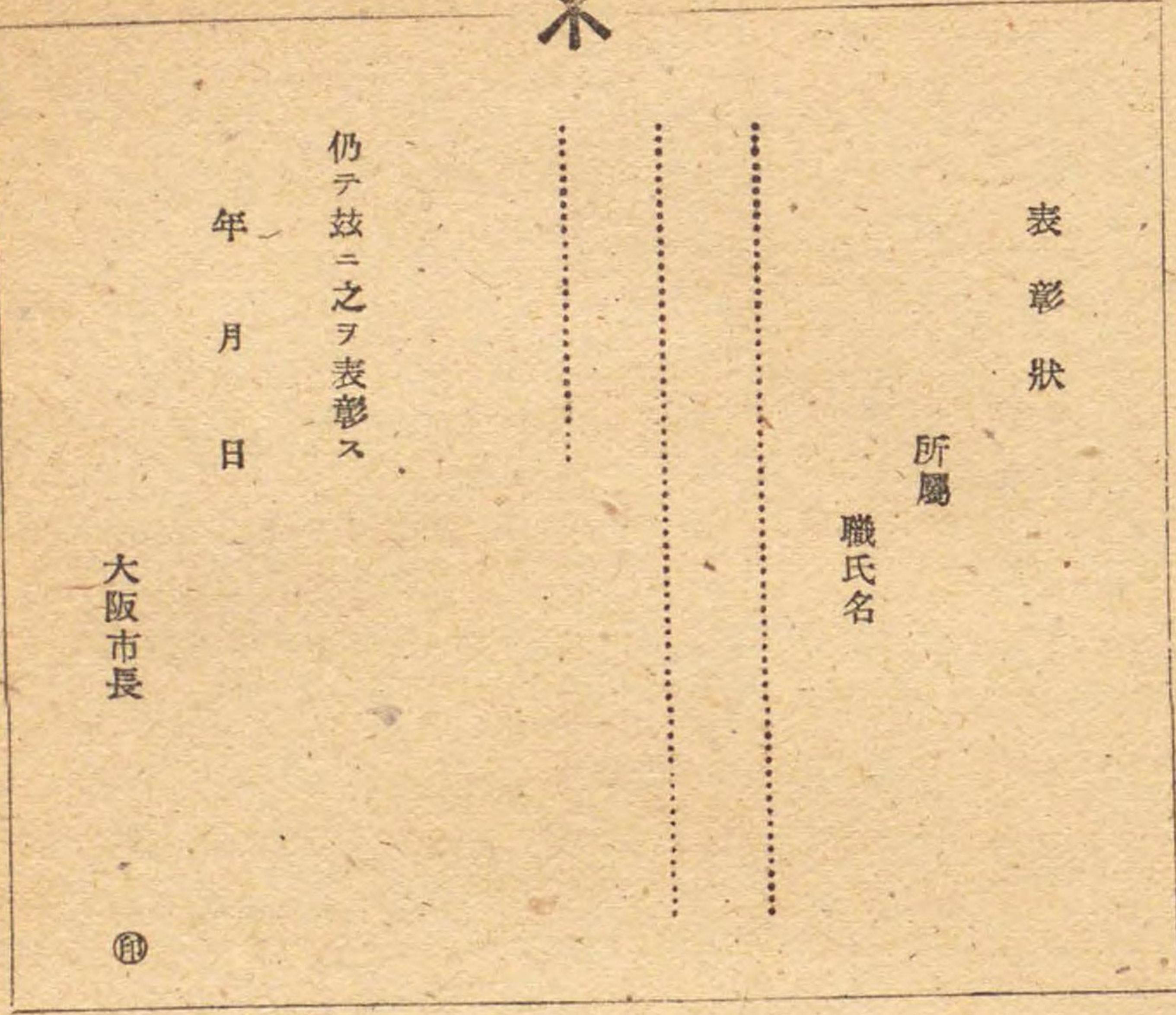
- 四 特別賞與
- 五 特別公休ノ付與
- 六 其ノ他市長ニ於テ適當ト認ムル方法
- 第四條 市長必要アリト認ムルトキハ局、室、部、課、隊、區役所、係其ノ他ノ團體ニシテ第二條各號ノ一ニ該當スルモノニ對シ表彰ヲ爲スコトアルヘシ
- 前項ノ場合ニ於ケル表彰ハ表彰狀ヲ授與シテ之ヲ行フ但シ時宜ニ依リ金品ヲ授與スルコトアルヘシ
- 前二項ノ規定ニ依ル團體表彰ハ同一事由ニ基ク所屬員個人ノ表彰ヲ妨ケス
- 第五條 金品ノ種類及數額並ニ賞牌ノ樣式ハ市長別ニ之ヲ定ム
- 第六條 特別昇給ハ隨時之ヲ行フ但シ定期ノ昇給ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得
- 第七條 特別賞與ハ隨時之ヲ支給ス但シ事情ニ依リ一般ノ賞與ノ際併給スルコトヲ得
- 第八條 特別公休ハ七日以内ニ於テ事務ノ繁閑ヲ計リ之ヲ付與ス
- 第九條 市長表彰ヲ爲シタルトキハ特別ノ事由ナキ限り其ノ者ノ職氏名又ハ團體名及其ノ事績ノ大要等ヲ市公報ニ登載ス第十一條ノ規定ニ依リ表彰ヲ取消シタルトキ亦同シ
- 第十條 表彰ヲ受クヘキ者表彰前死亡シ又ハ所在不明トナリ其ノ他本人ニ表彰狀其ノ他ヲ授與シ難キトキハ之ヲ左ノ順位ニ從ヒ其ノ家ニ在ル親族ニ交付ス但シ同順位者間ニ在リテハ男ハ女ニ、同性間ニ在リテハ長ハ幼ニ先ツ

- 一 配偶者
- 二 子
- 三 父母
- 前項ノ規定ニ依ル表彰狀其ノ他ヲ受クヘキ者ナキトキハ其ノ事績ヲ市公報ニ登載スルニ止ム
- 第十一條 表彰ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ情狀ニ依リ表彰ヲ取消スコトアルヘシ
 - 一 表彰又ハ表彰ヲ受ケタル事項ニ關シ虛偽ノ申立、剽竊其ノ他不正ノ所爲アリタルコトヲ發見シタルトキ
 - 二 懲戒ヲ受ケ又ハ賠償ヲ命セラレタルトキ
 - 三 職務上ノ義務ニ違反シ若ハ職務ヲ怠リ又ハ職務ノ内外ヲ問ハズ市職員ノ體面ヲ汚シ若ハ信用ヲ害スヘキ行爲アリタルトキ
- 表彰ニ依ル既成ノ效果ハ取消ニ因リ變更セララルコトナシ第一項第一號ノ場合ニ於テハ懲戒處分ニ付スルヲ妨ケス
- 第十二條 總務局長本規程ニ依リ表彰スヘキ者又ハ團體アリト認ムルトキハ事由ヲ具シ市長ニ上申スヘシ
- 第十三條 各局、室、部、課、隊、區長ハ所屬員又ハ所屬團體ニシテ本規程ニ依リ表彰スヘキモノアリト認ムルトキハ證據ヲ具シテ總務局長ニ通知スヘシ審査部長及理財局長検査其ノ他ノ調査ニ依リ表彰スヘキモノアリト認ムルトキ亦同シ
- 第十四條 表彰ヲ受ケタル者第十一條ノ規定ニ該當スル所爲アリタル場合ノ手續ニ關シテハ前二條ノ規定ヲ準用ス
- 第十五條 本規程ハ本市囑託員ニ之ヲ準用ス

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

別紙樣式

	表彰狀 所屬 職氏名
仍テ茲ニ之ヲ表彰ス 年 月 日 大阪市長	

第九類
財
務

第九類 財務

第一章 財產

第一節 基本財產

基本財產管理規程

制定 昭七、二、一三 告示三二
最近改正 昭一一、三、告示二二一

本市會ノ議決ヲ經基本財產管理規程左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

基本財產管理規程

第一條 基本財產ハ別段ノ定アルモノヲ除クノ外本規程ニ依リ之ヲ管理ス

第二條 基本財產ヨリ生スル果實ハ之ヲ元本ニ編入ス但シ豫算ヲ以テ其ノ全部又ハ一部ヲ使用スルモノト定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 基本財產ハ銀行預金、金錢信託、公債證券其ノ他市長ニ於テ確實ト認ムル有價證券又ハ不動産ヲ以テ管理ス

第四條 有價證券ハ之ヲ日本銀行又ハ市現金取扱銀行其ノ他市長ニ於テ確實ト認ムル銀行ニ保護預ヲ爲シ又ハ信託會社ニ信託スルモノトス但シ供託金又ハ保證金トシテ一時之ヲ流用スルコトヲ妨ケス

第五條 基本財產ハ市財政ノ都合ニ依リ市會ノ議決ヲ經テ繰戻ノ方法ヲ

【大例一三號】

定メ市ノ各會計ニ之ヲ繰替運用スルコトヲ得但シ同一年度内ニ於ケル

一時繰替ニ付テハ市長之ヲ爲スモノトス

前項ノ場合ニ於テハ利子ヲ附スルモノトス

第六條 本規程ハ別段ノ定アルモノヲ除クノ外蓄積金ノ管理ニ之ヲ準用ス

特別產業獎勵基金設置ノ件

制定 昭九、三、二六 市會議決

本市ニ基本財產トシテ特別產業獎勵基金ヲ左ノ各項ニ據リ設置スルモノトス

記

- 一 昭和四年六月行幸ノ砌ノ御下賜金及其ノ利子ヲ以テ本基金ヲ設置ス
- 二 本基金ヨリ生スル果實ハ市長ニ於テ適當ト認ムル發明獎勵ノ經費ニ之ヲ充ツ但シ其ノ金額ハ毎年豫算ヲ以テ之ヲ定ム

特別獎學基金設置ノ件

制定 昭二〇、二、二二 市會議決

本市ニ特別獎學基金ヲ左ノ各項ニ依リ設置スルモノトス

記

- 一 高松宮殿下風水害御視察ノ爲昭和九年十月十八日櫻島尋常高等小學校ニ御臺臨ヲ忝ウシタル砌ノ御下賜金ヲ以テ本資金ヲ設置ス

二 本資金ヨリ生スル果實ハ當該學校ノ獎學費ニ使用スルモノトス

兒童教育相談所維持基金設置ノ件

制 定 昭二、五、一三市會議決

兒童教育相談所維持基金左ノ各項ニ依リ設置スルモノトス

- 一 大正十一年一月市會議決議案第十四號吉田顯三氏寄附ニ係ル土地、建物並疊建具、附屬物ノ處分ニ依ル收入金二十萬五千三百七圓五十錢ノ内兒童教育相談所創設費ニ充當シタル殘額十萬圓ヲ以テ本基金ヲ設置ス
- 一 本基金ヨリ生スル果實ハ當該相談所ノ經常費ニ使用スルモノトス

實業教育會館維持基金設置ノ件

制 定 昭二、七、一六市會議決

實業教育會館維持基金左記各項ニ依リ設置スルモノトス

- 一 昭和十二年二月三日市參事會議決議案第十三號田附政次郎氏寄附ニ係ル五十萬圓ノ内實業教育會館創設費ニ充當シタル殘額十萬圓ヲ以テ本基金ヲ設置ス
- 一 本基金ヨリ生スル果實ハ當該會館ノ經常費ニ使用スルモノトス

第二節 蓄積金

寄附金蓄積ニ關スル件

制 定 大一五、一〇、二七市會議決

本市社會事業費トシテ金品ヲ寄附スル者アル場合ニ於テ特ニ其ノ用途ノ指定ナク且負擔條件ニ伴ハサルモノナルトキハ市長ニ於テ收受シ社會事業資金トシテ之ヲ蓄積スルモノトス

本蓄積金ノ處分方法ハ豫算其ノ他ヲ以テ之ヲ定ム

本蓄積金ハ確實ナル銀行ニ預入レテ管理スルモノトシ其ノ果實ハ之ヲ元本ニ組入ルルモノトス

公園地ノ一部賣却並公園資金設置ノ件

制 定 昭六、三、二〇市會議決

浪速區惠美須町一丁目外二ヶ町所在

一 市有地(天王寺公園ノ一部)二萬二千八百九十坪二六

別紙調書及圖面ノ通(省略)

右公用廢止ノ上賣却スルモノトシ其ノ收入ハ左記ニ依リ公園資金ヲ設置スルモノトス追テ賣却ニ付テハ時宜ニ依リ隨意契約ニ依ルコトヲ得ルモノトス

記

- 一 本市天王寺公園ノ一部(新世界)市有地處分ニ依ル收入及天守閣收入ノ一部ハ公園資金トシテ之ヲ積立ツ
- 二 本資金ハ銀行ニ預入スルモノトス

慈善基金ノ件

制 定 明三四、六、二〇告示四二

本市會ノ議決ヲ經テ慈善基金ノ件左ノ通相定ム

慈善事業ノ用ニ供スル爲メ金品ヲ寄附スル者アルトキハ市參事會ニ於テ之ヲ收受シ本市慈善基金トシテ蓄積スルモノトス但シ管理ノ方法ハ本市基本財産ノ管理方法ニ依ル

- 三 本資金ヨリ生スル收入ハ之ヲ元本ニ編入ス
- 四 本資金ハ公園ノ新設擴張改良並本件土地管理ノ費用ニ充ツルモノトス

道路資金設置ノ件

制 定 昭八、九、二九市會議決

土地區劃整理組合其ノ他ヨリ道路維持修繕費トシテ收受スル寄附金又ハ之ニ代ハルヘキ寄附土地ノ賣却代ヲ以テ左記ニ依リ道路資金ヲ設置スルモノトス

記

- 一 土地區劃整理組合其ノ他ヨリ道路維持修繕費トシテ收受シタル寄附金又ハ之ニ代ハルヘキ寄附土地ノ賣却代ハ道路資金トシテ之ヲ積立ツ
- 一 本資金ヨリ生スル收入ハ之ヲ元本ニ編入ス
- 一 本資金ノ寄附ヲ爲シタル組合其ノ他地域内ニ在ル道路ノ維持修繕ノ費用ニ充ツルモノトス

中小商工業資金融通損失補償資金設置ノ件

制 定 昭二、九、一四市會議決

左記要項ニ依リ中小商工業資金融通損失補償資金ヲ設置スルモノトス

記

- 一 本市中小商工業資金融通損失補償制度ニ依ル補償料ノ一部ヲ以テ本資金ヲ蓄積ス但シ其ノ金額ハ豫算ヲ以テ之ヲ定ム
- 二 本資金ハ中小商工業資金融通損失補償金ニ之ヲ使用スルモノトス

皇紀二千六百年記念事業資金設置ノ件

左記要項ニ依リ皇紀二千六百年記念事業資金ヲ設置スルモノトス

- 一 本市歳計剰餘金及歳出不用見込額ノ一部ヲ以テ本資金ヲ蓄積ス但シ其ノ金額ハ豫算ヲ以テ之ヲ定ム
- 二 本資金ハ皇紀二千六百年記念事業費ニ之ヲ使用スルモノトス

商科大學附屬特別研究施設資金設置ニ關スル件

制 定 昭三、二、七市會議決 最近改正 昭七、七 市會議決

本市ニ商科大學附屬特別研究機關設置ノ爲資金ヲ設ケ其ノ管理及處分ハ左ノ各項ニ據ルモノトス

- 一 昭和二年十月十一日議案第二百七十七號議決野村徳七氏寄附金壹百萬圓ヲ本資金ニ編入スルモノトス
- 二 本資金ハ確實ナル銀行ニ預ケ入レ又ハ公債證券ヲ購入シ之ヲ管理スルモノトス但シ本市各經濟ニ繰替使用スルコトヲ得

- 三 本資金ヨリ生スル利息ハ之ヲ元本ニ組入ル、モノトス但シ其ノ一部ヲ本機關設置調査費ニ使用シ得ルモノトシ其ノ金額ハ豫算ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス
- 四 本資金ハ商科大學附屬特別研究機關設置ノ場合ニ使用スルモノトス

公債償還基金設置ニ關スル件

制 定 大 三、三、三〇市會議決 最近改正 昭一、二、二 市會議決

市ニ公債償還基金ヲ設置ス其ノ蓄積、管理及處分ハ左ノ各項ニ據ルモノトス

- 一 本市各種公債償還計畫ニ依ル繰越金及毎年度各經濟剰餘金ノ全部又ハ一部並寄附金品ヲ以テ本基金ニ充ツルモノトス但シ毎年度ノ蓄積額ハ豫算ヲ以テ之ヲ定ム
- 二 本基金ハ公債證券、収益アル不動産又ハ金錢信託若ハ銀行預金ヲ以テ管理スルモノトス但シ政府ノ許可ヲ得タル市公債收入ニ一時繰替使用スルコトヲ得
- 三 本基金ハ各種公債償還計畫ニ依リ處分スル外尙市公債元利支拂財源ニ缺陷ヲ生シタル場合又ハ繰上償還ヲナス場合ニ之ヲ使用スルモノトス

運輸事業準備蓄積金規程

制 定 昭一八、三、一八告示八三

本市會ノ議決ヲ經運輸事業準備蓄積金規程左ノ通相定メ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

運輸事業準備蓄積金規程

- 第一條 本市運輸事業ノ經營ニ必要ナル準備資金ヲ蓄積スル爲運輸事業準備蓄積金ヲ設置ス
- 第二條 本蓄積金ハ運輸事業ノ營業利益金ヨリ蓄積スルモノトシ其ノ收入及支出ハ豫算ヲ以テ之ヲ定ム

附則

昭和九年三月二十六日市會議決電氣事業減損補足金蓄積ノ件ハ之ヲ廢止ス 從前ノ電氣事業減損補足金ハ本蓄積金ニ引繼グモノトス

火災損害填補基金規程

制 定 昭一、三、一二告示二二二 最近改正 昭一七、四 告示一〇九

本市會ノ議決ヲ經昭和三年大阪市告示第百十八號火災損害填補基金規程左ノ通り改正ス

火災損害填補基金規程

- 第一條 市有物件ノ火災ニ因ル損害ノ全部又ハ一部ヲ填補スル爲本規程ノ定ムル所ニ依リ資金ヲ蓄積シ之ヲ火災損害填補基金ト稱ス
- 第二條 左ノ物件ニ付テハ本規程ヲ適用セス
 - 一 性質上火災保險ニ附スルノ要キキ物件

- 二 特別ノ事由ニ依リ見積價格ノ全額ニ付火災保險ニ附シタル物件
- 第三條 本基金ヲ以テ損害ノ填補ヲ爲スヘキ豫定額ハ其ノ物件ノ見積價格ノ範圍内ニ於テ市長之ヲ定ム
- 第四條 基金ノ毎年度ノ蓄積額ハ前條ノ規定ニ依リ損害填補豫定額ニ市長ノ定ムル蓄積ノ割合ヲ乘シテ得タル金額トス但シ第五條ノ規定ニ依ル損害填補期間一年未滿ノ物件ニ付テハ日割ヲ以テ之ヲ計算ス
- 第五條 基金ヲ以テ損害ノ填補ヲ爲スヘキ期間ハ火災保險ヲ併用シタル物件ニ付テハ當該物件ヲ目的トスル火災保險契約ノ保險期間ニ依リト爲スコトヲ得
- 第六條 本規程ニ依リ損害ヲ填補スヘキ物件火災ニ罹リタルトキハ第三條ノ規定ニ依ル損害填補豫定額ノ範圍内ニ於テ其ノ損害ヲ填補ス
- 第七條 一部火災ニ因リ滅失シタル場合ニ於テ第三條但書ノ規定ニ依リ火災保險存スルトキハ其ノ保險金額ト損害填補豫定額トノ割合ニ依リ其ノ損害ヲ填補ス
- 第八條 前項ノ場合ニ於テ罹災ノ時ニ於ケル物件ノ價格カ損害填補豫定額算定ノ基礎タリシ見積價格ヲ超ユルトキハ其ノ見積價格ニ依リ填補スヘキ損害額ヲ算定ス

第七條 物件の一部ニ付損害ヲ填補シタルトキハ第三條ノ規定ニ依ル填補額ヨリ其ノ填補額ヲ控除シタル残額ヲ以テ殘餘期間ノ填補額トス但シ其ノ殘額カ填補額ノ五分ノ一未滿ナルトキハ爾後ノ損害ハ之ヲ填補セズ

第八條 損害ノ填補ハ時宜ニ依リ現品ノ交付又ハ修繕、再築等ノ方法ニ依ルコトアルヘシ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル損害ハ之ヲ填補セズ
一 戦争、暴動、一揆其ノ他ノ事變ノ爲生シタル火災及其ノ延焼ニ因ル損害
二 地震ノ爲生シタル火災及其ノ延焼ニ因ル損害
三 汽罐若ハ機關ノ破裂又ハ火薬ノ爆發ノ爲生シタル火災及其ノ延焼ニ因ル損害

第十條 本規程ニ依リ損害ヲ填補スヘキ物件左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ第四條ノ規定ニ依リ蓄積シタル基金ハ之ヲ拂戻スルモノトス
一 火災以外ノ原因又ハ前條ノ規定ニ依ル災害ニ因リ滅失シタルトキ
二 賣却其ノ他ノ處分ニ因リ其ノ所有權ヲ喪失シタルトキ

第十一條 前條ノ場合ニ於ケル基金ノ拂戻額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ算定ス
一 見積價格ノ全額ヲ以テ填補額ト爲シタル場合ニ於テハ其ノ未經過日數ニ對スル日割計算ニ依ル
二 火災保險ヲ併用シタル物件ニ付テハ當該火災保險契約解除ノ場合ニ於ケル未經過火災保險料算出ノ方法ニ依ル

第十二條 基金ノ管理ニ關シテハ基本財産管理規程ヲ準用ス

第十三條 電氣局長及港灣局長ニ於テ其ノ所管ニ屬スル物件ニ付規程第一條ノ規定ニ依リ基金ヲ蓄積セントスルトキ又ハ火災保險ニ付シタルトキハ直ニ前條各號ノ外左ノ事項ヲ理財局長ニ通知スヘシ通知後變更アリタルトキ亦同シ

第十四條 規程第三條ノ規定ニ依ル損害填補額ハ當分ノ内左表ニ依ル但シ物件ノ性質又ハ其ノ周圍ノ狀況ニ因リ之ヲ増減スルコトヲ得

地位	見積價格ノ	見積價格ノ
一等地	百分ノ百	百分ノ百
二等地	百分ノ百	百分ノ八十
三等地	百分ノ百	百分ノ五十
四等地	百分ノ百	百分ノ三十
五等地	百分ノ百	百分ノ三十
六等地	百分ノ百	百分ノ三十

附則
本規程ハ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

火災損害填補基金規程施行細則

制定 昭二一、三、二二告示一二三
最近改正 昭一七、四、告示一二二

昭和三年大阪府告示第百十九號火災損害填補基金規程施行細則左ノ通知正シ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

火災損害填補基金規程施行細則

第一條 火災損害填補基金規程(以下規程ト稱ス)第一條ノ規定ニ依ル基金ハ物件所屬ノ經濟ヨリ之ヲ蓄積スルモノトス

第二條 局、部、課長(電氣局長及港灣局長ヲ除ク)ハ毎年一月末日迄ニ其ノ所管ニ屬スル物件中翌年度當初ニ於テ規程第一條ノ規定ニ依ル基金ノ蓄積又ハ火災保險ニ付スヘキ物件ニ付左ノ事項ヲ理財局長ニ通知スヘシ通知ヲ爲シタル後變更アリタルトキ及新ニ取得シタル物件ニ付其ノ都度亦同シ

一 所屬經濟名

二 名稱、所在地、構造、種別、員數、坪數及見積價格(基礎工事費ヲ除外シ且價位ニ止ムルコト)

三 使用ノ目的

四 周圍ノ狀況

等外地 同 百分ノ百 同 百分ノ六十
前項ノ規定ニ依ル地位ハ日本損害保險協會ノ協定等級ノ例ニ準スルトキトス

〔大例〕三號

第五條 規程第四條ノ規定ニ依ル蓄積割合左ノ如シ

一 火災保險ヲ併用シタル物件ニ付テハ當該物件ヲ目的トスル火災保險契約ノ保險料率ニ依ル

二 見積價格ノ全額ヲ以テ填補額ト爲シタル物件ニ付テハ日本損害保險協會ノ協定保險料率(市有物件ニ付特定料率ノ定アル場合ハ其ノ料率)ニ依ル

第六條 規程第一條ノ規定ニ依ル物件左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ所管局、部、課長ハ遲滞ナク其ノ旨理財局長ニ通知スヘシ但シ第一號ノ場合ニ於テハ七日以内ニ火災ノ原因及罹災ノ狀況ヲ記載シタル書類並損害見積書ヲ提出スヘシ

一 火災ニ罹リタルトキ

二 火災以外ノ原因ニ因リ滅失シタルトキ

三 規程第九條ノ原因ニ因リ滅失シタルトキ

四 賣却其ノ他ノ處分ニ因リ所有權ヲ喪失シタルトキ

五 局、部、課等ノ廢置分合其ノ他ノ事由ニ因リ移管アリタルトキ

六 前各號ノ外火災ノ危險ヲ多カラシムヘキ事由生シタルトキ

第三節 財産管理

市有財産規則

本市會ノ議決ヲ經大阪市有財産規則左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大阪市有財産規則

- 第一條 本規則ニ於テ市有財産ト稱スルハ市有ノ不動産、不動産及其ノ他ノ財産ヲ謂フ
第二條 市有財産ノ取得管理及處分ハ法令其ノ他別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本規則ノ定ムル所ニ依ル
第三條 市有財産ヲ分チテ左ノ三種トス
一 基本財産 基本財産ト決定シタルモノ
二 公用財産 直接公用又ハ公共ノ用ニ供シ又ハ供スルモノト決定シタルモノ
三 普通財産 前各號ニ屬セザルモノ
第四條 公用財産ハ之ヲ處分シ又ハ貸付クルコトヲ得ズ但シ其ノ用途又ハ目的ヲ妨ゲザル限度ニ於テ貸付ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラズ
第五條 基本財産及普通財産ハ左ノ期間内ニ於テ之ヲ貸付スルコトヲ得
一 土地 三十年
二 建物其ノ他ノ工作物 十年
三 前各號以外ノ物件 五年
市長特別ノ事由アリト認ムルトキハ前項ノ期間ニ依ラザルコトヲ得

トアルモ市ハ之ガ補償ノ責ニ任ゼズ
第十二條 市有財産返還ノ際ハ市長ノ指定スル期間内ニ之ヲ原狀ニ復スベシ但シ市長其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ
借受人前項ノ義務ヲ怠リ又ハ之ヲ履行セザルトキハ市長ニ於テ之ヲ施行シ其ノ費用ヲ辨償セシム
前項ノ場合ト雖モ損害賠償ヲ請求スルコトアルベシ

- 第十三條 借受人ノ責ニ歸スベキ事由ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ損害ノ賠償ヲ請求スルコトアルベシ
第十四條 普通財産ハ賣買、交換其ノ他ノ方法ニ依リ取得若ハ處分スルコトヲ得
第十五條 賣却代金及交換差金ハ一時ニ納付セシムルモノトス但シ時宜ニ依リ市長ハ別ニ定ムル利子ヲ附セシメ之ヲ分納セシムルコトヲ得
第十六條 賣却代金又ハ交換差金ノ納付ニ付テハ第八條ノ規定ヲ準用ス
第十七條 賣却代金、交換差金、利子及延滞損害金ヲ完納スルニ非ザレバ所有權ヲ移轉セズ但シ所有權移轉前ト雖モ必要アル場合ハ當該物件ヲ使用セシムルコトヲ得
第十八條 買受人ノ責ニ歸スベキ事由ニ因リ賣買契約ヲ解除シタルトキハ既納金ハ違約損害金トシテ本市ノ所得トス
第十九條 第十條乃至第十二條ノ規定ハ賣買契約ニ之ヲ準用ス
第二十條 市有財産ヲ賣却シ又ハ貸付ケントスルトキハ競争入札ニ付スルモノトス但シ市長必要ト認ムルトキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得
第二十一條 市長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得

第六條 貸貸料左ノ如シ但シ公益上其ノ他市長特別ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ減免スルコトヲ得
一 土地 地 一月ニ付時價ノ千分ノ三以上
二 建物其ノ他ノ工作物 一月ニ付時價ノ千分ノ四以上
三 前各號以外ノ物件 時價ヲ斟酌シテ市長之ヲ定ム
日ヲ以テ期間ヲ定ムルトキハ前項ノ規定ニ依ル金額ノ三十分ノ一ヲ以テ一日ノ貸貸料トス
貸付面積廣告物ノ全面積ヨリ小ナルトキハ廣告物ノ全面積ニ依リ貸貸料ヲ算定ス

- 第七條 市有財産ヲ無斷使用シ又ハ返還期限後返還セザルトキハ其ノ間前條ノ規定ニ依リ算出シタル普通料金ノ倍額ニ相當スル損害金ヲ徴収ス
第八條 貸貸料ハ市長ノ定ムル納期日迄ニ納付スベシ
貸貸料ノ納付ヲ遅延シタルトキハ納期日ノ翌日ヨリ百圓ニ付一日四錢ノ割合ヲ以テ延滞損害金ヲ徴収ス但シ市長特別ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ減免スルコトヲ得
第九條 借受人賃借權ヲ讓渡シ又ハ轉貸セントスルトキハ豫メ市長ノ承認ヲ受クベシ
前項ノ場合ニ於テハ貸貸料ヲ増額スルコトアルベシ
第十條 借受人市有財産ノ形質ヲ變更セントスルトキ又ハ工作物ノ設置若ハ大修繕ヲ爲サントスルトキハ豫メ詳細ナル設計書及圖面ヲ提出シテ市長ノ承認ヲ受クベシ其ノ用途ヲ變更セントスルトキ亦同ジ
第十一條 借受人ニ於テ市有財産ニ關シ必要費又ハ有益費ヲ支出スルコトヲ得

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

得
一 貸地上ノ建物朽蝕又ハ滅失シタルトキ
二 借地人ガ建物ノ所有權ヲ失ヒタルトキ
三 三月以上貸貸料、賣却代金、利子及延滞損害金ノ納付ヲ怠リタルトキ
四 公益上其ノ他本市ニ於テ必要アルトキ
五 契約ノ解除ヲ申出デタルモノニシテ已ムヲ得ザル事由アリト認ムルトキ
六 本規則又ハ契約事項ニ違反シタルトキ

- 第二十一條 市有財産ノ賣買及賃借ノ契約ニ關シテハ本規則ニ定ムルモノヲ除クノ外大阪府契約規程ニ依ル
第二十二條 市有財産ハ臺帳ヲ設ケ其ノ所在、數量及價額等ヲ登錄スベシ
第二十三條 備品及其ノ他物品ノ取扱ニ關シテハ市長別ニ之ヲ定ム
第二十四條 市ニ於テ使用許可ヲ受ケタル埋立地ノ貸付ニ付テハ本規則ヲ準用ス
第二十五條 本規則ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム
附則
昭和十一年大阪府告示第百二十四號大阪府有不動産規程ハ之ヲ廢止ス
本規則施行ノ際賣買又ハ賃借ノ契約アルモノハ其ノ終了迄仍從前ノ規定ニ依ル

市有財産規則施行細則

大阪市有財産規則施行細則左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大阪市有財産規則施行細則

第一條 大阪市有財産規則（以下規則ト稱ス）第一條ノ其ノ他ノ財産トハ左ノモノヲ謂フ

- 一 地上權、特許權其ノ他之ニ準ズベキ權利
- 二 株式及出資ニ因ル權利

第二條 市有財産買受又ハ賃借ノ申込若ハ賃借ノ契約ヲ爲サントスル者ニ對シテハ保證金ヲ徴ス但シ市長其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

- 前項ノ保證金ノ種類及額左ノ如シ
- 一 買受申込保證金 見積價格ノ十分ノ一以上
- 二 賃借申込保證金及賃借契約保證金 契約期間二十年以上 見積價格又ハ賃借料六月分相當額以上 契約期間二十年未満 見積價格又ハ賃借料三月分相當額以上

見積價格又ハ賃借料三月分相當額以上

前二項ノ規定ハ市有財産ノ賣却又ハ貸付ノ入札ニ之ヲ準用ス

貸付物件ノ原狀回復ニ付特ニ費用ヲ要スト認ムルトキ又ハ第三條ノ規定ニ依ル保證人ヲ立ツルコト能ハザルトキハ契約保證金ヲ増徴スルトアルベシ

保證金ハ別ニ定ムル所ニ依リ有價證券ヲ以テ代用セシムルコトヲ得

第三條 市長ハ買受人及借受人ノ資格ヲ定メ又ハ連帶保證人ヲ立テシムルコトアルベシ

前項ノ連帶保證人ハ左ノ各號ノ資格ヲ有スル者ニシテ市長ニ於テ適當

市有財産ニシテ他ノ規定ニ依ル臺帳ノ設備アルモノハ之ヲ以テ本規定ニ依ル臺帳ニ代用スルコトヲ得

第九條 市有財産左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ直ニ其ノ事實年月日其ノ他必要ナル事項ヲ臺帳ニ登錄スベシ

- 一 得喪變更アリタルトキ
- 二 所管換アリタルトキ
- 三 規則第三條ノ規定ニ依ル種類ノ變更アリタルトキ
- 四 用途ノ變更アリタルトキ
- 五 改築、修築、天災事變其ノ他ノ事由ニ因リ形質又ハ價格ニ變動アリタルトキ
- 六 有租地成、無租地成、土地ノ分合、地目變換其ノ他重要ナル事實發生シタルトキ

第十條 臺帳ニ登錄スベキ價格ハ取得又ハ建設價格トス但シ公債及社債ニ付テハ額面金額ニ依ル

- 前項ノ規定ニ依リ難キモノニ付テハ左ノ區分ニ依リ之ヲ定ム
- 一 交換又ハ無償取得ニ係ルモノニシテ評定價格アルモノハ其ノ價格
- 二 株式及出資ニ因ル權利ニ付テハ拂込金額又ハ出資金額
- 三 前各號ニ該當スルモノノ外ハ其ノ見積價格

前二項ノ規定ニ依ル登錄價格ハ四年毎ニ之ヲ評定スベシ

第十一條 公用財産ニシテ其ノ用途ヲ廢止シタルトキハ特ニ理財局長ト協定シタルモノヲ除クノ外遲滞ナク之ヲ理財局長ニ引繼グベシ

第十二條 左ニ掲グル場合ニ於テハ之ヲ理財局長ニ請求スベシ

ト認ムル者ナルコトヲ要ス

- 一 大阪市内又ハ近接市町村ニ住所又ハ事務所ヲ有スルコト
- 二 引續キ二年以上直接國稅年額百圓以上ヲ納ムルコト

第四條 買受又ハ賃借申込人正當ノ事由ナクシテ申込ノ取消ヲ求メ又ハ指定期間内ニ契約ヲ締結セザルトキハ申込保證金ハ本市ノ所得トス落札人入札ノ取消ヲ求メ又ハ指定期間内ニ契約ヲ締結セザルトキハ入札保證金ニ付亦同ジ

第五條 契約保證金ハ賃借料又ハ延滞損害金ノ納付ヲ遲滞シ又ハ規則第十二條第二項ノ規定ニ依ル費用ヲ納付セザルトキ之ニ充當スル外契約ニ伴フ一切ノ損害ニ充當ス 前項ノ規定ニ依ル充當ニ因リ保證金ニ不足ヲ生ジタルトキハ其ノ不足額ヲ追徴ス

第六條 契約期間一年ヲ超ヘザル賃借賃借ニ付テハ賃借料ヲ前納セシム但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 規則第十五條但書ノ規定ニ依ル利子ハ日歩一錢二厘五毛トス但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ減免スルコトアルベシ

第八條 市有財産ノ臺帳ハ其ノ種類毎ニ第一號乃至第七號様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

規則第三條第一號及第二號ニ屬スル市有財産ニ付テハ關係局、部、課、廠及區長ニ於テ前項ノ規定ニ依ル臺帳ノ副本ヲ備フベシ 公課アル市有財産ニ付テハ第八號様式ノ公課整理簿ヲ備ヘ土地ニ付テハ第九號様式ノ土地出納簿ヲ備フベシ

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

一 公有財産ト爲ス目的ヲ以テ財産ノ取得（地上權等ノ取得ヲ含ム）又ハ交換ヲ爲サントスルコトキ

二 市有財産ニ付規則第三條ノ規定ニ依ル種類ノ變更セントスルトキ

三 公有財産ト爲ス目的ヲ以テ市有財産ノ所管換ヲ爲サントスルトキ

第十三條 左ニ掲グル場合ニ於テハ之ヲ理財局長ニ合議スベシ

- 一 公有水面埋立法ニ依ル竣功認可ヲ申請セントスルトキ
- 二 法令ニ依リ土地又ハ建物ノ無償下附ヲ申請セントスルトキ
- 三 規則第四條但書ノ規定ニ依リ公用財産ヲ貸付ケンタルトキ
- 四 公用財産ノ用途ヲ變更セントスルトキ
- 五 市有財産ニ付其ノ公用ヲ廢止セントスルトキ
- 六 前各號ニ定ムルモノノ外財産ノ取得又ハ處分ニシテ異例ニ屬スルモノ

第十四條 市有財産ニ付第九條第五號ノ事實發生シタルトキハ主管ノ局、部、課、廠及區長ハ直ニ其ノ狀況ヲ理財局長ニ報告スベシ

第十五條 第十一條、第十二條、第十三條第一號乃至第十四條ノ規定ハ電氣局及港灣局所管ニ屬スルモノニ付テハ之ヲ適用セズ但シ第十二條第三號ニ掲グル事項ニ付テハ之ヲ理財局長ニ合議シ同條第一號及第二號ニ掲グル事項ニ付テハ其ノ願末ヲ理財局長ニ通知スベシ

附則

昭和十一年大阪告示第百二十五號大阪市有不動産規程施行細則ハ之ヲ廢止ス 本細則施行ノ際買受又ハ賃借ノ契約アルモノハ其ノ終了迄仍從前ノ規定ニ依ル

第一號樣式(土地臺帳)

物件	所在地			地番	地目	積		實價	價格	等級																				
	町	丁目	番地			坪	公																							
取得	年月日	原	因	前所有者	坪數	公	段	步	圓	記																				
					登記	年月日					單	價	圓																	
摘要	契約年月日	代金拂込方法	價	格	代金拂込済	登記	讓受人住所氏名	價																						
								單價金額	圓	圓	圓																			
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現</td> <td rowspan="2">用途</td> <td rowspan="2">所</td> <td rowspan="2">屬</td> <td rowspan="2">價</td> <td rowspan="2">圓</td> <td colspan="5">評</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> <td>單</td> <td>價</td> <td>圓</td> <td>圓</td> <td>圓</td> <td>圓</td> </tr> </table>											現	用途	所	屬	價	圓	評					年	月	日	單	價	圓	圓	圓	圓
現	用途	所	屬	價	圓	評																								
						年	月	日	單	價	圓	圓	圓	圓																

備考 一 筆毎に添載スベシ
 二 地積ハ實測公簿共記入シ實測ハ朱書スベシ
 三 土地ノ形状ハ隣接地ト共ニ裏面ニ圖示スベシ
 四 不用臺帳ハ別ニ整理スベシ

〔大例一三號〕

〔大例一三號〕

第二號樣式(建物臺帳 甲)

所屬	現用途	所在地	敷	坪		實	公	坪	地	地	日	所有	經	濟	圓	面	番	號			
				實	公														價	公	積
木	造	建	物	耐	久	建	物	合	計	棟	坪	數	建	坪	延	坪	價	格	摘要		
																				棟	坪
年月日	棟	坪	數	建	坪	延	坪	價	格	摘要	年月日	棟	坪	數	建	坪	延	坪	價	格	摘要

備考 一 構造ニ種類整理シ圖面ヲ附屬セシムベシ
 二 圖面ニ番號ヲ附シ明ニ整理スベシ
 三 敷地欄ニハ所有者ヲ明記スベシ
 四 不用臺帳ハ別ニ整理スベシ

備考 一 欄ニ添載スベシ
 二 欄ニ添載スベシ
 三 欄ニ添載スベシ
 四 欄ニ添載スベシ

第二號樣式(建物臺帳 乙)

號	審	濟	經	地		摘	格	價	數	員	造	敷		稱	別	種	日	月	年	備	考				
				所有	者							目	地									公	實	地	借
				地	在							所	用									屬	所		

第三號樣式(建物以外ノ不動産臺帳)

大例二三號

備考 別表第二號樣式備考ハ本表ニ準用ス

第四號樣式(船舶臺帳)

製造貨目

種	製造所				備	考																
	類	噸	公稱馬力				現	在														
			形	狀					減	價												
	入	購	價	格			數	量	價	格	年	月	日									

附屬品明細

月	日	品	名	形	狀	寸	法	數	量	單	位	返		備	
												月	日		納

大例一三號

第九類 財務 第一章 財產

備考

- 一 船舶一隻毎ニ別葉トスベシ
- 二 屬具其ノ他ノ從物ニ付テハ其ノ價格ヲ船舶價格ニ合算シ其品名及數量等ヲ裏面ニ詳記スベシ

名稱									
年月日	摘要	收入	支出	現在額	現在額内譯			繰替貸	備考
					現金	定期金	通知金		
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	

第七號様式(蓄積金臺帳)

區名 經濟名 地別目

年月日	摘要	地積	地積	貸賃價格	處分	差引	別計	稅			發議番號	出令發行年月日
								國稅	府稅 附加稅	府稅 特別稅		

第八號様式(公課整理簿)

〔大例一三號〕

名稱 所屬

年月日	摘要	出資又ハ拂込額				現在價格	備考
		財源	單價	數量	金額		
					圓		

備考
一 備考欄ニハ一株又ハ一口ノ金額其ノ他株式又ハ出資ノ内容ヲ示スベキ事項ヲ詳細記入スベシ

第九類 財務 第一章 財產
第五號様式(株式及出資財産臺帳)

名稱

年月日	摘要	收入	支出	現在額	現在額内譯			繰替貸	備考
					現金	定期金	金債託 有價券		
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	

第六號様式(基本財産臺帳)

〔大例一三號〕

現用途

年月日	摘要	受			拂			残		
		筆数	坪数	金額	筆数	坪数	金額	筆数	坪数	金額

所属經濟 充當財源 取扱呼稱

年月日	摘要	受			拂			残		
		筆数	坪数	金額	筆数	坪数	金額	筆数	坪数	金額

〔大例一三號〕

築港埋立地盤嵩上げニ關スル件

制定 昭二一、三、二七市會議決

築港埋立地賃借人又ハ本市ノ承認シタル轉借人ニシテ其ノ地域内ヲ嵩上げセントスル場合ハ左記ニ依リ之ヲ施行セシムルモノトス

追テ本案施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ムルモノトス

記

一、賃借人又ハ轉借人ニ於テ其ノ借地域内ノ地盤ノ嵩上ヲ爲サントスルトキハ詳細ナル設計圖及仕様書ヲ提出シテ市長ノ承認ヲ受ケシムルモノトス

二、嵩上げ高ハ市長ノ定ムル基準ニ依ラシムルモノトス

三、嵩上げ工事竣功シタルトキハ其ノ工費精算書ヲ提出シ本市ノ査定ヲ受ケシムルモノトス

四、嵩上げ部分ハ工事竣功ト同時ニ無償ニテ本市ノ所有ニ歸セシムルモノトス

五、工事竣功シタルトキハ賃借人又ハ轉借人ニ對シ第三號ノ工費査定額ノ五割相當額ノ助成金ヲ交付スルモノトス

六、前號助成金ハ土地賃貸料、違約金等ノ滞納アル場合ハ其ノ交付ヲ停止スルモノトス

七、嵩上げ用土砂ハ時宜ニヨリ本市ヨリ提供スルコトアルヘシ

河岸地管理規程

制定 昭二一、四、一一市會議決

本市會ノ議決ヲ經内務大臣ノ認可ヲ得テ河岸地管理規程左ノ通相定ム

河岸地管理規程

附則

本規程ハ昭和十一年四月十一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年大阪市告示第九十二號河岸地管理規程ハ之ヲ廢止ス

本規程施行ノ際賃借ノ契約アルモノハ其ノ終了迄従前ノ規定ニ依ルモノトス

護岸改築ニ關スル件

制定 大二、三、三〇市會議決

築港埋立地賃借人又ハ本市ノ承認シタル轉借人ニシテ其ノ借地々先護岸ヲ鐵筋混凝土矢板造又ハ石造其ノ他之ニ類似ノ耐久的工法ニ依リ改築シタル場合ニ於テ竣成シタル護岸及土地ノ取得並使用處分其ノ他之ニ關聯スル事項ニ就テハ左記ニ依リ措置スルモノトス

追テ本案施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ムルモノトス

記

一、護岸改築工事ヲ施行セムトスル者ハ豫メ詳細ナル設計書ヲ提出セシメ市長ノ承認ヲ受ケシムルモノトス

二、改築シタル護岸及護岸改築ノ爲メ竣成シタル土地ハ本市ニ寄附セシムルモノトス

三、前號ノ護岸及土地ハ賃借人又ハ轉借人ハ賃渡スモノトス但シ護岸ノ維持修繕ハ土地賃借人又ハ轉借人ノ負擔タルヘキモノトス

- 四 前號ノ貸渡期間ハ地元貸貸期間ト其ノ終期ヲ同一トシ貸貸料ハ五箇年免除スルモノトス
- 五 護岸改築ニ對シ助成金トシテ本市ノ承認セル工事費精算額ノ年八分以内ニ相當スル金額ヲ五箇年間土地賃借人又ハ轉借人へ交付スルモノトス但シ一箇年ノ交付金額ハ其ノ會計年度ニ屬スル地元約定賃貸料ノ年額二分ノ一ヲ超エサルモノトス
- 六 賃貸料免除及助成金交付年限ハ賃貸借契約期間ノ滿了ノタメ五箇年ニ滿タサルトキハ五箇年以内ニ止メ契約更新ノ場合ニハ之ヲ通算シ五箇年ニ止ムルモノトス
- 七 土地賃借人又ハ轉借人ノ希望ニ依リ其ノ費用ヲ以テ本市ニ於テ之カ工事ヲ受託施行シ得ルモノトス

〔大例一三三〕

第二章 市税、負擔金及手數料

第一節 市 税

市税條例

制 定 昭一五、九、一六條例二二
最近改正 昭一八、四、 條例 二

本市會ノ議決ヲ經大阪州市税條例左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大阪州市税條例

第一章 總則

- 第一條 市税ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本條例ニ依リ之ヲ賦課徴收ス
- 第二條 左ニ掲グルモノニハ市税ヲ課セス
 - 一 市有ノ土地家屋（分割拂ニ依ル賣却契約期間中ノ土地家屋ヲ除ク）又ハ物件
 - 二 軍事扶助法ニ依リ現ニ扶助ヲ受クル者
 - 三 戰時事變ニ伴フ出征者ノ戶主、家族若ハ遺族ニシテ生活困難トナリタル場合ニ於ケル出征者並其ノ戶主、家族若ハ遺族
 - 四 商品タル物件
 - 五 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助又ハ扶助ヲ受クル者
 - 六 祭祀、宗教、慈善、學術、技藝其ノ他公益事業ヲ營ム者ニシテ專ラ其ノ事業ノ用ニ供スル物件
- 第三條 納稅義務者ニ於テ成規ノ申告ヲ爲サヌ又ハ申告ヲ爲スモ區長ニ於テ之ヲ不相當ト認ムルトキハ區長ハ課稅標準ヲ査定シ之ニ賦課ス

第四條 市税ノ賦課ニ關シ必要アルトキハ區長ハ區吏員ヲシテ事務所、營業所又ハ家宅若ハ物件ノ所在等ニ付臨檢シ課稅ノ當否、帳簿、鑑札等ノ檢査ヲ爲サシムルコトアルヘシ
區長前項ノ臨檢ヲ爲サシムルトキハ當該吏員ニ別ニ定ムル様式ノ檢査證書ヲ携帯セシム

第五條 市税ノ賦課洩又ハ逋脱者ヲ發見シタルトキハ其ノ賦課スヘカリシ稅額ノ全額ヲ一時ニ賦課ス

第二章 賦課

第一節 國稅附加稅

- 第六條 國稅附加稅トシテ賦課スヘキ市税及其ノ課率左ノ如シ
 - 一 地租附加稅 本稅ノ百分ノ二百
 - 二 家屋稅附加稅 本稅ノ百分ノ二百
 - 三 營業稅附加稅 本稅ノ百分ノ二百
- 第七條 國稅附加稅ノ賦課ニ付テハ各國稅本稅ノ例ニ依ル但シ田租ニ對スル附加稅ハ第一期ハ其ノ年八月一日、第二期ハ翌年一月一日現在ニ依リ賦課ス
- 第八條 市内ノ數區ニ涉リ營業所ヲ有スル者ノ營業稅附加稅ニ付テハ主タル營業所所在ノ區ニ於テ之ヲ賦課ス

第二節 府稅附加稅

- 第九條 府稅附加稅トシテ賦課スヘキ市税及其ノ課率左ノ如シ
 - 一 段別稅附加稅 本稅ノ百分ノ二百
 - 二 船舶稅附加稅 本稅ノ百分ノ百
 - 三 自動車稅附加稅 本稅ノ百分ノ百
 - 四 電柱稅附加稅 本稅ノ百分ノ百
 - 五 不動産取得稅附加稅 本稅ノ百分ノ百

第九類 財務 第二章 市稅、負擔金及手數料

六 狩獵者稅附加稅 本稅ノ百分ノ百
 七 藝妓稅附加稅 本稅ノ百分ノ百
 第十條、府稅附加稅ノ賦課ニ付テハ各府稅本稅ノ例ニ依ル

第三節 獨立稅
 第十一條 獨立稅下シテ賦課スヘキ市稅左ノ如シ

- 一 市 民 稅
- 二 自 轉 車 稅
- 三 金 庫 稅
- 四 本 道 稅
- 五 軌 道 稅
- 六 商 品 切 手 發 行 稅
- 七 タ ン 切 稅

第十二條 市民稅ハ毎年十月一日現在ニ依リテ之ヲ賦課ス
 第十三條 市内ニ一戸ヲ構フル個人又ハ一戸ヲ構ヘサルモ獨立ノ生計ヲ營ム個人ニ對スル市民稅ハ一戸ノ家屋賃賃價格(附屬建物ヲ含ム以下同シ)及綜合所得稅ヲ納ムル者ノ其ノ年決定シタル總所得金額(同居家族ノ分ヲ含ム以下同シ)ヲ標準トシ左ニ掲グル課額ニ依リ其ノ住所所在ノ區ニ於テ之ヲ賦課ス

課額	課額
一 戶ノ家屋賃賃價格	一 萬圓以下
二 百圓以下	二 百圓
三 百圓以下	三 百二十圓
四 百圓以下	四 百八十圓
五 百圓以下	八 百圓
六 百圓以下	一 千二百圓
	一 千五百圓

總所得金額ニ依ル課額	課額
一 萬圓ヲ超ユルモノ	七 百圓以下
二 總所得金額ニ依ル課額	八 百圓以下
三 千圓以上	九 百圓以下
二 千圓以下	一 千圓以下
一 千圓以下	一 千五百圓以下
五百圓以下	二 千圓以下
三百圓以下	二 千五百圓以下
二百圓以下	三 千圓以下
一百圓以下	四 千圓以下
五十圓以下	五 千圓以下
三十圓以下	六 千圓以下
二十圓以下	七 千圓以下
十圓以下	八 千圓以下
五圓以下	九 千圓以下
一圓以下	一 萬圓以下
一圓以下	一 萬五千圓以下
一圓以下	二 萬圓以下

第十四條 前條ニ該當スル者ニシテ市内ニ於テ別ニ事務所、營業所、工場、劇場、別宅、倉庫、娛樂場等ヲ經營又ハ使用スル個人ニ付テハ之等ノ家屋賃賃價格ヲ一戸ノ家屋賃賃價格ニ加算シ前條ノ課額ヲ適用ス
 (本號ノ課額ハ前號ノ課額ニ加算ス)
 第十五條 市内ニ事務所又ハ營業所ヲ有スル法人ニ對スル市民稅ハ其ノ事務所、營業所ノ家屋賃賃價格(附屬建物ヲ含ム以下同シ)及公稱資本金又ハ出資額若ハ之ニ類スルモノ(以下資本金ト稱ス)ヲ標準トシ左ニ掲グル課額ノ和ノ金額ニ依リ各事務所、營業所毎ニ其ノ所在ノ區ニ於テ之ヲ賦課ス但シ事務所、營業所方主タル事務所又ハ本店ナラサルトキ及清算中ノ法人ニ付テハ資本金ニ依リ課額ハ之ヲ適用ス

課額	課額
三 萬圓以下	百 二十圓
五 萬圓以下	二 百圓
八 萬圓以下	三 百二十圓
十二萬圓以下	四 百八十圓
二十萬圓以下	八 百圓
三十萬圓以下	一 千二百圓
三十萬圓ヲ超ユルモノ	一 千五百圓

第九類 財務 第二章 市稅、負擔金及手數料

第十六條 祭祀、宗教、慈善、學術、技藝其ノ他公益事業ヲ營ム者ニシテ專ラ其ノ事業ノ用ニ供スル家屋ノ家屋賃賃價格ハ第十三條乃至第十五條ノ家屋賃賃價格ノ計算上之ヲ算入セス但シ前條第二項ノ法人ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
 第十七條 貸事務所ノ用ニ供スル目的ヲ以テ建設セラレタル家屋ニ付テハ市長ノ定ムル所ニ依リ其ノ現ニ各借主ノ專用ニ供スル部分ニ付市民稅ノ課稅標準タル家屋賃賃價格ノ計算上之ヲ除外スルコトヲ

得

前項ニ定ムルモノノ外家屋ノ使用力當該營業ノ主要ナル部分ヲ爲ス
モノ及自己使用ノ家屋ノ一部ヲ他人ニ賃貸スルモノニ付テハ市長ノ
定ムル所ニ依リ市民税ノ課税標準タル家屋賃貸價格ヲ輕減スルコト
ヲ得

第十七條

左ニ掲グル者ニ對シテハ市民税ヲ課セス
一 神社及宗教團體法ニ依ル宗教團體
二 國、地方團體及所得税法第四條ノ規定ニ依ル公共團體
三 民法第三十四條ノ規定ニ依リ設立セラレタル法人
四 救護法及母子保護法ニ依リ現ニ生活扶助以外ノ救助又ハ扶助ヲ
受クル者
五 方面委員令ニ依リ要扶掖者トシテ方面世帯票ニ登録セラレタル
者

第十八條

前各號ノ外市長ニ於テ市民税ノ賦課ヲ不適當ト認ムル者

市民税ノ課税決定ノ標準タル家屋賃貸價格ノ課税
標準タル賃貸價格トス

家屋税ヲ課セラルヘキ家屋ニシテ市民税ノ賦課期日ニ於テ未タ其ノ
賃貸價格ノ決定セラレサルモノ及家屋税ヲ課セラレサル家屋ノ賃貸
價格ハ家屋税ノ例ニ依リ區長ノ定ムル賃貸價格トス
家屋税法第四條ノ規定ニ依ル一個ノ家屋ノ一部ヲ爲ス家屋及借室、
借事務所等ノ賃貸價格ノ算定方法ハ市長別ニ之ヲ定ム

第十九條

市長ハ市民税ノ賦課ニ際シ市民税ノ總額ノ地方税法第六十
六條第二項ノ規定ニ依ル制限額ヲ超ユル見込アルトキハ各納稅義務
者ノ賦課額ニ付均一ノ割合ヲ以テ減額シ賦課總額ヲ其ノ制限ノ範圍
内ニ止ム

每ニ一米ニ付一錢八厘ヲ増課ス

三 賦課期日直前一年分ノ事業年度ノ利益配當年六分未滿ナルトキ
ハ前二號賦課率ノ十分ノ三ヲ減ス

賦課期日直前一年分ノ事業年度ノ利益配當年四分未滿ノ者及運輸開
始ニ至ラサル者或賦課期日直前ノ事業年度ニ於テ地方鐵道補助法ニ
依ル補助ヲ受クル者ニハ軌道税ヲ課セス

第二十四條

商品切手發行額ハ前月中ノ商品切手發行額ニ對シ發行所
所在ノ區ニ於テ左ノ課率ニ依リ商品切手發行額ニ之ヲ賦課ス

一ヶ月商品切手發行額ノ百分ノ二

商品切手額面五圓未滿ノモノハ商品切手發行額ニ算入セス
商業組合法ニ依ル商業組合ノ發行スル商品切手及本市内ニ在ル營業
所ヲ通シテ一ヶ月商品切手發行額千圓未滿ノモノニハ課税セス此ノ
場合前項商品切手ノ發行額ハ之ヲ通算ス

第二十四條

タンク、石油タンク其ノ他氣體、液體ヲ收藏スル工作物(以下タン
クト稱ス)ニ對シ其ノ體積ヲ標準トシテ其ノ所在ノ區ニ於テ左ノ課
率ニ依リ其ノ所有者ニ之ヲ賦課ス

體積 一立方米ニ付 一ヶ年度 六錢

左ニ掲グルタンクニハ課税セス

一 體積十立方米未滿ノタンク

二 水タンク、肥料タンク

タンクニシテ伸縮スル裝置ノモノニ付テハ其ノ最大ノ體積ニ依ル

第四節 目的税

第二十五條

都市計畫法ノ施行ニ要スル費用ニ充ツル爲賦課スヘキ都
市計畫税及其ノ課率左ノ如シ

一 地 租 租ノ百分ノ六十八

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

第二十條 自轉車税ハ毎年四月一日現在ノ自轉車ニ對シ其ノ定置所所
在ノ區ニ於テ左ノ課率ニ依リ其ノ所有者ニ之ヲ賦課ス

自轉車 一輛ニ付一ヶ年度 一圓二錢

通學距離四軒ヲ超ユル區域ヨリノ通學專用車ハ右課率ノ二分ノ一ヲ
賦課ス

左ニ掲グル自轉車ニハ課税セス

一 警察官又ハ公共團體ノ使丁ノ公務ニ使用スルモノ

二 軍人傷殘記章ヲ授與セラレタル者ノ所有ニシテ且自ラ使用スル
モノ

三 二十三吋未滿ニシテ小兒遊技用ノモノ

第二十一條

金庫税ハ毎年四月一日現在ノ金庫ニ對シ外測體積ヲ標準
トシテ其ノ所在ノ區ニ於テ左ノ課率ニ依リ其ノ所有者ニ之ヲ賦課ス

二十七立方粉毎ニ 一ヶ年度 二十錢

二百七十立方粉未滿ノ金庫ニハ課税セス

第二十二條

犬税ハ毎年四月一日現在ノ犬ニ對シ其ノ飼育所所在ノ區
ニ於テ左ノ課率ニ依リ其ノ所有者ニ之ヲ賦課ス

犬 一頭ニ付 一ヶ年度 四圓

生後三ヶ月未滿ノ犬及軍用犬候補合格證明書ヲ付與ヲ受ケタル犬ニ
ハ課税セス

第二十三條

軌道税ハ之ヲ二期ニ分チ第一期ハ四月一日、第二期ハ十
月一日現在ニ依リ軌道ノ延長(停車場、停留場、交換所等ニ於ケル引
込線、交換線ノ類ヲ除ク)ヲ標準トシテ軌道法又ハ地方鐵道法ニ依
リ敷設シタル軌道ノ所有者ニ對シ左ノ課率ニ依リ之ヲ賦課ス

一 軌道ノ延長一米ニ付 一ヶ年度 十一錢四厘

二 軌道一碼ノ重量六十封度ヲ超ユルモノニ付テハ十封度迄ヲ増ス

第二章 市税、負擔金及手数料

一 家屋税 税ノ百分ノ六十八

二 營業税 税ノ百分ノ六十八

三 府稅獨立稅制 府稅獨立稅ノ百分ノ三十四

四 市稅獨立稅制 市稅獨立稅ノ百分ノ三十四

五 (市民税ヲ除ク)

第二十六條 都市計畫税ノ賦課ニ關シテハ普通税ノ例ニ依ル

第三章 徵收

第一節 普通徵收

第二十七條 普通徵收ヲ爲スヘキ市税ノ徵收期限ヲ定ムルコト左ノ如
シ

一 國稅附加稅

(一)地租附加稅及都市計畫稅地租制

第一期 其ノ年八月一日ヨリ三十一日限

第二期 翌年一月一日ヨリ三十一日限

(二)家屋稅附加稅及都市計畫稅家屋稅制

第一期 其ノ年六月一日ヨリ三十日限

第二期 其ノ年十一月一日ヨリ三十日限

(三)營業稅附加稅及都市計畫稅營業稅制

第一期 其ノ年八月一日ヨリ三十一日限

第二期 翌年一月一日ヨリ三十一日限

二 府稅附加稅(府稅獨立稅制ヲ含ム)

(一)段別稅附加稅

第一期 其ノ年八月二日ヨリ三十一日限

第二期 翌年一月一日ヨリ三十一日限

(一) 船舶税附加税

第一期 其ノ年四月一日ヨリ三十日限
第二期 其ノ年十月一日ヨリ三十一日限

(二) 自動車税附加税

第一期 其ノ年四月一日ヨリ三十日限
第二期 其ノ年十月一日ヨリ三十一日限

(三) 電柱税附加税

第一期 其ノ年五月一日ヨリ三十一日限
第二期 其ノ年十一月一日ヨリ三十日限

(四) 狩獵者税附加税

其ノ都度

(五) 獨立税(獨立税制ヲ含ム)

(一) 市民税 其ノ年十月一日ヨリ十一月三十日限

(二) 自轉車税 其ノ年四月一日ヨリ三十日限

(三) 金庫税 其ノ年四月一日ヨリ三十日限

(四) 犬税 其ノ年四月一日ヨリ三十日限

(五) 軌道税

第一期 其ノ年五月一日ヨリ三十一日限

第二期 其ノ年十一月一日ヨリ三十日限

(六) 商品切手發行税 其ノ年四月十五日限

(七) タンク税 其ノ年四月一日ヨリ三十日限

四 新ニ納税義務ノ發生又ハ消滅若ハ納税額増加シタルモノ

第三十四條 市税ノ延滞金ハ税金額百圓ニ付一日四錢トス

第三十五條 滞納ニ付情狀ヲ酌量シ延滞金ヲ徵收セサルコトヲ得ルモ

ノノ範圍ハ市長別ニ之ヲ定ム

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合市長ハ納税延期ヲ許スコト

ヲ得

一 本市ノ全部又ハ一部ニ涉リ被害甚大ナル災害アリタルトキ

二 傳染病豫防ノ爲交通ヲ遮斷セラレ納税シ能ハサルトキ

三 戰時事變ニ伴フ出征者及其ノ戸主、家族若ハ遺族ニシテ納税困難トナリタルトキ

四 附加税ニシテ其ノ本税ノ納期ヲ延期セラレタルトキ

五 其ノ他市長ニ於テ特ニ必要アリト認ムルトキ

納税延期ノ期間及税目ハ其ノ都度市長之ヲ定ム

第三十七條 特別ノ事情アル場合又ハ特別ノ事情アル者ニシテ府税ノ

減免ヲ受ケタル者ニ對シテハ當該税目ト同一税目ノ市税又ハ其ノ附

附加税ニ付テハ府税ノ例ニ依リ同一割合ヲ以テ之ヲ減免ス

第二節 特別徵收

第三十八條 地方税法第三十五條ノ規定ニ依リ特別徵收ヲ爲スヘキ市

税左ノ如シ

一 藝妓税附加税(藝妓税制ヲ含ム)

第三十九條 左ニ掲グル者ヲ以テ前條市税ノ徵收義務者(以下特別徵

收義務者ト稱ス)トス

一 扱店、置屋、檢番其ノ他名義ノ何タルヲ問ハス藝妓又ハ酌人ノ

花代(花代ニ準スル酌人收入ヲ含ム)ヲ一括受領シ之ヲ藝妓又ハ酌

其ノ都度

第二十八條 納期末日カ休日ニ當ルトキハ其ノ翌日ヲ以テ納期限トス

第二十九條 徵税令書ハ納期限ノ前七日目迄ニ納税者ニ交付スヘシ但

シ月税ニ在リテハ納期限ノ前三日目迄ニ納税者ニ交付スヘシ

隨時ニ賦課スル税ニシテ區長必要アリト認ムルトキハ前項ノ期間ヲ

置カサルコトヲ得

第三十條 納税者税金ヲ納付セントスルトキハ納期限迄ニ徵税令書ヲ

添付シ直接又ハ郵便振替ノ方法ニ依リ所轄區役所ニ納付スヘシ

第三十一條 區長ハ納期限迄ニ税金ヲ完納セサル者アルトキハ納期限

後二十日目迄ニ七日以内ノ期限ヲ指定シテ督促狀ヲ發スヘシ

市長必要アリト認ムル市税ニ付テハ前項ノ督促狀發付期限ヲ三十日

目迄ニ延長スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ徵收ノ囑託ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス但シ受託ノ

日方納期限後ナルトキハ受託ノ日ヨリ起算ス

第三十二條 督促狀ヲ發シタルトキハ一通ニ付二十錢ノ督促手数料ヲ

徵收ス

市税ノ督促狀ヲ府税ノ督促狀ト併用スル場合ト雖前項ノ手数料ハ之

ヲ徵收ス

第三十三條 納税者督促狀ノ指定期限迄ニ税金及督促手数料ヲ完納セ

サルトキハ區長ハ督促狀ノ指定期限後四十五日以内ニ滞納處分ニ著

手スヘシ但シ月税ニ在リテハ二十日以内トス

市長必要アリト認ムル市税ニ付テハ前項ノ期限ヲ六十日以内ニ延長

スルコトヲ得

滞納處分ノ囑託ヲ受ケタル場合ニ於ケル滞納處分ノ著手期限ニ付テ

ハ受託ノ日ヨリ起算シ前二項ノ例ニ依ル

人ニ配給スル者

二 前條ノ業者ニ所屬セスシテ營業ヲ爲ス自賄ノ藝妓又ハ酌人

第四十條 特別徵收義務者ノ徵收スヘキ市税ハ拂込命令書ヲ以テ通知

ス

特別徵收義務者ハ前項ノ金額ヲ拂込書ニ依リ其ノ月ノ十日迄ニ所轄

區役所ニ納入スヘシ

第四十一條 特別徵收義務者ハ市税徵收簿ヲ備ヘ徵收ノ都度之ニ記載

シ其ノ狀況ヲ明カニスヘシ

特別徵收義務者ハ納税者ヨリ税金領收ノ都度一定ノ領收書ヲ發行シ

納税者ニ交付スヘシ

第四十二條 區長ハ納期限迄ニ税金ヲ完納セサル者アルトキハ納期限

後十日目迄ニ七日以内ノ期限ヲ指定シテ督促狀ヲ發スヘシ

第四十三條 特別徵收義務者其ノ徵收スヘキ市税ヲ正當ノ事由ニ因リ

徵收スルコト能ハサリシトキハ納税者ノ住所、氏名及月別税額ヲ記

載シ其ノ事由ヲ詳具シ所轄區長ニ税金還付ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ申請ニ對シ正當ノ事由アリト認定シタルモノニ限り之ヲ還付

シ正當ノ事由ト認メ難キモノニアリテハ其ノ理由ヲ記載シテ之ヲ特

別徵收義務者ニ通知ス

第四十四條 特別徵收義務者ニ對シテハ市税徵收ノ事務取扱費トシテ

納入金額ノ百分ノ四ニ相當スル金額ヲ交付ス但シ第三十九條第二號

ニ該當スル特別徵收義務者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ納入金額ハ前條ノ還付金アリタル場合ニ於テハ之ヲ控除シタ

ル金額トス

第一項ノ交付金ハ四期ニ分テ七月、十月、翌年一月及四月ニ於テ各其ノ前三ヶ月分ヲ交付ス

第四十五條 第二十八條、第三十二條乃至第三十七條ノ規定ハ特別徵收ニ之ヲ準用ス

第四十六條 前各條ノ外特別徵收ニ關スル事項ニ付テハ總テ府稅本稅ノ特別徵收ノ例ニ依ル

第四章 雜則

第四十七條 納稅義務者ハ以下各條ノ規定ニ依リ課稅標準又ハ課稅物件若ハ課稅上必要ナル事項ヲ所轄區長ニ申告スヘシ

第四十八條 左ニ掲クル事實發生シタルトキハ納稅義務者ハ其ノ事實發生ノ日ヨリ五日以内ニ申告スヘシ

一 課稅物件ヲ取得又ハ讓受ケタルトキ

二 從來課稅ヲ受ケサル物件ニシテ新ニ納稅義務發生シタルトキ

三 課稅物件ヲ讓渡シタルトキ

四 亡失ニ係ル課稅物件ヲ發見シタルトキ

五 住居ノ移動アリタルトキ

六 申告後申告事項ニ異動アリタルトキ

第四十九條 課稅物件ノ所有權移轉ニ關スル申告書ハ當事者ノ連署ヲ要ス但シ所有權ヲ取得シタル證據ヲ提出シタルトキ又ハ連署ヲ拒ミ若ハ連署シ難キ事由アル場合其ノ旨附記スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十條 第十四條第一項ニ該當スル者ハ毎年四月三十日迄ニ其ノ事務所、營業所、工場、劇場、別宅、倉庫、娛樂場等ノ一戸ノ月額家屋賃貸料及家屋ノ種類、構造等ヲ詳記シ住居地ノ區長ニ一括シテ之ヲ申告スヘシ

ヲ申告スヘシ

第十四條第二項ニ該當スル者ニシテ市内ニ數個ノ事務所、營業所、工場、劇場、別宅、倉庫、娛樂場等ヲ有スル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ準シ主タル事務所、營業所、工場、劇場、別宅、倉庫、娛樂場等ノ所在地ノ區長ニ之ヲ申告スヘシ

第五十一條 市民稅ノ賦課ヲ受ケヘキ法人ハ毎年四月三十日迄ニ商號、本店ノ所在、資本金及事務所又ハ營業所ノ月額家屋賃貸料（借事務所又ハ借營業所ナルトキハ其ノ契約月額賃貸料）及家屋ノ種類、構造等ヲ詳記シ事務所、營業所毎ニ各其ノ所在地ノ區長ニ申告スヘシ

第五十二條 前二條ノ申告後其ノ年ノ賦課期日迄ニ申告事項ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ都府所轄區長ニ之ヲ申告スヘシ

第五十三條 自轉車ハ申告ノ際其ノ車體ノ前面ニ、大ハ申告ノ際見易キ所ニ鑑札ノ附著ヲ受ケヘシ課稅外ノ自轉車ニ付亦同シ自轉車販賣業者ニシテ商品タル自轉車ノ試乗ヲ爲シ若ハ爲サシムルトキハ自轉車試乗鑑札ヲ車體ノ後方ニ取付ケヘシ

第五十四條 自轉車課稅外鑑札及通學專用自轉車鑑札ノ下付ヲ受ケントスルトキハ其ノ課稅外若ハ通學專用車ナル事實ヲ立證スヘキ書面ヲ申告書ニ添付スヘシ

第五十五條 自轉車試乗鑑札ヲ所轄區役所ニ請求スルトキハ同業組合員タル營業者ニ在リテハ組合長、其ノ他ノ者ニ在リテハ同業者二名ノ連署ヲ要ス、自轉車試乗鑑札ヲ受ケントスル者ハ請求ノ際手数料五十錢ヲ納ムヘシ

自轉車試乗鑑札ハ一ヶ年度一營業所毎ニ一個トシ其ノ有効期間ハ下附シタル年度内トス

第五十六條 鑑札ハ賣買、貸借又ハ讓渡ヲ爲スコトヲ得ズ

第五十七條 鑑札ハ左ノ場合ニ於テ其ノ效力ヲ失フ

一 毀損、亡失又ハ磨滅シタルトキ

二 自轉車鑑札取付ヲ損壞シタルトキ

三 所在不明ノ爲滯納稅金ノ缺損處分ヲ爲シタルトキ

四 自轉車試乗鑑札ノ有効期間ヲ經過シタルトキ

前項ノ無効鑑札ヲ發見シタルトキハ之ヲ押收ス此ノ場合ニ於テハ押收證ヲ交付スルコトアルヘシ

第五十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五日以内ニ申告シ鑑札ノ再下付ヲ受ケヘシ

一 改氏名又ハ相續ヲ爲シタルトキ

二 鑑札ヲ毀損、亡失、磨滅シ又ハ自轉車鑑札取付ヲ損壞シタルトキ

三 自轉車ノ用途ヲ變更シタルトキ

第五十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ旨申告シ鑑札ヲ返納スヘシ

一 自轉車ヲ破損、解撤若ハ亡失シタルトキ

二 自轉車及大ヲ當該區外ノ者ニ讓渡シ若ハ所有ノ儘當該區外ニ轉居シタルトキ

三 大ヲ廢シ又ハ亡失シタルトキ

四 自轉車試乗鑑札ノ有効期間ヲ經過シタルトキ

五 自轉車ノ用途ヲ變更シタルトキ

第六十條 鑑札ヲ毀損、亡失シ又ハ自轉車鑑札取付ヲ損壞シタルトキハ左ノ區分ニ依リ辨償金ヲ納ムヘシ

自轉車鑑札

自轉車試乗鑑札

大 鑑 札

交付ス

第六十一條 當分ノ内自轉車鑑札ヲ交付セル者ニ對シ自轉車副鑑札ヲ

副鑑札ハ自轉車使用ノ際必ス之ヲ携帯スヘシ

副鑑札ハ鑑札力無効トナリタルトキ又ハ鑑札番號ニ符合セサルトキハ無効トス

副鑑札ノ毀損、亡失ニ因リ再下付ヲ受ケントスルトキハ手数料十錢ヲ納ムヘシ

自轉車鑑札ニ關スル規定ハ副鑑札ニ之ヲ準用ス

第六十二條 金庫ハ申告ノ際検査證ヲ受ケ之ヲ見易キ箇所ニ貼付スヘシ

第六十三條 軌道ノ所有者ハ毎年度賦課期日ノ現在ニ依リ軌條ノ重量及軌道ノ延長ヲ其ノ月ノ五日迄ニ所轄區長ニ申告スヘシ

第六十四條 商品切手發行者ハ商品切手發行前商品切手面ニ檢印ヲ受ケヘシ

商品切手發行者ハ毎月五日迄ニ前月分ノ發行額ヲ各營業所毎ニ所轄區長ニ申告スヘシ

商品切手發行者ハ商品切手發行臺帳ヲ備付ケヘシ

第六十四條ノ二 タンクノ所有者ハ毎年度賦課期日ノ現在ニ依リタンクノ體積、構造、用途、所在地等ヲ其ノ月ノ五日迄ニ所轄區長ニ申告スヘシ

第六十五條 徵稅令書、納付書、拂込命令書、拂込書、督促狀、諸帳簿様式及鑑札、検査様式並各申告書ノ様式ハ市長別ニ之ヲ定ム

第五章 罰則

第六十六條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ市税ヲ遁脱シタル者ニ對シテハ市長ハ其ノ遁脱シタル金額ノ五倍ニ相當スル金額以下ノ過料ヲ科スルコトヲ得但シ其ノ金額十圓未満ナルトキハ十圓トス

第六十七條 前條ノ規定ニ依リ過料ヲ科スルコトヲ決定セラレタル者ニ對シテハ市長ハ二十圓以下ノ過料ヲ科スルコトヲ得

第六十八條 本條例ハ昭和十五年年度分ヨリ之ヲ適用ス但シ家屋税附加税及家屋税割ニ關スル規定ハ昭和十七年度ヨリ、不動産取得税附加税及藝妓税附加税並特別徵收ニ關スル規定ハ昭和十五年九月分ヨリ之ヲ適用ス

附則

第六十九條 昭和十五年年度分及昭和十六年度分ノ府税家屋税附加税及都市計畫特別税家屋税ノ賦課ニ關シテハ第七十五條ノ規定ニ拘ラス仍從前ノ規定ニ依ル但シ其ノ課率左ノ如シ
昭和十五年年度分
府税家屋税附加税 本税ノ百分ノ百四十

都市計畫特別税家屋税 家屋税ノ百分ノ二十五
昭和十六年度分

府税家屋税附加税 本税ノ百分ノ百十六
都市計畫特別税家屋税 家屋税ノ百分ノ二十九

第七十條 昭和十五年年度分及昭和十六年度分ノ各都市計畫税ハ第二十五條ノ規定ニ拘ラス左ノ課率ニ依リ之ヲ賦課ス
昭和十五年年度分
地租 租ノ百分ノ三十七
營業税 税ノ百分ノ三十七
府税獨立税 府税獨立税ノ百分ノ十八・五
市税獨立税 市税獨立税ノ百分ノ十八・五

昭和十六年度分
地租 租ノ百分ノ五十
營業税 税ノ百分ノ五十
府税獨立税 府税獨立税ノ百分ノ二十五
市税獨立税 市税獨立税ノ百分ノ二十五

第七十一條 昭和十五年年度分(府税家屋税附加税及都市計畫特別税家屋税ニ付テハ昭和十五年年度分及昭和十六年度分)ニ限り定期ニ賦課スル市税ノ徵收期限ハ左ニ掲グルモノニ依ル
一 國、府税附加税(都市計畫税及都市計畫特別税家屋税ヲ含ム)ハ府税ノ徵收期限ニ依ル

〔大例一三號〕

二 獨立税(獨立税割ヲ含ム)

- (一) 自轉車税 其ノ年十月一日ヨリ三十一日限
- (二) 金庫税 其ノ年九月一日ヨリ三十日限
- (三) 犬 税 其ノ年九月一日ヨリ三十日限
- (四) 軌道税

第一期 其ノ年九月一日ヨリ三十日限
第二期 翌年二月一日ヨリ二十八日限

商品切手發行税(商品切手發行税割ヲ含ム)ハ本條例公布ノ日迄ノ分ニ付テハ一時ニ之ヲ徵收ス

第七十二條 本條例公布ノ日迄ニ從前ノ規定ニ依リ申告ヲ爲シタルモノハ本條例ニ依リ申告ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十三條 市民税ノ賦課ヲ受クヘキ者ノ申告ハ昭和十五年年度分ニ限り本條例公布後十五日目迄トス

第七十四條 本條例公布ノ日迄ニ交付シタル犬及自轉車ノ鑑札ハ當分ノ内本條例ニ依リ交付シタルモノト看做ス

第七十五條 左ノ條例ハ之ヲ廢止ス

- 一 明治三十一年告示第十六號大阪府特別税坪數割新設ノ件
 - 二 明治七年條例第十一號特別税軌道税條例
 - 三 昭和十年條例第二十號市税賦課徵收ニ關スル條例
- 昭和十四年度分以前ノ市税並昭和十五年八月分迄ノ不動産取得税附加税及藝妓税附加税ニ付テハ前項ノ規定ニ拘ラス仍從前ノ規定ニ依ル但シ其ノ徵收ニ付テハ本條例公布ノ日ヨリ本條例ヲ適用ス
- 第七十六條 本條例ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附則 (昭一六、三條例四)

大阪市市税條例施行細則

制定 昭一五、九、一六告示五四二
最近改正 昭一八、一〇、告示三三二

大阪市市税條例施行細則左ノ通定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條 家屋税附加税(家屋税割ヲ含ム)、營業税附加税(營業税割ヲ含ム)及府税獨立税附加税(府税獨立税割ヲ含ム)ハ各徵收スヘキ本税額ニ對シ賦課率ヲ乘シテ之ヲ賦課ス

第二條 地租附加税(地租割ヲ含ム)及軌道税(軌道税割ヲ含ム)ハ課率ヲ二分シ各期ニ之ヲ適用ス

第三條 獨立税中自轉車税、金庫税、犬税及タンク税(各獨立税割ヲ含ム)ニ付テハ各課税物件ノ總數ニ課率又ハ課額ヲ乘シ稅額ヲ算出ス

第四條 市税ノ月割賦課ノ稅額算出ニ付テハ其ノ年分ノ稅額ニ賦課スヘキ月數ヲ乘シ之ヲ十二分シ期稅ニ在リテハ其ノ期稅額ニ賦課スヘキ月數ヲ乘シ之ヲ六分ス

第五條 大阪市市税條例(以下條例ト稱ス)第三條ノ規定ニ依リ區長課税標準ヲ査定シタルトキハ納稅者ニ其ノ旨通知スヘシ

第五條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル家屋ノ現ニ各借注ノ専用ニ供スル部分ハ條例第十六條第二項ノ規定ニ依リ家屋賃貸價格ノ計算上之ヲ控

除ス

一 「アパート」

二 貸室又ハ貸事務所ノ用ニ供スルコトヲ主タル目的トスル「ビルディング」

第五條ノ三 條例第十六條第三項ノ規定ニ依リ家屋賃貸價格ヲ輕減スル家屋及其ノ割合左ノ如シ

一 湯屋業者ノ營業ノ用ニ供スル家屋

二 倉庫業者ノ倉庫ノ用ニ供スル家屋

三 家屋賃貸價格ノ百分ノ五十

四 旅人宿業者(下宿業者ヲ含ム)ノ營業ノ用ニ供スル家屋

五 家屋賃貸價格ノ百分ノ三十

六 自己使用ノ家屋ノ一部ヲ他人ニ賃貸スル家屋(家屋賃貸價格五百圓ヲ超スルモノヲ除ク)

第六條 條例第十七條第六號ノ規定ニ依リ市民稅ヲ課セサル者左ノ如シ但シ綜合所得稅ヲ納ムル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 雇傭主ノ家ニ起居シ又ハ雇傭主ノ經營スル合宿所ニ寄宿スル店員、職工其ノ他之ニ類スル者

二 遊藝人、行商人、下級労働者其ノ他之ニ類スル者ニシテ住居ノ一定セサル者

三 學生生徒(二戸ヲ帶フル者ヲ除ク)

四 一戸ノ家屋賃貸價格五十圓以下ノ個人(前二條ノ規定ニ依リ控除又ハ輕減ヲ爲シタル爲五十圓以下ニ至リタル個人ヲ含ム)

第七條 條例第十八條第三項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ算定方法ハ左ノ各號ニ依ル

一 家屋稅法第四條ノ規定ニ依ル一個ノ家屋ノ一部ヲ爲ス家屋ノ賃貸價格ハ其ノ家屋ノ現實賃貸料ト一個ヲ爲ス各家屋ノ現實賃貸料合計額トノ比率ニ依リ一個ノ家屋ノ賃貸價格ヲ分割シタルモノトス

二 借室、借事務所等ノ賃貸價格ハ其ノ現實賃貸料ノ年額ニ依リ之ヲ定ム

前項第一號ニ依リ定メタル賃貸價格ハ一個ノ家屋ノ賃貸價格ノ異動セサル限リ之ヲ變更セス

現實賃貸料ナキトキ又ハ現實賃貸料アルモ不相當ト認ムルトキハ區長ニ於テ相當ト認ムル推定賃貸料ヲ以テ現實賃貸料ト看做ス

第八條 條例第十九條ニ規定スル減額割合ハ地方稅法第六十六條第二項ノ規定ニ依リ制限超過額ヲ條例ノ課額ニ依リ算出シタル市民稅總額ヲ以テ除シタル割合ニ依ルモノトス但シ其ノ割合ハ小數點以下二位ニ止メ三倍以下ノ端數ハ之ヲ繰上ク

第九條 條例第三十一條第二項ノ規定ニ依リ督促狀發付期限ヲ延長シ得ル市稅左ノ如シ

一 市民稅

二 自轉車稅

第十條 條例第三十三條第二項ノ規定ニ依リ滯納處分著手期限ヲ延長スルコトヲ得ル市稅左ノ如シ

一 市民稅

二 自轉車稅

第十一條 滯納市稅、督促手数料、延滞金及滯納處分費ハ納付書ヲ以テ納付スヘシ

第十二條 市稅ノ延滞金ハ普通稅ト都市計畫稅ト合算額ニ其ノ割合ヲ適用ス

〔大例一三號〕

用シ之ヲ算定ス

第十三條 條例第三十五條ノ規定ニ依リ延滞金ヲ徵收セサル場合左ノ如シ但シ第四號及第五號ノ場合區長ニ於テ納税人故意ニ納稅ヲ遷延スト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 非常ノ災害ニ罹リ區長ニ於テ事情已ムヲ得スト認ムルトキ

二 軍事上ノ召集其ノ他法令ノ規定ニ依リ自己ノ責ニ非シテ身體ノ拘束ヲ受ケ税金ヲ納付シ得サル者ニシテ適當ノ納稅代理人ナキトキ

三 差押財產ニ對シ質權又ハ抵當權ヲ有スル者滯納税金ヲ代納シタル場合ニ於テ區長免除ノ必要アリト認ムルトキ

四 賦課ニ關スル異議ノ申立、訴願又ハ訴訟提起ニ係ルモノハ市長ニ異議ノ申立書提出ノ日ヨリ決定書、裁決書又ハ判決書送達ノ日迄ノ期間

五 督促狀ノ指定期限經過後雖財產差押著手前ニ於テ任意ニ出頭シ又ハ郵便爲替等ヲ以テ税金及督促手数料ヲ完納シタルトキ

六 前各號ノ外區長ニ於テ特別ノ事情ニ因リ徵收ヲ免除スヘキモノト認メ市長ノ承認ヲ受ケタルトキ

第十四條 國稅ノ納稅告知書又ハ府稅ノ徵稅傳令書ニ市稅ヲ併記スル場合ニ於テ地方稅法第二十四條第一項第一號ノ適用ニ付テハ市稅額ヲ以テ令書一通ノ税金額トス

第十五條 納稅者既納ノ税金過納ナルトキハ左ノ方法ニ依リ之ヲ整理ス

一 同一年度ニシテ同一稅目ナルトキハ爾後ノ納期ニ充テ其ノ旨納稅者ニ通知ス

二 前號ノ充當稅目ナキトキハ其ノ旨納稅者ニ通知シ其ノ請求ヲ俟ツテ之ヲ還付ス

第十六條 條例第三十六條第一項第三號乃至第五號ノ規定ニ依リ納稅義務者納稅延期ノ許可ヲ受ケントスルトキハ書面ヲ以テ延期申請ノ理由

〔大例一三號〕

及其ノ稅目、期別、稅額並延期ノ期間ヲ詳具シ所轄區長ヲ經テ市長ニ申請スヘシ

第十七條 徵稅令書、納付書、拂込命令書、拂込書、督促狀、鑑札検査證、各申告書其ノ他諸様式ハ別表ニ之ヲ定ム

附則

第十八條 本細則ハ昭和十五年分ヨリ之ヲ適用ス

第十九條 昭和十年大阪市告示第四百五十九號市稅賦課徵收ニ關スル條例施行細則及昭和七年大阪市告示第六十四號特別稅軌道稅條例施行細則ハ之ヲ廢止ス

昭和十四年度分以前ノ市稅並昭和十五年八月分迄ノ不動産取得稅附加稅及藝妓稅附加稅ニ付テハ前項ノ規定ニ拘ラス仍從前ノ規定ニ依ル但シ其ノ徵收ニ付テハ本細則公布ノ日ヨリ之ヲ適用ス

第二十條 昭和十五年度分ニ限リ第十七條ノ規定ニ拘ラス從前ノ様式ニ依ルコトヲ得

附則 (昭一七、四告示一〇)

本改正規定ハ昭和十七年度分ヨリ之ヲ適用ス

附則 (昭一七、一〇、一告示三六九)

本改正規定ハ昭和十七年度分ヨリ之ヲ適用ス

別表様式一覽表

第一號様式 檢稅吏員證票

(甲) 徵稅令書

(甲ノ二) 個人別徵稅令書

(乙) 納稅告知書及徵稅傳令書並徵稅令書

(丙) 徵稅傳令書及徵稅令書

第二號様式 拂込命令書並拂込書

第三號様式 納額告知書

- 第五號樣式 納付書
- 第六號樣式 (甲)督促狀
- 第六號樣式 (乙)府市稅督促狀
- 第七號樣式 財產差押吏員證書
- 第八號樣式 過納金還付申請書
- 第九號樣式 藝妓稅附加稅領收證書
- 第十號樣式 藝妓稅附加稅一人別徵收簿
- 第十一號樣式 課稅標準又ハ課稅物件申告書例
- 其ノ一 自轉車ニ關スル申告書
- 其ノ二 犬ニ關スル申告書
- 其ノ三 金庫ニ關スル申告書
- 其ノ四 軌道ニ關スル申告書
- 其ノ五 商品切手發行ニ關スル申告書
- 其ノ六 タンクニ關スル申告書
- 市民稅ニ關スル申告書
- 其ノ一 個人
- 其ノ二 法人
- 第十三號樣式 自轉車鐵札雜形(甲、乙、丙、丁、戊)
- 第十四號樣式 自轉車試乘鐵札下付申請書
- 第十五號樣式 自轉車鐵札押收證並押收鐵札處理票
- 第十六號樣式 大鐵札雜形
- 第十七號樣式 金庫檢査證
- 第十八號樣式 商品切手ニ用フル檢印
- 第十九號樣式 商品切手發行臺帳
- 第二十號樣式 課稅標準查定通知書

別表
第一號樣式
表面
檢稅吏員證票
(八十五耗)

第 號	職 氏	名
大阪市何區檢稅吏員證票 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 何々區 役所之印 </div>		

(十六耗)

裏面 (白)

[大例一三號]

[大例一三號]

領收證書

頁號	何區	第 號	昭和年度 (款)何稅	(項)何稅	(目)何稅	(期)何稅	印附日入受	振口貯番 (號)	名
一金 領收 此ノ領收證書ハ市現金取扱人、市公金收納取扱店、郵便局又ハ貯金局ノ受入日附印ノ押捺ニ依リテ其ノ效力ヲ生ズ但シ小切手使用ノ場合ハ交換計算ヲ了シタル後ニ非レハ本領收證書ノ效力ヲ生ゼズ 大阪市何區收入役 氏									

稅令書

頁號	何區	第 號	昭和年度 (款)何稅	(項)何稅	(目)何稅	(期)何稅	印附日入受	振口貯番 (號)	名
一金 有昭和年月日限リ郵便振替貯金ニ依リ當區役所ニ納付セララルヘシ但シ直接當區役所又ハ市公金收納取扱店ニ納付スルコトヲ得 大阪市何區長 氏									

符原

振口貯番 (號)	加 入 者	昭和 年 第 期 分 何 稅	金 額	日 計
印附日入受	金 額 萬千百十四十錢			

第二號樣式(甲) 稅令書

(條例第二十九條)

個人別徵稅令書

昭和 年度 税 納期、限場所 昭和 年 何月 日 月 區 役所 日 所 町 組

納付場 昭和 年 何月 日 大阪市何區長岡

昭和 年度	番號	納稅額	稅收額	合 計	備考	備 註	町會役員簽收印	昭和 年 月 日	
								町會印	長印
1							※		
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合 計		納稅額	稅收額	合 計					

第二號樣式(甲)(二)個人別徵稅令書

日本標準規格B列五號

〔大例一三號〕

備考一 市民税、自動車税ニ限リ本徵稅令書ヲ使用スルコトヲ得

備考二 本徵稅令書ハ納稅團體宛ノ徵稅令書(甲)ニ添附スルモノトス

領收證書

頁號 何區 何號 領收證書

昭和 年度 府稅 市稅 何稅 (項) (款) (項) (款) (項) (款) (項) (款) (項) (款) (項) (款)

名 大阪市何區收入役 氏 金野 振口 號 振口 (號番)

一金 右領收 一此ノ領收證書ハ市場金取扱人、市公金收納取扱店、郵便局又ハ貯金局ノ受入日附印ノ捺捺取ニ依リテ其ノ效力ヲ生ズ但シ小切手使用ノ場ニ依リテハ交換計算ヲ了シタル後ニ非レハ本領收證書ノ效力ヲ生セス

印附日入受 金野 振口 號 振口 (號番)

納稅傳單及徵稅令書

頁號 何區 何號 納稅傳單及徵稅令書

昭和 年度 府稅 市稅 何稅 (項) (款) (項) (款) (項) (款) (項) (款) (項) (款) (項) (款)

名 大阪市何區長岡 氏 金野 振口 號 振口 (號番)

一金 右領收 納稅傳單及徵稅令書ハ、郵便局又ハ貯金局ノ受入日限リ郵便振替貯金ニ依リテ市公金收納取扱店ニ納付スルコトヲ得

印附日入受 金野 振口 號 振口 (號番)

符原

振口 號 振口 (號番)

昭和 年度 租稅 何稅 府稅 附加稅 市稅 附加稅

日 口 數 金 額

印附日入受 金野 振口 號 振口 (號番)

第二號樣式(乙) 納稅傳單及徵稅令書

書證收領

書令稅徵及書令傳稅徵

符原

右領收 一金

昭 和 府 稅 (款) 何 稅 (項) 何 稅 (目) 何 稅 (款) 市 稅 (款) 年 度 市 稅 (款) 市 稅 (項) 市 稅 (目) 市 稅 (項) 市 稅 (目) 市 稅 (項) 市 稅 (目)

頁 號 何 區 第 納 地 春 股 納

一 金 振 付 日 入 受 印 附 日 入 受 振 付 日 入 受 振 付 日 入 受

名 大阪市何區收入役 氏

金 貯 番 座 口 振 付 日 入 受 印 附 日 入 受 振 付 日 入 受 振 付 日 入 受

(號番)

右昭和年月日限り郵便貯蓄貯金ニ依り當區役所又ハ市公債納取故店ニ納付スルコトヲ得

大阪市何區長 氏 名

昭 和 府 稅 (款) 何 稅 (項) 何 稅 (目) 何 稅 (款) 市 稅 (款) 年 度 市 稅 (款) 市 稅 (項) 市 稅 (目) 市 稅 (項) 市 稅 (目) 市 稅 (項) 市 稅 (目)

頁 號 何 區 第 納 地 春 股 納

一 金 振 付 日 入 受 印 附 日 入 受 振 付 日 入 受 振 付 日 入 受

名 大阪市何區長 氏

金 貯 番 座 口 振 付 日 入 受 印 附 日 入 受 振 付 日 入 受 振 付 日 入 受

(號番)

昭 和 年 度 府 稅 市 稅 附 加 稅

一 金 萬 千 百 十 圓 十 錢

振 付 日 入 受 印 附 日 入 受

者 入 加

日 口 數

金 貯 番 座 口 振 付 日 入 受 印 附 日 入 受

(號番)

第二號樣式(丙) 徵稅傳令書及徵稅合書

書證收領及書令命込拂

書込拂

符原

右拂込命令書ノ金額領收

一此ノ領收證書ハ市現金取扱人、市公債納取取扱店、郵便局又ハ貯金局ノ受入日附印ノ押捺ニ依リテ其ノ效力ヲ生ズ

了シタル後ニ非レハ本領收證書ノ效力ヲ生ズ

大阪市何區收入役 氏 名

金 貯 番 座 口 振 付 日 入 受 印 附 日 入 受 振 付 日 入 受 振 付 日 入 受

(號番)

右昭和年月日限り郵便貯蓄貯金ニ依り當區役所ニ拂込ムルコトヲ得

大阪市何區長 氏 名

一 金 振 付 日 入 受 印 附 日 入 受 振 付 日 入 受 振 付 日 入 受

名

譯 內 圓 普 通 稅 都 市 計 畫 稅 計

但シ何某外何名分

第 號 昭 和 年 度 市 稅 (檢 査 名 又 ハ 屋 號) 何 某 股 納 地 春 股 納

(款) 府 稅 附 加 稅 (項) 廳 妓 稅 附 加 稅 (目) 廳 妓 稅 附 加 稅 (款) 都 市 計 畫 稅 (項) 都 市 計 畫 稅 (目) 府 稅 獨 立 稅 制 何 月 分

右拂込候也

一 金 振 付 日 入 受 印 附 日 入 受 振 付 日 入 受 振 付 日 入 受

名

譯 內 圓 普 通 稅 都 市 計 畫 稅 計

但シ何某外何名分

第 號 昭 和 年 度 市 稅 (檢 査 名 又 ハ 屋 號) 何 某 股 納 地 春 股 納

(款) 府 稅 附 加 稅 (項) 廳 妓 稅 附 加 稅 (目) 廳 妓 稅 附 加 稅 (款) 都 市 計 畫 稅 (項) 都 市 計 畫 稅 (目) 府 稅 獨 立 稅 制 何 月 分

拂込人 何 某 股 納 地 春 股 納

(檢 査 名 又 ハ 屋 號) 何 某 股 納 地 春 股 納

一 金 萬 千 百 十 圓 十 錢

昭 和 年 月 分 (又 ハ 隨 時) 府 稅 廳 妓 稅 附 加 稅 及 廳 妓 稅 制

振 付 日 入 受 印 附 日 入 受

者 入 加

日 口 數

金 貯 番 座 口 振 付 日 入 受 印 附 日 入 受

(號番)

第三號樣式 拂込命令書及拂込書

(條例第四十條)

領收書

頁號	納人	昭和年度(款)	但し何々	一金
第	納人	(項)		但し何々
納		(目)		
納				
一此ノ領收證書ハ市現金取扱人、市公金收納 取扱店、郵便局又ハ貯金局ノ受人、目附印ノ捺捺取 ニ依リテ其ノ效力ヲ生ズ但シ小切手使用ノ場場 合ニ交換計算ヲ了シタル後ニ非レハ本領收證 書ノ效力ヲ生ゼス 大阪市何區收入役 氏 名 貯番 振口 金號 (號 番)				

告知額納書

頁號	何區	昭和年度(款)	但し何々	一金
第	何區	(項)		但し何々
納		(目)		
納				
役所ニ納付セラレシ但シ直接當區役所又ハ市公 金收納取扱店ニ納付スルコトヲ得 大阪市何區長 氏 名 貯番 振口 金號 (號 番)				

符

振口	貯番	金號	昭和年度	何
加	入	(號番)	者	
印	附	日	入	受
額 納 金 額 萬 千 百 十 圓 十 錢 日 口 數 計				

第四號様式 納額告知書

領收書

頁號	納人	昭和年度(款)	但し何々	一金
第	納人	(項)		但し何々
納		(目)		
納				
一此ノ領收證書ハ市現金取扱人又ハ市公金收納 取扱店ノ受人、目附印ノ捺捺取ニ依リテ其ノ效力 ヲ生ズ但シ小切手使用ノ場合ニ交換計算ヲ了 シタル後ニ非レハ本領收證書ノ效力ヲ生ゼス 大阪市何區收入役 氏 名 貯番 振口 金號 (號 番)				

付納書

頁號	納人	昭和年度(款)	但し何々	一金
第	納人	(項)		但し何々
納		(目)		
納				
一金貳拾錢 右督促手数料 譯 內 國 市 通 稅 都 市 計 畫 稅 右納付候也 印 附 日 入 受				

符

原	符	昭和年度	何	稅
金	一	金	貳	拾
錢	右	促	促	手
料	手	數	料	
印 附 日 入 受				

第五號様式 納付書

備考 府稅ト併記スルトキハ本様式ニ準スルコト (條例施行細則第十一條)

第六號様式(甲) 督促狀

第 號	住所又ハ賦課地		殿
	昭和 年度	市税(款)何税(項)何税(目)何税(第 (何月分)(隨時	
一金 一金貳拾錢 一納期限ノ翌日ヨリ税金百圓ニ付延滞金一日 錢ノ割合 ニ依ル金額 (但シ五圓未満ハ之ヲ適用セス)			
右月 日限り當區役所へ納付セラルヘシ 本狀指定期限迄ニ税金及督促手数料ヲ完納シタルトキハ 延滞金ヲ徴收セス 右指定期限ヲ過キ完納セサルトキハ直ニ財産差押ノ處分 ヲ爲スヘシ			
昭和 年 月 日 大阪市何區長 氏 名 印			

(四六判三十切)

(條例第三十一條)

第六號様式(乙)

府市税督促狀

第 號	住所又ハ賦課地		殿
	昭和 年度	府税(款)何税(項)何税(目)何税(第 市税(款)何税(項)何税(目)何税(第	
一金 一金 一納期限翌日ヨリ税金百圓ニ付府市税各一日 錢ノ割合 ニ依ル金額 (但シ五圓未満ハ之ヲ適用セス)			
納期限翌日ヨリ税金百圓ニ付府市税各一日 錢ノ割合 ニ依ル金額 (但シ五圓未満ハ之ヲ適用セス)			
延滞金 督促手数料 滞納金			

(四六判二十五切)

第八號様式

過納金還付申請書

過納金還付申請書	年度期別		金額	還付申請經由
	至 年 月 日	至 年 月 日		
右過納金ノ還付相受度此段及申請候也 昭和 年 月 日 住所 大阪市何區長 殿 氏 名 印 年月日生				

(四六判十六切)

(條例施行細則第十五條)

備考

- 一 本書ハ税目毎ニ別紙トスヘシ
- 二 請求金額ノ訂正ヲ指示セラレタル場合ハ書換ノ上舊書面ヲ添付シ提出スヘシ
- 三 專業年度ノ欄ハ請求人法人ナル場合ノミ記載スルモノトス
- 四 法人ノ代表者ハ其ノ資格ヲ記載スヘシ
- 五 請求又ハ受領ニ關シ委任アリタル場合ハ委任狀並委任者ノ印鑑證明書ヲ添付スヘシ
- 六 親權者又ハ相續人ヨリ請求アリタル場合ハ戸籍抄本ヲ添付スヘシ

督促狀

第 號	住所又ハ賦課地		殿
	昭和 年度	市税(款)何税(項)何税(目)何税(第 (何月分)(隨時	
右月 日限り當區役所へ納付セラルヘシ 本狀指定期限迄ニ税金及督促手数料ヲ完納シタルト キハ延滞金ヲ徴收セス 指定納期限ヲ過キ完納セサルトキハ直ニ財産差押ノ處分 ヲ爲スヘシ			
昭和 年 月 日 大阪市何區長 氏 名 印			

(條例第三十一條)

第七號様式 財産差押吏員證書

(八十五耗)

第 號	職 氏 名
大阪市何區財産差押吏員證書 何々區 役所之印	

(耗十六)

裏面(白)

第十一號様式 課税標準又ハ課税物件申告書例
其ノ一 自轉車ニ關スル申告書

(四六判十八切)

自轉車(新調)申告書
一 自轉車 (鑑札番號) 何輛

右ハ昭和 年 月 日新調(何々)候ニ付此段及申告候也
年 月 日

本籍地 現住所
氏 名
年 月 日 生

道順 (條例第四十八條)

大阪市何區長 殿

備考

- 一 申告事項ヲ證スル書面ヲ添付スルコト
- 二 讓渡ノ場合ニ於テハ當事者ノ連署ヲ要ス
- 三 破壊、盜難、讓渡、鑑札磨滅、相續、住所移轉等ハ本様式ニ準スルコト
- 其ノ二 犬ニ關スル申告書

(四六判十八切)

犬(飼育)申告書
一 犬 (鑑札番號) 何頭

右ハ昭和 年 月 日飼育(何々)候ニ付此段及申告候也
年 月 日

本籍地 現住所
氏 名
年 月 日 生

道順 (條例第四十八條)

大阪市何區長 殿

備考

- 一 亡失、盜難、住所移轉等ハ本様式ニ準スルコト
- 其ノ三 金庫ニ關スル申告書
- 金庫(取得)申告書
- 一 金庫ノ所在及地番
- 一 金庫ノ外側體積及其ノ數(幅、厚サ、高サノ寸法記載ノコト)
- 其ノ二 犬ニ關スル申告書

(四六判十八切)

右昭和 年 月 日取得(何々)候ニ付此段及申告候也
年 月 日

本籍地 現住所
所有者 氏 名
年 月 日 生

道順 (條例第四十八條)

大阪市何區長 殿

備考

- 一 破壊、所有、轉居、相續等ハ本様式ニ準スルコト
- 其ノ四 軌道ニ關スル申告書
- (四六判十八切)

軌道税課税標準申告書

- 一 運輸開始又ハ軌道取得年月日
- 二 軌條一碼重量
- 三 軌道ノ延長
- 四 敷設場所
- 五 其ノ他

右及申告候也
年 月 日

營業所所在地 納税義務者 氏 名
大阪市何區長 殿

道順 (條例第六十三條)

備考

- 一 讓渡ノ場合ハ本様式ニ準シ新舊所有者連署スルコト
- 其ノ五 商品切手發行ニ關スル申告書
- (四六判十八切)

商品切手發行額申告書(何月分)

額面種別	發行枚數	發行金額	摘要
計			

右及申告候也
年 月 日

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

大阪市何區長 殿 住所 商品切手發行者 氏 名 圖

其ノ六 タンクニ關スル申告書 (條例第六十四條)

體積 立方米	構造	用途	納稅義務發生 年月日及事由	所在地	摘要
計					

右及申告候也
年 月 日
大阪市何區長 殿 住所 所有者 氏 名 圖

(條例第六十四條ノ二)

備考

- 一 構造欄ニハ直徑、高さ、厚サ等體積算出ノ基礎トナル事項ハ勿論其ノ他工作物ノ構造ヲ明瞭ナラシムル事項ヲ記載スルコト
- 二 讓渡ノ場合ハ本様式ニ準シ新舊所有者者連署スルコト

第十二號様式 市民税ニ關スル申告書

其ノ一 個人

第八類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

其ノ二 法人

(四六判十八切)

市民税(法人)課稅標準ニ關スル申告書

- 一 事務所又ハ營業所ノ名稱
- 一 資本金(主タル事務所、營業所ナラサルトキハ記載セサルコト)
- 一 事務所、營業所並所屬建物

用途	家屋ノ種類	棟數	延坪數	月賃料	所在地
計					

一 本店又ハ主タル事務所ノ所在及名稱
右及申告候也
年 月 日

事務所又ハ營業所所在地 法人 名 圖

大阪市何區長 殿

(條例第五十一條)

備考

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

六二〇 (四六判十八切)

市民税(個人)課稅標準ニ關スル申告書

用途	家屋ノ種類	棟數	延坪數	月賃料	所在地
計					

右及申告候也
年 月 日
本籍地 現住地
大阪市(住居地又ハ)何區長 代表者所在地 氏 名 圖
年 月 日生

(條例第五十條)

備考

- 一 本申告義務者ハ住居ノ外ニ市内ニ事務所、營業所、工場、劇場、別宅、倉庫、娛樂場等ヲ經營又ハ使用スル者トス
- 二 用途欄ニハ住居、事務所、營業所、工場、劇場、別宅、倉庫、娛樂場等ノ別ヲ記載スルコト
- 三 市外居住者ハ用途欄ニ住居ノ記載ヲ要セス
- 四 月賃賃貸料欄ニハ契約賃貸料ヲ記載スルコト但シ自己所有者家屋ナルトキハソノ旨記載スルコト

一 事務所、營業所カ借事務所又ハ借營業所ナルトキハ其ノ契約月賃賃貸料ヲ記載スルコト

二 事務所、營業所ニ所屬スル諸建物(同一構内地ニアルト構外地ニアルトヲ問ハス)各別ニ記載スルコト

第十三號様式 自轉車鑑札雛形(甲、乙、丙、丁、戊)

(甲)普通鑑札

(條例第五十三條)

備考



- 一 鑑札地質アルミニウム
- 一 長 約一四種
- 一 幅 約六種若ハ四種、五種
- 一 區毎ニ其ノ名稱ノ一字若ハ二字ヲ番號頭符號トス

(乙) 通學專用鑑札



(條例第五十四條)

備考

- 一 鑑札地質アルミニウム
- 一 長 約一五種
- 一 幅 約五種

(丙) 課税外鑑札



(條例第五十四條)

備考

- 一 鑑札地質アルミニウム
- 一 長 約一四種
- 一 幅 約六種若ハ四種、五種
- 一 區毎ニ其ノ名稱ノ一字若ハ二字ヲ番號頭符號トス

(丁) 試乗鑑札



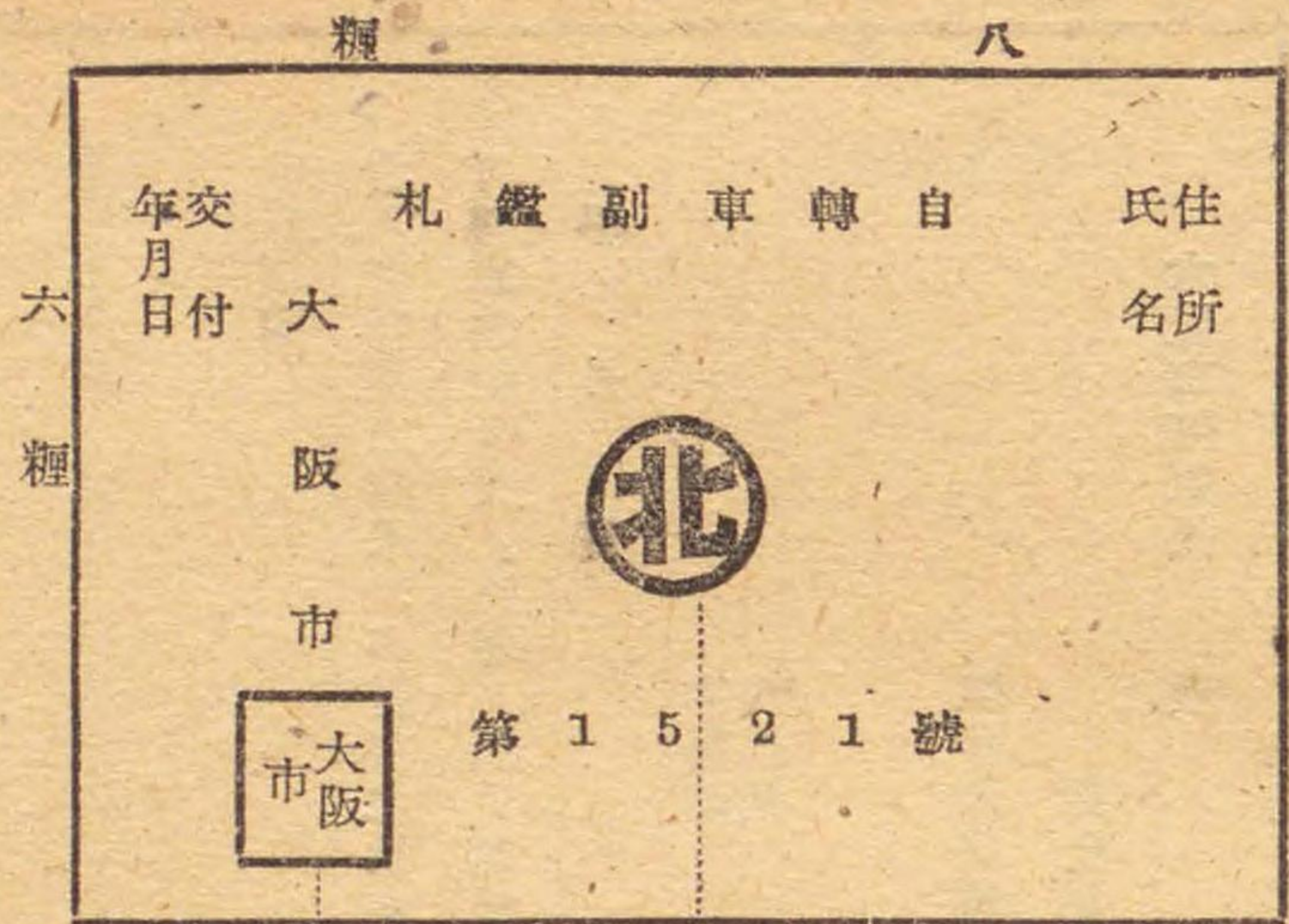
(條例第五十五條)

備考

- 一 鑑札地質 アルミニウム
- 一 長 約二十四種
- 一 幅 約六種八種
- 一 鑑札ノアラビヤ數字ハ年度ヲ表示シ其ノ年度中有效トス

裏

(戊) 副鑑札



(條例第六十一條)

朱書

朱書

注意事項

- 一、副鑑札ハ自轉車使用ノ際必ス携帯スヘシ
- 二、副鑑札ハ毀損、亡失、磨滅又ハ鑑札番號ニ符合セサルトキ及鑑札ノ效力ヲ失ヒタルトキハ無効トス
- 三、關係公吏ヲシテ必要ニ應ジ檢査セシムルコトアルヘシ
- 四、市税諸規程ニ違背シタルトキハ金二十圓以下ノ過料ヲ科スルコトアルヘシ

(條例第六十一條)

備考

- 一 各區毎ニ其ノ名稱ノ一字若ハ二字ヲ番號頭符號トス
- 二 通學專用自轉車ノ副鑑札ニ付テハ(北)ノ印ヲ附スルコト
- 三 課税外自轉車ノ副鑑札ニ付テハ(丙)ノ印ヲ附スルコト

第十四號様式 自轉車試乘鑑札下付申請書 (四六判十八切)

自轉車試乘鑑札下付申請書

住所 氏名 年月日生

使用期間 年月日

右ノ者營業上試乗ノ必要有之候ニ付試乘鑑札下付相成度
自轉車業組合長ノ連署ヲ以テ此段及申請候也

本籍地 現住所 氏名 名

組合所在地及名稱 組合長 氏名 名

大阪市何區長 股

(條例第五十五條)

第十五號様式 自轉車鑑札押收證並押收鑑札處理票 (複寫式四六判二十五切、二枚續四六判二十切)

自轉車鑑札押收證並押收鑑札處理票

一、自轉車鑑札

代 理 者 (者用使 者用乘) 住 所 氏 名 住 所 氏 名

所 有 者 (者務義稅納) 住 所 氏 名 住 所 氏 名

(職業) (職業)

當 當

歲 歲

押收年月日 昭和 年 月 日

押收理由 毀 損

所場 收押

右大阪市市稅條例第五十七條第二項ニ依リ押收ス

大阪市何區役所吏員 印

鑑札ヲ押收セラレタル物件ノ所有者ハ速ニ最初鑑札ノ交付
ヲ受ケタル區役所ニ本證ヲ提出シ鑑札ノ再交付ヲ受ケヘシ

押 收 鑑 札 處 理 票

一、自轉車鑑札

代 理 者 (者用使 者用乘) 住 所 氏 名 住 所 氏 名

所 有 者 (者務義稅納) 住 所 氏 名 住 所 氏 名

(職業) (職業)

當 當

歲 歲

押收年月日 昭和 年 月 日

押收理由 毀 損

所場 收押

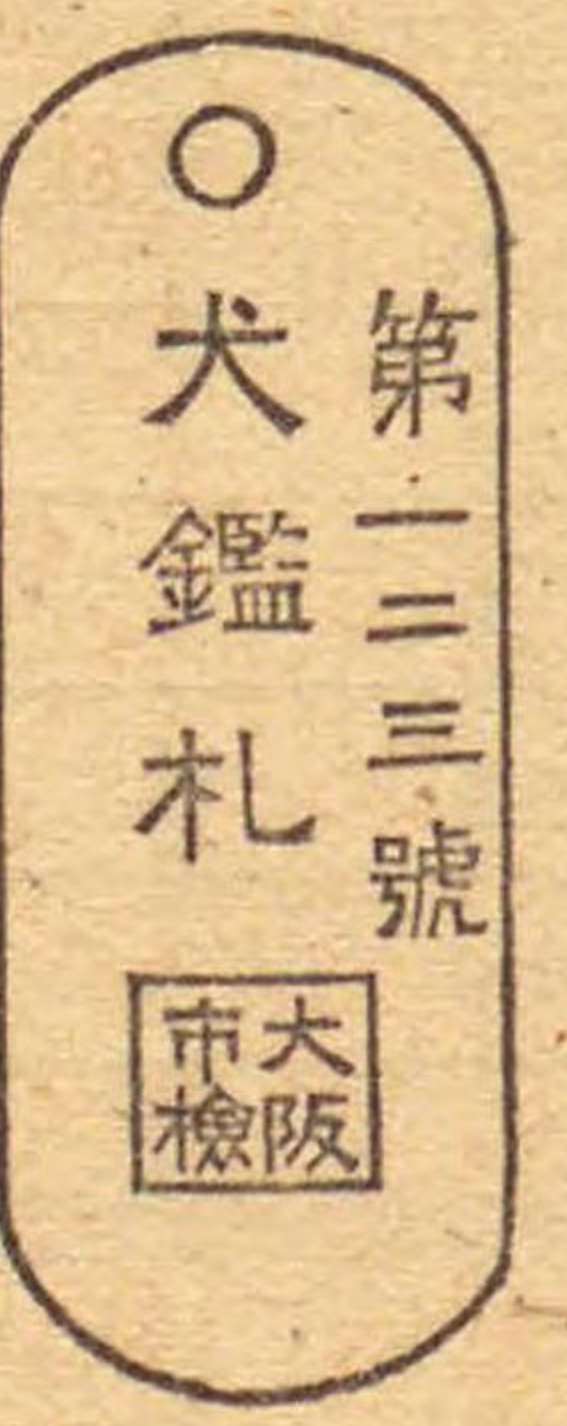
大阪市何區役所吏員 印

(條例第五十七條)

備考

一 各區毎ニ其ノ名稱ノ一字又ハ二字ヲ番號頭符號トス

第十六號様式 犬鑑札雛形 (表)

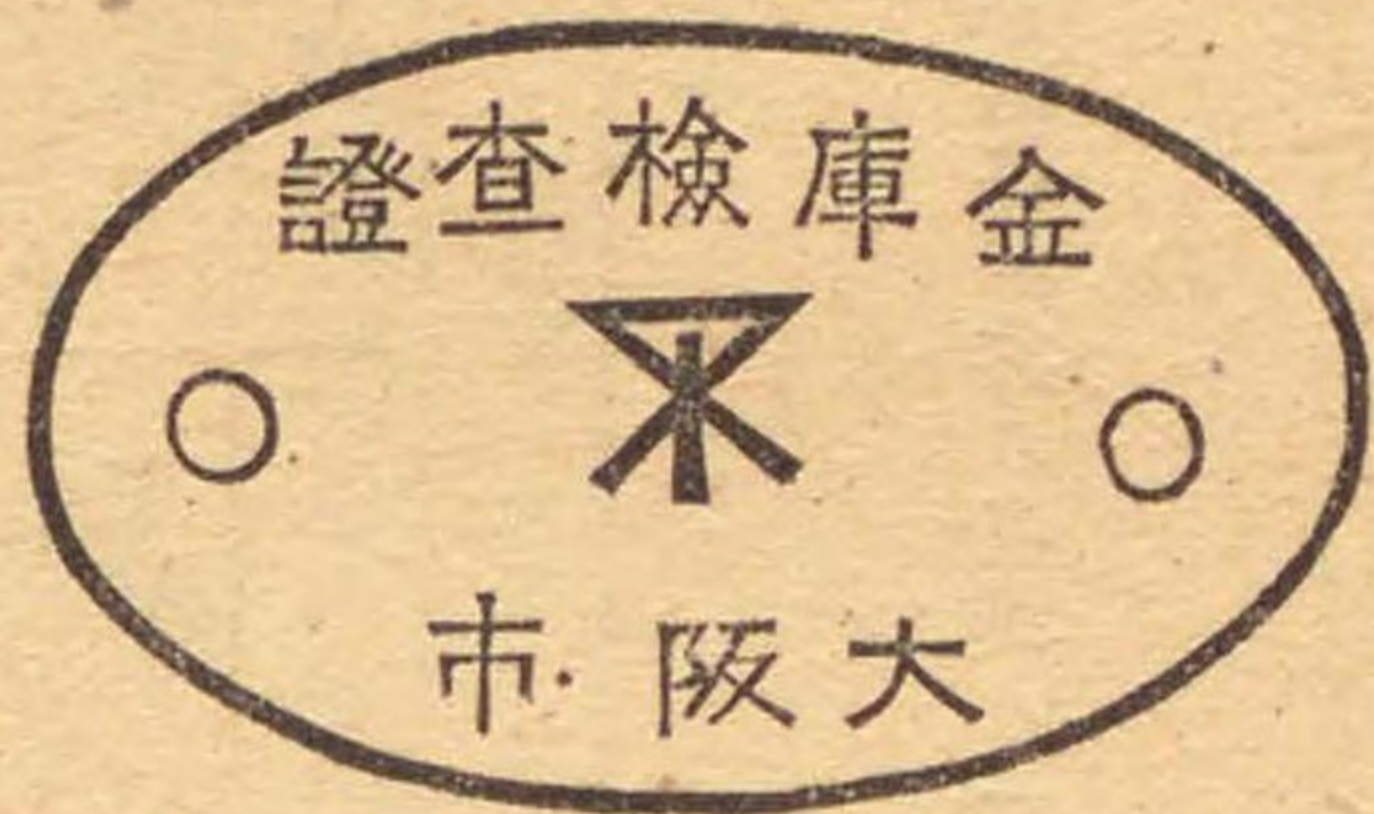


(條例第五十三條)

備考

- 一 鑑札地質アルミニウム
- 一 長 曲尺一寸五分
- 一 幅 曲尺八分
- 一 厚 曲尺三厘三毛

第十七號様式 金庫検査證



(條例第六十二條)

備考
一 用紙ハ堅牢ナルモノヲ使用スルコト
一 長一寸五分
幅一寸

第十八號様式 商品切手ニ用フル檢印



(條例第六十四條)

備考
一 徑 一・二二釐
「雌雄(凹凸)二箇ヲ以テ一組トス」

第十九號様式 商品切手發行臺帳 (四六判十六切)

		(種別)		
月	日	檢印濟枚數	發行枚數	回收枚數
月	計			

(條例第六十四條)

備考 商品切手額面別ニ調製スルコト

第二十號様式 課税標準査定通知書

(四六判二十四切)

課税標準査定通知書	
納税義務者	住所
	氏名
課税物件所在地	
課税物件	
課税標準	
納税義務發生年月日	
大阪市市税條例第三號ニ依リ前記ノ通り査定ス	
右通知候也	
年 月 日	
大阪市何區長 何	某師
(條例第三號)	

市税賦課徵收事務取扱規程

制定 昭一八、四、一三九

昭和十五年達第四五〇號大阪市市税賦課徵收事務取扱規程左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一章 總則

第一條 市税ノ賦課徵收ニ關スル取扱事務ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本規程ニ依ル

第二條 區長ハ滯納處分ノ執行及市税ノ賦課ニ關シ隨檢又ハ檢査ニ從事スル者ヲ指定シ各其ノ分擔區域ヲ定メ適宜之ガ交替ヲ爲サシムベシ

第二章 賦課

第三條 區長ハ地租名寄帳ニ基キ各納税義務者ノ地租附加税(地租制ヲ含ム)ノ賦課額ヲ定ムベシ

第四條 區長ハ所轄稅務署長ノ發スル本税ノ納額通知書ニ基キ各納税義務者ノ家屋稅附加税(家屋稅制ヲ含ム)ノ賦課額ヲ定ムベシ

第五條 區長ハ所轄稅務署長ノ發スル本税ノ納額通知書附屬一人別納額調書又ハ地方稅法第八條第一項ニ該當スルモノハ府知事ノ通知ニ基キ各納税義務者ノ營業稅附加税(營業稅制ヲ含ム)ノ賦課額ヲ定ムベシ

市内ニ於テノ營業所ヲ有シ市外ノ稅務署ニ於テ營業稅ノ決定ヲ受クル者及地方稅法第八條第一項ニ該當スルモノニ關シテハ所轄稅務署ニ付營業稅賦課資料ヲ調査シ營業稅臺帳ニ依リ營業稅附加税ノ賦

課状況ヲ明ニスベシ

第六條 區長ハ徵稅命令書附屬一人別仕譯書ノ府稅本稅額ニ基キ各納稅義務者ノ府稅獨立稅附加稅(府稅獨立稅額ヲ含ム)ノ賦課額ヲ定ムベシ

第七條 區長ハ課稅臺帳又ハ申告書其ノ他ノ資料ニ基キ各納稅義務者ノ獨立稅(獨立稅額ヲ含ム)ノ賦課額ヲ定ムベシ

第八條 區長ハ納稅義務者ヨリ課稅標準其ノ他ノ申告ヲ受ケタルトキハ其ノ當否ヲ審査シ不相當ト認ムルモノハ之ヲ更正セシムベシ

第九條 區長ハ納稅義務者ヨリ課稅物件ノ區外移轉又ハ轉居ノ申告ヲ受ケタルトキハ直ニ臺帳整理ノ上該申告書ニ現在ノ課稅標準及其ノ稅額並ニ納稅ノ濟否ヲ記入シ所轄區長ニ送付スベシ

第十條 區長連稅稅者ヲ發見シタルトキハ納稅義務者ヨリ請書ヲ徵シ連稅稅者檢舉整理簿ニ處理ノ顛末ヲ記入スベシ

前項ノ連稅稅者他區ニ於テ賦課スベキ者ナルトキハ之ヲ所轄區長ニ通知スベシ

第十一條 區長ハ市民稅ノ賦課ニ關シ毎年十月一日現在ニ於テ各戶宅ニ付市民稅調查簿ニ依リ左ノ事項ヲ調査スベシ

一、個人ノ調査事項

(一) 世帯主ノ本籍、現住所、氏名及生年月日

(二) 家屋所在地、家屋番號及家屋所有者

(三) 一戶ノ家屋賃賃價格但シ一戶ヲ構ヘザル個人ニ付テハ其ノ住居ニ供スル部分ノ家屋賃賃價格

(四) 營業所、事務所、工場、劇場、別宅、倉庫、娛樂場等ヲ經

營シ又ハ使用スル者ハ各其ノ家屋ノ賃賃價格

(五) 綜合所得稅ヲ納ムル者ハ其ノ總所得金額

(六) 其ノ他參考トナルベキ事項

二 法人ノ調査事項

(一) 名稱又ハ商號及事務所ノ所在地並ニ代表者氏名

(二) 家屋所在地、家屋番號及家屋所有者

(三) 事務所、營業所ノ家屋賃賃價格

(四) 公稱資本金額又ハ出資額若ハ之ニ類スルモノ

(五) 其ノ他參考トナルベキ事項

第十二條 地方稅法第六十四條第一項但書ニ該當スル者並ニ大阪市市稅條例(以下條例ト稱ス)第二條及第十七條ノ規定ニ依ル市民稅ノ不課稅者ニ付テモ前條ノ調査ヲ爲スベシ但シ大阪市市稅條例施行細則(以下細則ト稱ス)第六條第四號ニ該當スルモノヲ除クノ外課稅標準ニ關スル調査ハ之ヲ要セズ

第十三條 區長ハ綜合所得稅ノ決定アリタル者ニシテ他區ニ住居ヲ有スル者アルトキハ其ノ所得金額ヲ十月七日迄ニ市民稅賦課地ノ所轄區長ニ通報スベシ條例第十四條ノ規定ニ該當スル者ノ賦課資料ノ通報ニ付亦同シ但シ條例第十四條第二項ノ規定ニ該當スル者ニシテ其ノ主タル事務所、營業所、工場、劇場、別宅、倉庫、娛樂場等ガ分明ナラザルトキハ關係區ニ於テ協議ノ上之ヲ定ムベシ

前項ノ通報ヲ受ケタル區長ハ處理狀況ヲ簡記シ速ニ回報スベシ

第十四條 區長ハ市民稅調定見込額報告書ヲ十月二十日迄ニ市長ニ提出スベシ

第十五條 細則第八條ノ規定ニ依ル減額割合ハ市長之ヲ區長ニ通知ス減額割合ナキ場合亦同シ

第十六條 區長ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ十月末日迄ニ市民稅ノ賦課額ヲ定ムベシ

第十七條 區長ハ自轉車、犬、金庫及タンクノ課稅臺帳ヲ備付ケ納稅義務者ノ申告事項其ノ他課稅上必要ナル事項ヲ記載スベシ

第十八條 檢印、鑑札及檢査證ハ其ノ種類及員數ヲ詳記シ市長ニ請求スベシ

第十九條 區長ハ前年度ニ於ケル鑑札及檢査證ノ受領數、交付數及殘數ヲ其ノ種類別ニ毎年四月十日限リ市長ニ報告スベシ

第二十條 無效鑑札ヲ押收シタルトキハ鑑札押收簿ニ處理ノ顛末ヲ記入シ該押收鑑札ガ他區ノ所管ナルトキハ之ヲ所轄區長ニ通知スベシ

第二十一條 區長ハ鑑札及檢査證ノ返納ヲ受ケ又ハ押收ヲ爲シタルトキハ直ニ之ヲ中央ヨリ切斷スベシ

第二十二條 區長ハ自轉車新調ノ申告ニ際シテハ自轉車業者ノ賣却證明書又ハ舊副鑑札ヲ添附セシムベシ

第二十三條 自轉車ノ破損又ハ解撤ノ申告ヲ受ケタルトキハ副鑑札ニ其ノ申告事項及年月日ヲ朱書シ本人ニ交付スベシ

第二十四條 自轉車ヲ當該區外ノ者ニ讓渡シタル申告ヲ受ケタルトキハ讓渡年月日及讓受人氏名、自轉車ヲ所有ノ儘當該區外ニ轉居シタル申告ヲ受ケタルトキハ轉居年月日、轉居場所等ヲ副鑑札ニ朱書シ本人ニ交付スベシ

第二十五條 自轉車稅、犬稅及金庫稅ヲ納ムル者ニシテ所在不明又ハ轉居先不明等ノ爲滯納稅金ノ缺損處分ヲ爲シタルトキハ其ノ處分ヲ

爲シタル日ノ現在ニ依リ課稅臺帳ヲ除却シ又ハ賦課期日ヨリ賦課ヲ爲サザルコトヲ得但シ其ノ所在判明シタルトキハ曩ニ爲シタル處分ハ之ヲ取消スコトヲ要ス

前項ニ依リ除却シタル臺帳ハ其ノ事由ヲ詳記シ別ニ之ヲ編綴シテ保存スベシ

第二十六條 區長ハ軌道稅ノ賦課ニ際シテハ敷設軌條ノ種類、運輸開始年月日、軌道延長、所有者其ノ他必要ナル事項ヲ調査スベシ

第三章 徵收

第二十七條 區長ハ徵收ノ便宜上納期限前七日以内ニ於テ指定納期限ヲ定ムルコトヲ得但シ月稅ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ場合ニ於テ條例第二十九條ノ適用ニ付テハ指定納期限ノ前七日目迄トス

第二十八條 地方稅法第三十四條第一項ノ規定ニ依ル公示送達ノ效力發生ノ日ガ徵稅令書及督促狀ニ記載シタル納期限後ナルトキハ更ニ納期限ヲ指定スベシ

第二十九條 區長調定ヲ爲シタルトキ又ハ調定ノ追加若ハ取消ヲ爲シタルトキハ其ノ都度歲入金内譯簿又ハ歲入歲出外理金内譯簿ニ記載スベシ

第三十條 區長ハ徵收簿ノ末尾ニ其ノ期分ノ調定額及其ノ異動額並ニ收入額、未納額其ノ他必要ナル事項ヲ記載スベシ

隨時ニ賦課スル稅ニ在リテハ其ノ都度調定又ハ異動整理ヲ爲シ督促狀發付ノトキ收入額、未納額其ノ他必要ナル事項ヲ記載スベシ

第三十一條 督促狀ヲ發セントスルトキハ滯納整理簿ヲ調製シ歲入金

内課簿又ハ歳入歳出外現金内課簿ニ於ケル未収入額ト照査スベシ
第三十二條 督促手数料ハ督促狀ヲ發スルト同時ニ之ヲ調定スベシ
第三十三條 督促手数料、延滞金及滞納處分費ハ税金ニ先テ之ヲ徴收スベシ

第三十四條 督促狀ノ指定期限迄ニ税金及督促手数料ヲ完納セザル者アルトキハ滞納處分票ヲ調製シ速ニ滞納處分ニ著手スベシ
第三十五條 滞納處分票ハ之ガ保管ニ特ニ注意シ常ニ其ノ受拂ノ狀況ヲ明ニスベシ
前項ノ滞納處分票ハ隨時滞納整理簿ト照査スベシ

第三十六條 滞納處分執行ニ當リ納稅義務者税金ノ納付ヲ申出タルトキハ係員ハ假領收書ヲ以テ現金ノ受領ヲ爲スコトヲ得
係員ハ前項ノ假領收書ニ依ルニ非ザレバ現金ノ受領ヲ爲スコトヲ得ズ

第三十七條 係員前條ノ規定ニ依リ現金ヲ受領シタルトキハ假領收書寫下共ニ即日之ヲ稅務課長ニ提出スベシ
第三十八條 稅務課長前條ノ規定ニ依リ現金ヲ受ケタルトキハ之ヲ檢査シ市現金取扱人ニ拂込ムベシ但シ市現金取扱時間經過後ナルトキハ稅務課備付ノ金庫ニ保管シ翌日速ニ之ヲ拂込ムベシ

第三十九條 稅務課長ハ使用済トナリタル假領收書寫一冊毎ニ當該本領收書ヲ編綴シ區長ニ提出スベシ
第四十條 區長ハ假領收書用紙ヲ調製シ稅務課長ヲシテ受拂簿ニヨリ其ノ出納保管ヲ爲サシムベシ
稅務課長ハ甲乙二組ノ假領收書用紙綴ヲ係員ニ毎日交互ニ交付シ每

日之ヲ返納セシメ使用枚數ト殘數トヲ檢査スベシ
第四十一條 假領收書用紙綴ヲ紛失シタルトキハ區長ハ其ノ事情ヲ詳具シ之ヲ市長ニ報告スベシ
假領收書ノ書損ヲ爲シタルトキハ其ノ旨記載シ其ノ儘用紙綴ニ存置スベシ

第四十二條 現金取扱時間外ニ納稅義務者税金ノ納付ヲ申出タルトキハ區長ハ吏員ヲ指定シテ區役所内ニ於テ專用ノ假領收書用紙綴ニヨリ現金ヲ取扱ハシムルコトヲ得此ノ場合ニハ第三十六條乃至第三十九條ノ規定ヲ準用ス

第四十三條 第三十六條乃至第四十二條ノ規定ハ使用料、手数料其他稅外收入金ノ受領ニ付之ヲ準用ス
第四十四條 財産差押ニ臨ミ滞納者ノ家屋、倉庫、倉庫、管甲等ヲ搜索シ差押ベキ財産發見シ得ザリシトキハ搜索調書ヲ作製シ立會人ト共ニ署名捺印スベシ

第四十五條 區長ハ區外ニ於テ滞納處分ヲ爲サントスルトキハ當該市區町村長ニ通知ノ上之ヲ爲スベシ
第四十六條 區長ハ財産差押後ニ於テ特別ノ事由アリト認ムル者ニ限リ税金ノ一部ヲ受領スルコトヲ得
第四十七條 差押物件及第三債務者ヨリ給付ヲ受ケタル物件ハ特別ノ事情アルモノヲ除クノ外差押ノ日ヨリ四十五日以内ニ公賣ニ付スベシ

第四十八條 區長差押物件ヲ公賣セントスルトキ同一滞納者他區ニ於テ滞納税金アリト認メラルル場合ハ當該區長ニ對シ公賣物件ノ種類、

員數及公賣年月日等ヲ通知スベシ

第四十九條 國稅徵收法第二十四條第二項ノ規定ニ依リ物件ノ買上ヲ要スト認ムルトキハ區長ハ事由ヲ具シ市長ノ指揮ヲ請フベシ

第五十條 區長税金ノ完納ヲ俟タズシテ滞納處分ヲ中止又ハ終了セんとスルトキハ左ノ各號ノ調査ニ依リ徵收不能ト認ムル場合ニ限り之ヲ爲シ滞納處分ノ中止又ハ終了書類ヲ作製スベシ

- 一 財産搜索調書ニ依ル調査
- 二 戶籍簿、寄留簿、學齡簿、選舉人名簿、町籍簿、土地及家屋臺帳、諸稅臺帳、課稅標準額申告書及滞納處分囑託回答書ニ依ル調査
- 三 令書及督促狀ノ公示送達並ニ遺留財産等ニ關スル調査
- 四 本籍地、出寄留地、轉寄留地其ノ他轉居地及賦課地ノ官公署ニ依ル調査
- 五 本稅又前期分納稅等ノ狀況調査
- 六 其ノ他參考トナルベキ事項ノ調査

區長前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ一件毎ニ缺損處分調書ヲ作製シ缺損處分ニ付スベシ
第四章 雜則

第五十一條 區長條例第六十六條ノ規定ニ該當スルモノヲ發見シタルトキハ聽取書其ノ他調書ヲ作製ノ上意見ヲ具シテ市長ニ報告シ指揮ヲ請フベシ

第五十二條 前條ノ場合ニ於テ市長過料處分ノ必要アリト認ムルトキハ之ヲ決定シ區長ニ通知ス
前項ノ通知アリタルトキハ區長ハ違反者ニ對シ通告書ヲ發シ條例第

六十七條第一項ノ規定ニ依リ過料徵收ノ手續ヲ爲スベシ

第五十三條 市税ノ賦課徵收ニ關スル諸帳簿書類ハ別記様式ニ依ルベシ
第五十四條 區長ハ別記ニ定ムル報告様式ニ依リ其ノ期限迄ニ市長ニ報告スベシ

前項ノ報告ハ該當事項ナキ場合ニ於テモ指定期限迄ニ其ノ旨報告スベシ

附則

本規程ハ昭和十八年度分ヨリ之ヲ適用ス

別記 第五十三條ニ依ル諸帳簿様式

- 第一號 市民稅調查簿 其ノ一、其ノ二
- 第二號 市民稅賦課資料通知書
- 第三號 自轉車臺帳
- 第四號 金庫臺帳
- 第五號 犬臺帳
- 第六號 タンク臺帳
- 第七號 自轉車鑑札簿
- 第八號 自轉車試乘鑑札簿
- 第九號 大鑑札簿
- 第十號 押收鑑札整理簿
- 第十一號 商品切手檢印捺捺整理簿
- 第十二號 滯稅稅者注意書

第九類 財務 第二章 市稅、負擔金及手数料

- 第十三號 逋脫稅者檢舉整理簿
- 第十四號 檢稅外勤事務報告書
- 第十五號 法人營業稅臺帳 其ノ一、其ノ二
- 第十六號 個人營業稅臺帳
- 第十七號 國稅收納簿
- 第十八號 國稅收納簿及同附加稅徵收簿
- 第十九號 府獨立稅及同附加稅徵收簿
- 第二十號 市獨立稅徵收簿
- 第二十一號 鑑札辨償金收入簿
- 第二十二號 調定決議書
- 第二十三號 歲入歲出外現金內譯簿 (國稅)
- 第二十四號 歲入歲出外現金內譯簿 (府稅)
- 第二十五號 歲入金內譯簿

- 第二十六號 歲入歲出外現金內譯簿 (其ノ他)
- 第二十七號 過納金整理簿
- 第二十八號 督促狀發付決議簿
- 第二十九號 滯納整理簿
- 第三十號 滯納處分票
- 第三十一號 滯納處分事務報告書
- 第三十二號 假領收書表紙
- 第三十三號 假領收書
- 第三十四號 假領收書受拂簿
- 第三十五號 租稅其ノ他徵收囑託受託整理簿
- 第三十六號 一時取扱金整理簿
- 第三十七號 缺損處分調書
- 第三十八號 市稅條例反則者聽取書
- 第三十九號 過料處分決定通知書

市稅調查簿 (個人)

所在地 家屋番號	所有者	種類 構造 棟數	延坪數	一個ノ實價價格 延坪數 一個ノ實價價格 一個ノ實價價格	格 格 格	町會		町會		課長
						聯合會 年度	自	至	年度	
住戶ノ實價價格 一個ノ實價價格 一個ノ實價價格						氏名	住所	住	務	務者

第一號 市稅調查簿 其ノ一

格 格 格	總所得金額	備	考	課金額	課	務者	生年月日			課長	
							年	月	日		年
一戸ノ實價價格 住戶ノ實價價格 住戶ノ實價價格 實價價格計						生年月日 職業 職務 先 木籍					

日本標準規格列 五號

備考 本簿ハ町會別區組順ニ之ヲ編入ス

所在地 家屋番號	所有者	町會聯合會	町會	區組
市 民 稅 調 査 簿 (法 人)				
年度	通過號			

第九類 財務 第二章 市稅、負擔金及手数料

第一號 市稅調查簿

種類	構造	戸數	實價價格算出内容		納税義務者	年	自	年度至	年度	自	年度至	年度
			延坪數	一個ノ現實實價								
住宅	木		實價價格	課税額	納税義務者	年	自	年度至	年度	自	年度至	年度
			一個ノ現實實價		事務所又ハ營業所							
			一月ノ現實實價		本店又ハ主クハ營業所							
			一月ノ實價價格		所在地							
			在外實價價格		代表者姓名							
			實價價格計		課税事由							
					課長							

日本標準規格B列五號

備考 本欄ハ如會別際組願ニ之ヲ記載スベシ 市 民 税 賦 課 資 料 通 知 書 (原 則)

昭和 年 月 日		區長 殿		課 長		係 長		係 員		第 號	
住所又ハ營業所	主クハ營業所	氏 名	生 年 月 日	家 賃 價 格	屋 賃 價 格	總 所 得 金 額	課 税 額	課 税 額	課 税 額	課 税 額	課 税 額

日本標準規格B列五號 市 民 税 賦 課 資 料 通 知 書

昭和 年 月 日		區長 殿		課 長		係 長		係 員		第 號	
住所又ハ營業所	主クハ營業所	氏 名	生 年 月 日	家 賃 價 格	屋 賃 價 格	總 所 得 金 額	課 税 額	課 税 額	課 税 額	課 税 額	課 税 額

日本標準規格A列五號

市 民 税 賦 課 資 料 通 知 書 回 答 書

昭和 年 月 日		區長 殿		課 長		係 長		係 員		第 號	
住所又ハ營業所	主クハ營業所	氏 名	生 年 月 日	家 賃 價 格	屋 賃 價 格	總 所 得 金 額	課 税 額	課 税 額	課 税 額	課 税 額	課 税 額

- 備考 一 本通知書へ原簿、通知書、回答書(複寫式)トシ通知書、回答書ノ二通ヲ送附スベシ
 通報スベキ課税資料ナキ場合ト雖モ其旨通報スベシ
 二 通知事項ニ異動アリタルトキハソノ制度所轄部長ニ通報スベシ但シ取消通知ノ場合ハ朱書シ更正通知ノ場合ハ元通知印實ヲ朱書シ現在事實ヲ照書シ各
 摘要欄ニ其ノ旨記入スベシ
 三 家屋賃貸價格ハ市民税ノ課税賃貸價格ヲ記入スベシ

自 轉 車 號 札 番 號	住 所		納 稅 義 務 發 生 日 年 月 日 事 由	納 稅 義 務 消 滅 日 年 月 日 事 由	現 在 數
	本 籍	氏 名 職 業			

- 備考 一 納稅義務消滅簿ハ朱書スベシ
 二 本臺帳ハ四別イロハ願ニ編綴スベシ
 三 通學車及不課稅車ニ在リテハ其ノ事由ヲ記入シ別冊トスベシ

金 庫 納稅義務發生ノ消滅日 年 月 日	住 所		法 體 積 個 數	物 件 所 在 地 事 由
	本 籍	氏 名 職 業		

第四號 金庫臺帳 日本標準規格A列五號

年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

標準規格A列五號

- 備考 一 個數欄ニハ總計ヲ二十七立方物ニテ除シタル商ヲ記入スベシ
 二 納稅義務消滅事項ハ朱書スベシ
 三 本臺帳ハ四別イロハ願ニ編綴スベシ
 四 不課稅倉庫ニ在リテハ其ノ事由ヲ記入シ別冊トスベシ

犬 號 札 番 號	住 所		納 稅 義 務 發 生 日 年 月 日 事 由	納 稅 義 務 消 滅 日 年 月 日 事 由	現 在 數
	本 籍	氏 名 職 業			

第五號 犬臺帳 日本標準規格A列五號

- 備考 一 納稅義務消滅簿ハ朱書スベシ
 二 本臺帳ハ四別イロハ願ニ編綴スベシ
 三 不課稅犬ニ在リテハ其ノ事由ヲ記入シ別冊トスベシ

住 所 又ハ 營業所 本籍又ハ本店所在地	氏 名 職 業 又ハ 營業處

第六號

納税義務發生又ハ消滅 年 月 日	積			造	體	積	用	途	タ ク ク 所 在 地	事	由	
	直積	當サ	厚サ									其ノ他
年 月 日						立方米						
年 月 日												
年 月 日												
年 月 日												

タクク 日本標準規格八列五號

- 備考 一 納税義務消滅事項ハ朱書きスベシ
 二 本簿帳ハ別イロハ願ニ編綴スベシ
 三 不課税タククニ在リテハ其ノ事由ヲ記入シ別冊トスベシ

納税義務 年 月 日	積	造	體	積	用	途	タ ク ク 所 在 地	事	由
年 月 日									
年 月 日									
年 月 日									
年 月 日									

第七號 自轉車札簿 日本標準規格八列五號

- 備考 一 受領數ハ市ヨリ受領シタル額、交付數、殘數ハ毎日記入スベシ
 二 通車費用及不課税自轉車札簿ハ本様式ニ準シ調整シ各別冊トスベシ

昭和 年度 自轉車試乗證札簿

納税義務 年 月 日	積	造	體	積	用	途	タ ク ク 所 在 地	事	由
年 月 日									
年 月 日									
年 月 日									
年 月 日									

第八號 自轉車試乗證札簿 日本標準規格八列五號

納税義務 年 月 日	積	造	體	積	用	途	タ ク ク 所 在 地	事	由
年 月 日									
年 月 日									
年 月 日									
年 月 日									

備考 受領數ハ市ヨリ受領シタル額、交付數、殘數ハ毎日記入スベシ

課長	係長	係員	押年	月	日	収入	印番	押番	枚数	請求	年月	日	行額	枚数	氏名	處理	期	未	

備考 押收額札付債証ノ所管ナキトキハ來書シ處理額未滿ニ「月 日何區通知」ト記入スベシ

納税義務者

課長	係長	係員	月	日	額	面	番	號	枚	數	請求	年月	日	行額	枚數	氏名	處理	期	未	

備考 一 本簿へ商品切手面額別ニ口壓ヲ設クベシ

第十號 押收額札付債証簿 日本標準規格B列五號
第十一號 商品切手捺印押收額整理簿 日本標準規格B列五號

一 捺印押收額、發行額及發行枚數ハ月計ヲ爲シ殘數ヲ明ニスベシ

日本標準規格B列六號

課稅	物件	納稅義務發生	年	月	日

右本日より五日以内ニ所轄區役所ニ印形及本書持參成規ノ申告ヲ爲スベシ若シ此ノ期間内ニ申告ヲ爲サザルトキハ大阪市市稅條例第六十六條ノ規定ニ依リ過料ヲ科ス

大阪市

區役所

課稅	物件	納稅義務發生	年	月	日

右本日より五日以内ニ成規ノ申告可仕候此ノ期間内ニ申告ヲ爲サザルトキハ本書ニ基キ御處理相成候モ異議無之候

區役所吏員

六三一

備考 本書ハ複寫トシ「注意書」ハ所有者又ハ代理者ニ交付スベシ

課長	係長	係員	月日	課税標準件數	納税義務年月日	課税日	市税額	納税義務者名		處理順	未
								住所	氏名		

第十三號 流砂貯蓄検査整理簿
日本標準規格B列五號
日本標準規格B列五號

備考 一 本簿ハ税目別ニ設置スベシ

二 件數ハ課税物件一個一件トシテ計算スベシ

三 件數、積額等ハ月計、累計ヲ記載スベシ

四 自轉車税ニ付テハ稅務吏員檢算分ト警察官吏檢算分ニ區分之ヲ整理スベシ

五 處理額未報ニ付「月日申告」月日出頭通知「月日査定」等記入スベシ

六 他區ニ於テ賦課スベキモノハ本書ニ處理額未報ニ付「月日何區通知」ト記入スベシ

七 檢算ニ係ルモノハ中測定不要並ニ翌月ニ繰越分ニ付テハ月計記載ノトキ其ノ件數、事由ヲ處理額未報ニ記入スベシ

課長	係長	係員	出時	月日	出頭先	檢舉種目	檢舉件數	出張員		職氏	名
								押收	枚數		
			自時	月日							
			自時	月日							
			自時	月日							
			自時	月日							
			自時	月日							
			自時	月日							
			自時	月日							
			自時	月日							
			自時	月日							

第十四號 檢稅外勤事務報告簿
日本標準規格B列五號
日本標準規格B列五號

				自時	月日						
--	--	--	--	----	----	--	--	--	--	--	--

法人名	代表者	本店所在地	資本金	事業年度	事業年度	本稅決定年月日	附加稅決定年月日	營業稅額	市稅額	備考

備考 地方稅法第八條非課税分ハ本簿ニ據ルベシ

本店所在地	事業年度	營業額目	資本金	摘要	事業年度	本稅決定年月	府廳告知年月	附加稅決定年月日	營業稅額	市稅額	備考

第十五號 法人營業稅覽表其二
日本標準規格B列五號
日本標準規格B列五號

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

(裏面)

番 號	住 所	氏 名	課 税 種 別	第 一 期		第 二 期		合 計	収入月日
				市 税 額	市 計 額	市 税 額	市 計 額		

(裏面)

番 號	住 所	氏 名	課 税 種 別	第 一 期		第 二 期		合 計	収入月日
				市 税 額	市 計 額	市 税 額	市 計 額		

備考 随時分ニ在リテハ本様式ニ準ジ課税ノ種別及課税額發生年月日「令書發付月日」及「納期限」ヲ設ケベシ

番 號	住 所	氏 名	課 税 種 別	第 一 期		第 二 期		合 計	収入月日
				市 税 額	市 計 額	市 税 額	市 計 額		

第十九號 市税、負擔金及手数料

日本標準規格B列四號

備考 一 二期ニ分チ課税スルモノニ在リテハ本様式ニ準ジ課税スベシ
 二 市民税ニ在リテハ課税標準、市都市計畫税及合計ノ各額ヲ各欄ニ入ルベシ
 三 随時分ニ在リテハ本様式ニ準ジ課税ノ種別及課税額發生年月日「令書發付月日」及「納期限」ヲ設ケベシ

番 號	月 日	住 所	氏 名	種 目	課 率	課 税 額	理 由	金 額	收 入 日	備 考

測定決議書

第 一 號

起 案	年	月	日	區 長	課 長	係 長	係 員	記 簿
決 議	年	月	日					

下記ノ題圖定(金額)及課税告知書(課税命令書、課税令書)發付相成可然哉

令書發付 納入區別	昭 和	年 度	項 目	課 税 額	金 額	額 合	第 一 期	第 二 期

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

第二十二號 測定決議書

日本標準

第九類 財務 第二章 市稅、負擔金及手数料

六四二

日本標準規格B列五號三切

滯納處分票

年 月 日	年度		期分	稅	號	府 稅 府都市計畫稅 市 稅 市都市計畫稅 計	府 20 市 20	督促手数料	府 市	延 滯 金	處 分 費	合 計	延 滯 期 間	自 至	日 月 日	日 間	納 期 限	年 月 日	督 促 狀 發 付	年 月 日	同 上 納 期	年 月 日	住 所	氏 名	轉 居 先	年 月 日	處 分 額 未 係 長 係 員	所 在 地 事 項	町 會 二 付 隣 組 長 又 ハ 同 勤 務 者 先 又 ハ 其 ノ 他
	係 長	係 員																											

- 備考 一 市獨立税ニ在リテハ府稅各欄ヲ省略スベシ
 二 出張ノ際際分ニ關スル經過ヲ詳細記入シ係長係員認印スベシ
 三 轉居先調査ヲ要スル者ニ付テハ調査ノ願未ヲ所在調査欄ニ詳細記入スベシ

課 長	係 長	係 員	出 張 月 日 時 間	出 張 先	費 金	出 張 員 職 氏 名	
						職 氏 名	職 氏 名
						日 分	

- 備考 一 受理件數額ニハ當初受理件數ノ外新ニ追加受理セル件數ヲ當該日ニ記入スルコト
 二 處理件數額ニハ當日外勤事務實踐ノ中處理終リ計ヲ記入スルコト

(甲) 第		(乙) 第	
自筆	印	自筆	印
至第	號	至第	號
缺號		缺號	
發行 昭和 年 月 日		發行 昭和 年 月 日	

第九類 財務 第二章 市稅、負擔金及手数料

六四三

第三十二號 假借收據表紙 日本標準規格B列六號

第三十一號 滯納處分事務報告書 日本標準規格B列五號

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

第三十三號 假領收書

(乙) 甲 第 冊 第 號

日本標準規格B列六號

課長	係長	係員	拂込	年	月	日
<p>前記ノ金額納稅方委託相成正ニ領收候也 退而正當領收書ハ本書ト引換ニ相渡可申候 正當領收書交付ノ後ハ本書ヲ無効トス 本假領收書ニ區役所印ナキモノハ無効トス</p> <p>昭和 年 月 日</p> <p>大慶市 區役所吏員 何 某</p>						
税	目	年度	期分	金額	一金	
分類	所得	税		圓	假領收書	
綜合	所得	税			内 課	
臨時	利得	税				
地租	及	同附加	税			
家	屋	及	同附加	税		
營	業	及	同附加	税		
自	動	及	同附加	車		
不	連	取	得	及		
限	附	加	税			
市	民	税				
自	轉	車	税			
稅						
稅						
府	市	當	促	手	費	
府	稅	延	滯	金		
市	稅	延	滯	金		
計						

類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

- 本書發行上ノ注意
- 一 本書ノ發行ハ正副三通(複寫)ヲ以テシ帳簿番號及頁數番號ヲ附スベシ
 - 二 一金トアル箇所ニハ略數字ヲ以テ金額ヲ記入スベカラス
 - 三 本書百通ヲ以テ一冊トナシ甲、乙二組ヲ作成スベシ
 - 四 國稅附加税ハ府稅、府都市計畫稅、市稅、市都市計畫稅ノ合算額トスベシ
 - 五 府稅附加税ハ市稅、市都市計畫稅ノ合算額トスベシ
 - 六 市獨立稅(市民稅ヲ除ク)ハ市都市計畫稅ノ合算額トスベシ
 - 七 一部收入ヲナス場合ハ金額左傍ニ其ノ旨詳記スベシ

課長	係長	係員	要	入	交	付	種	數
年	月	日	年	月	日	年	月	日
			自					

第三十四號 假領收書受據簿
 日本標準規格B列五號

備考 甲乙組別ニ口座ヲ設ケズ

課長	係長	係員	要	入	交	付	種	數
年	月	日	年	月	日	年	月	日

(裏面)

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

第三十五號 假領其ノ他簿

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

種別	現年度		過年度		市税ヲ課シ得ルモノノ計
	七月末現在	市税ヲ課シ得ルモノ	然ラザルモノ	新規	
評定貨貨價格					
稅					
額					
人員					
員					
攝					
要					

(一) 船舶稅

種別	現年度		過年度		合計
	汽船	帆船	新	規	
總噸數五〇噸迄ノモノ					
同五〇噸ヲ超ユルモノ					
總噸數五〇噸迄ノモノ					
同五〇噸ヲ超ユルモノ					
稅					
額					
人員					
員					
攝					
要					

(三) 自動車稅

種別	現年度		過年度		普通自動車 (ハノマーク型ヲ含ム)
	營業用車	自用車	營業用車	自用車	
乘用車					
普通					
乘合					
十人					
十五人					
十六人以上					
營業用車					
自用車					
二千					
三千					
四千					
何々					
自用車					
二千					
賦課率					
稅					
額					
人員					
員					
攝					
要					

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

題 年 度 分	新規										特 殊 自 動 車	額 何 千 疋 迄	三 千 疋 迄	
	簡 易 自 動 車	其 他	自 用 車	自 用 車	四 輪 車	三 輪 車	二 輪 車	自 用 車	自 用 車	自 用 車				其 他

合 計	額 越 分	新 規 分

備考 薪炭瓦斯發生裝置ヲ施シ使用セルモノハ區分シ各欄ノ左傍ニ記載スルコト

(四) 電 柱 税

區 分		一ヶ年分事業 年度ノ利益配 當年六分以上 ノモノ				一ヶ年分事業 年度ノ利益配 當年六分未満 四分以上ノモ ノ				電氣事業會社 以外ノモノノ	
木 柱 支 柱	木 柱 本 柱	電 柱 （ 鋼筋コンクリ ー）	電 柱 （ 木柱ヲ含ム）	電 柱 （ 鋼筋コンクリ ー）	電 柱 （ 木柱ヲ含ム）	木 柱 支 柱	木 柱 本 柱	木 柱 支 柱	木 柱 本 柱	木 柱 支 柱	木 柱 本 柱

區分	現年度	過年度	所有スモノ	
			鐵柱 (鐵筋コンクリー ト柱ヲ含ム)	鐵塔 (鐵筋コンクリー ト塔ヲ含ム)
合計				
新規				
超過				
計分				

(五) 不動産取得税

區分	現年度	過年度	轉移權有所ノモル因ニ	
			家屋	土地
合計				
新年度				
過年度				
計分				

(六) 狩獵者税

區分	現年度	過年度
合計		
新年度		
過年度		
計分		

(七) 蕨、坡、税

區分	現年度	過年度	等級			
			一	二	三	過年度
合計						
新年度						
過年度						
計分						

合 計	三市 税	(一) 市 民 税								
-----	------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--

納 税 者	内			課 税 者			課 税 額		
	納 税 者	非 課 税 者	納 税 者	納 税 者	納 税 者	納 税 者	納 税 者	納 税 者	納 税 者
個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人
法人	法人	法人	法人	法人	法人	法人	法人	法人	法人
納 税 額	納 税 額	納 税 額	納 税 額	納 税 額	納 税 額	納 税 額	納 税 額	納 税 額	納 税 額

(二) 商品切手發行税

發行 價格	税 額	納 税 人	員 額	要
-------	-----	-------	-----	---

(三) 其ノ他

種 別	七月末日現在課税標準	賦 課 率	額 人	員 額	要
自 轉 車 税					
普 通 車 税					
通 學 專 用 車 税					
金 庫 税	立方粉				
犬 税					
軌 道 税					

六〇封度迄					
七〇封度迄					
何封度迄					
タク					
ク					
税					

備考

一 現年度分

- (一) 國 税
 - (イ) 地 租 前年度、調査スル年ヲ調フ以下同シ七月末日現在ヲ調査シ一圓未満ノ端數ヲ切捨テ計上スルコト
 - (ロ) 營業 税 法人ノ税額ハ前々年度分 調査スル年ノ前年ヲ調フ以下同シ個人ノ税額ハ前年度分ノ決定ニ係ルモノニ付調査シ一圓未満ノ端數ヲ切捨テ計上スルコト
 - (ハ) 家屋 税 前年度七月末日現在同年度中ノ増加見込額ニ付調査スルコト
- (二) 府 税
 - (イ) 設別 税 前年度許定貨價價格ニ付調査スルコト
 - (ロ) 船舶 税 前年度七月末日現在ニ付調査スルコト
 - (ハ) 自動車 税 同右
 - (ニ) 電柱 税 同右
 - (ホ) 取得 税 前々年度ニ付調査シ一圓未満ノ端數ヲ切捨テ計上スルコト
 - (ハ) 狩獵者 税 前々年度ニ付調査スルコト
 - (ト) 藝妓 税 同右
- (三) 市 税
 - (イ) 市民 税 前年度十月一日現在ニ付調査スルコト
 - (ロ) 其ノ他 自動車 税、犬 税、タク 税ニ付テハ前年度七月末日現在ニ付調査スルコト
 - (ハ) 軌道 税 前年度七月末日現在ニ付調査スルコト
 - (ニ) 商品切手 發行 税 前々年度ニ付調査スルコト
 - (三) 過年度分 新規分繰越分ト前々年度ニ付調査シ一圓未満ノ端數ヲ切捨テ計上スルコト
 - (四) 税制改正其ノ他ノ爲前各項ニ依リ難キモノハ最近ノ專斷ニ根據シ區長ニ於テ適當ト認ムル見込額ヲ算額ヲ算シ其ノ證明ヲ附記スルコト

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

第九類 財務 第二章 市稅、負擔金及手數料

六六〇

科	項	目	昭和 年度市稅其ノ他課定收入報告書		昭和 年 月分(其ノ一)		損		收入未清額		備考
			本月分 金額	合計 金額	本月分 金額	合計 金額	損 金額	合計 金額	收入未清額 金額	合計 金額	
國稅附加稅	地租附加稅	現年度分 過年度分 繰越分									收入歩合
	何	何									
	何	何									
府稅附加稅	地租附加稅	現年度分 過年度分 繰越分									收入歩合
	何	何									
	何	何									
市稅	地租附加稅	現年度分 過年度分 繰越分									收入歩合
	何	何									
	何	何									
獨立稅	市稅	現年度分 過年度分 繰越分									收入歩合
	何	何									
	何	何									
舊法二九八 舊法	地租附加稅	計									收入歩合 收入未清額

科	項	目	昭和 年度市稅其ノ他課定收入報告書		昭和 年 月分		損		收入未清額		備考
			本月分 金額	合計 金額	本月分 金額	合計 金額	損 金額	合計 金額	收入未清額 金額	合計 金額	
		現年度分 過年度分 繰越分									收入歩合
	何	何									
	何	何									
市稅	地租附加稅	現年度分 過年度分 繰越分									收入歩合
	何	何									
	何	何									
舊法二九八 舊法	地租附加稅	計									收入歩合 收入未清額

第九類 財務 第二章 市稅、負擔金及手數料

六六一

第九類 財務 第二章 市稅、負擔金及手数料

(其ノ一)

家屋賃貸價格別集計表

種別 賃貸價格別	個人			法人			特別法人			計			備考 第一項但書 第六十四條
	課税者 人員計	不課税者 人員計	人員計	本店又は主 事務所 人員計	其他 人員計	人員計	本店 事務所 人員計	其他 人員計	人員計	不課税者 人員計	課税者 人員計	人員計	
50圓以下													
200圓以下													
300圓以下													
400圓以下													
500圓以下													
600圓以下													
700圓以下													
800圓以下													
900圓以下													
1,000圓以下													
1,500圓以下													
2,000圓以下													
2,500圓以下													
3,000圓以下													
4,000圓以下													
5,000圓以下													
6,000圓以下													

第五號 市民税調査ニ關スル報告書

六六四

7,000圓以下													
8,000圓以下													
9,000圓以下													
10,000圓以下													
10,000圓以上													
合計													

備考 一 個人輸入事務所(本店、支店、出張所)毎ニ記載スルコト
二 本年十月三十一日迄ニ報告スルコト

(其ノ二)

總賃金額階級別集計表

種別 賃金階級	個人			法人			特別法人			計			備考 第一項但書 第六十四條
	課税者 人員計	不課税者 人員計	人員計	本店又は主 事務所 人員計	其他 人員計	人員計	本店 事務所 人員計	其他 人員計	人員計	不課税者 人員計	課税者 人員計	人員計	
3,000圓以下													
5,000圓以下													
7,000圓以下													
8,000圓以下													
9,000圓以下													
10,000圓以下													
15,000圓以下													
20,000圓以下													
30,000圓以下													
50,000圓以下													
80,000圓以下													
120,000圓以下													
200,000圓以下													

第五號 (其ノ二)

第九類 財務 第二章 市稅、負擔金及手数料

六六五

種別	合算額		現年度		前年度	
	現年度	前年度	現年度	前年度	現年度	前年度
臨時修養費等 交付金ノ額	税額					
	合算額					
	合計					
督促費 交付金	税額					
	合算額					
	合計					
督促費 指定期 限迄ノ額	税額					
	合算額					
	合計					

種別	合算額		現年度		前年度	
	現年度	前年度	現年度	前年度	現年度	前年度
督促費 指定期 限迄ノ額	税額					
	合算額					
	合計					
督促費 交付金	税額					
	合算額					
	合計					
臨時修養費等 交付金ノ額	税額					
	合算額					
	合計					

收	合算額	新年度		現年度		合算額	新年度	現年度		合算額	新年度	現年度		合算額	
		超過	現年度	超過	現年度			超過	現年度			超過	現年度		
應分攤証 目ノ徴収	税額	現年度		現年度		合算額	現年度		現年度		合算額	現年度		現年度	
		超過		超過			超過		超過			超過		超過	
收入總額	稅額	現年度		現年度		合算額	現年度		現年度		合算額	現年度		現年度	
		超過		超過			超過		超過			超過		超過	
缺損額	稅額	現年度		現年度		合算額	現年度		現年度		合算額	現年度		現年度	
		超過		超過			超過		超過			超過		超過	
合計															

未收入額	合算額	新年度		現年度		合算額	新年度	現年度		合算額
		超過	現年度	超過	現年度					

- 備考
- 一 本調査ノ決算額ニ付調査ノ
 - 二 處分徴収額ニハ通貨差押ヲ除外全部記入ノコト
 - 三 本表ハ毎年六月三十日迄ニ必ズ提出ノコト
 - 四 現年度分ハ黒字ノ過年度分ハ赤字ノコト

(附屬表)

昭和 年度都市計畫稅徵收一覽表

區	分	都		市		計		市		稅		合計	歩合 千分 比	備考	
		地租割	稅額	稅額	稅額	小計	自轉車 割	稅額	稅額	小計					
調	定	現年度		現年度		現年度		現年度		現年度		現年度			
		超過		超過		超過		超過		超過		超過			
法定割割内 稅額	稅額	現年度		現年度		現年度		現年度		現年度		現年度			
		超過		超過		超過		超過		超過		超過			

期限が指定期 限迄ノ額付	額	令書數		稅額		合書數		稅額		合書數	
		現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度
額定款額科費	額	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度
		過年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度
額定款指定期 限迄ノ額付	額	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度
		過年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度
期限が指定期 限迄ノ額付	額	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度
		過年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度

期限ノ額付	額	令書數		稅額		合書數		稅額		合書數	
		現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度
額定款額科費	額	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度
		過年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度
額定款指定期 限迄ノ額付	額	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度
		過年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度
期限が指定期 限迄ノ額付	額	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度
		過年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度	現年度	新年度

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

昭和 年度市税(營業稅附加稅) 年度區分表

區分	昭和 年度所屬		昭和 年度所屬		昭和 年度所屬		昭和 年度所屬		昭和 年度所屬	
	調定	收入	調定	收入	調定	收入	調定	收入	調定	收入
營業稅附加稅	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員
法個人										
法個人計										
市民稅										
市民稅計										

備考 一 本表ハ決算額ニ依リ前年度分ヲ毎年六月三十日限リ報告ノコト
 二 所屬年度ノ舊キモノヨリ顯效在ヨリ記入スルコト
 三 人員關キハ實人員ヲ記入スルコト

第十一號

總務分市稅納額額額 昭和 年度總務分市稅一人別納額額額

年度	期別	稅目	普通稅		住	所	氏	名	處理	狀況
			額	計						
			圓	圓						

備考

- 一 一人各稅ヲ通シ合計額(都計ヲ含ム)五十圓以上ノモノニ付調査スルコト
- 二 處理狀況ハ可成詳細ニ記入スルコト
- 三 本表ハ六月一日現在ニ依リ調査スルコト
- 其ノ二 昭和 年度總務分市稅年度別稅額額

稅目	昭和 年度		昭和 年度		昭和 年度		計	備考
	調定	收入	調定	收入	調定	收入		
何稅								
何稅								
何稅								
計								

備考

- 一 本表ノ稅目ハ豫算書記載ノ稅目トシ其ノ順序ニ記載スルコト
- 二 稅額ハ圓位ニ止メ圓未満ハ四捨五入スルコト
- 三 備考欄ニ各稅ニ付處分未済ノモノアルトキハ其ノ數ヲ記入スルコト
- 四 本表ハ六月一日現在ニ依リ調査スルコト

第十二號

昭和 年度年稅一人別缺損額額

年度	期別	稅目	普通稅		住	所	氏	名	處理	願	來
			額	計							
			圓	圓							

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

計	普通市税		特別市税		特別市税		特別市税		特別市税	
	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額
合										

備考 一 本表ハ決算額ニ依リ前年度分ヲ毎六月三十日限リ報告ノコト
 二 税額中ニハ都市計畫建設及都市計畫特別税ヲ包含ス
 三 件数ハ普通市税ノ件数トス

昭和 年度市税負擔分状況

属分	現年度測定分	前年度測定分	課税完了		所在不明		第三條該當		中止		時効完成		計	課税後活
			件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額		
普通市税														
特別市税														
合														

第十三號 (其ノ三)

〔大例一三號〕

命	(普通市税)		(特別市税)		(特別市税)		(特別市税)		(特別市税)	
	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額
合										

備考 一 本表ハ決算額ニ依リ前年度分ヲ毎六月三十日限リ報告ノコト
 二 税額中ニハ都市計畫建設及都市計畫特別税ヲ包含ス
 三 件数ハ普通市税ノ件数トス

特別税及使用料ノ賦課徴収セサル件

制定 昭三六、五、四條例四

本市會ノ議決ヲ經タル特別税及使用料ヲ賦課徴収セサル件ニ關スル條例
 内務大臣大藏大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通之ヲ定ム

特別税使用料ヲ賦課徴収セサル件

- 一 左記各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ市會ノ議決ニ依リ其行爲、物件及收入ニ關シ特別税及使用料ノ一部又ハ全部ヲ賦課徴収セサルコトヲ得
- 二 公益ヲ主タル目的トシテ事業ヲ營ム者
- 三 本市ニ於テ保護若クハ獎勵ヲ爲シ又ハ其必要アリト認メタル事業ヲ營ム者
- 四 本市ニ於テ法規ニ依リ徴収スヘキ特別税及使用料ノ總額以上ト認メタル利益ヲ本市ニ提供シテ事業ヲ營ム者

納税獎勵規則

制定 昭一八、一〇、七條例六

大正十五年庶乙第三九七號大阪市納税獎勵規程左ノ通改正ス

大阪市納税獎勵規則

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

第一條 皇國本來ノ納税觀念ニ立脚セル國民納税體制ノ確立整備ヲ助成

スル爲納税施設法ニ依ル納税團體タル本市町會及職域納税組合ニ對シ本規則ニ依リ獎勵金ヲ交付シ又ハ表彰ス但シ職域納税組合ニ付テハ本市ニ事務所ヲ有シ第五條ノ規定ニ依リ區長ノ承認ヲ受ケタルモノニ限ル

第二條 獎勵金ハ之ヲ設立獎勵金及納税獎勵金ノ二種トス

第三條 設立獎勵金ハ町會ニ對シ事業開始ノ年度ニ限り豫算ノ範圍内ニ於テ左ノ割合ニ依リ計算シタル金額ノ合算額ヲ交付ス

- 一 一町會ニ付 三十圓以内
- 二 納税事業利用者一人ニ付 十錢以内

第四條 納税準備預金ノ預金者一人ニ付 二十錢以内

第五條 納税獎勵金ハ之ヲ基本獎勵金及成績獎勵金ノ二種トシ納税團體ニ對シ毎年豫算ノ範圍内ニ於テ左ノ割合ニ依リ計算シタル金額ノ合算額ヲ交付ス

- 一 基本獎勵金 五十圓以内
- 二 成績獎勵金 納税團體一團體ニ付

各納期ニ於テ法定納期內ニ取扱納付セル租税ガ當該納稅團體全體員全員ノ納付スベキ總額ノ九割以上ニ達シタルトキ、完納ナルトキ令書一通ニ付 五錢以內

一團體ニ對シ交付スル納稅獎勵金ノ年總額ハ團體員五千人以上ノモノニ在リテハ五百圓、四千人以上ノモノニ在リテハ四百圓、三千人以上ノモノニ在リテハ三百圓、三千人未滿ノモノニ在リテハ二百圓ヲ最高限度トス

基本獎勵金ハ設立獎勵金ヲ交付スル年度ニハ之ヲ交付セズ成績獎勵金ハ本市區長ノ發行シタル令書ニ依リ納付スベキ租税ヲ基準トシテ計算シ連記式個人別令書ニ在リテハ納稅者一人ヲ以テ令書一通ト看做シテ之ヲ計算ス

第五條 納稅獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル職域納稅組合ノ代表者ハ左ノ事項ヲ具シ組合事務所所在地ノ區長ニ申請スベシ

- 一 組合ノ名稱及事務所ノ所在地
二 組合ノ規約
三 組合ノ代表者及組合員ノ住所、氏名、職業
四 事業施行區域
五 事業計畫ノ概要
六 收支概計

前項ノ申請ヲ爲シタル後具申事項ニ異動アリタルトキハ組合ノ代表者ハ遲滞ナク區長ニ申告スベシ
第六條 設立獎勵金ハ町會ノ納稅事業開始後之ヲ交付ス

特別稅步一稅ニ關スル細則

制定 昭二八、四、二七條例一

本市會ニ於テ特別稅ニ關スル條例改正ノ件ヲ議決シ市制第百二十一條及第百二十二條ニ依リ内務大臣大藏大臣ノ許可ヲ得左ノ通相定ム

- 第一條 本市ハ左ノ特別稅ヲ賦課ス
國立銀行稅 消滅
取引所稅 消滅
歩 稅 消滅
船 稅 消滅
車 稅 消滅

第二條 消滅
第三條 消滅
第四條 步一稅ハ土地又ハ建物賣買讓與(家督相續即戸主ノ死亡若クハ隱居ニヨリ跡相續ヲ爲ス場合ヲ除)ノ節其土地建物ニ對シ價格金六十分ノ一ヲ賦課シ其買得者又ハ其讓受者ヨリ徵收ス但價格金ハ登記料ヲ納メタル賣買代價又ハ登記料ヲ納メタル時價格ニ依ル

- 第五條 消滅
第六條 消滅
第七條 消滅
第八條 消滅
第九條 土地建物買得者又ハ讓受者ハ其土地又ハ建物ノ所在町名箇所番號並登記料ヲ納メタル價格金ヲ七日以內ニ所轄區長ニ届出ツヘシ

納稅獎勵金ハ毎年度四月及十月ニ前半期分ヲ交付ス但シ基本獎勵金ハ年額ノ二分ノ一ヲ以テ半期分トス
第七條 市長ハ納稅ニ關シ功勞顯著ナル者又ハ納稅團體ニシテ其ノ成績他ノ模範トナスニ足ルト認メタルトキハ特ニ之ヲ表彰スルコトアルベシ
第八條 納稅團體ハ市長又ハ區長ヨリ其ノ事業ニ關スル質問ヲ受ケ若ハ報告書ノ提出ヲ求メラレタルトキハ遲滞ナク之ガ處理ヲ爲シ帳簿、書類其ノ他ノ檢關ヲ求メラレタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ
第九條 本規則ニ依リ交付セラレタル獎勵金ノ使途ニ付區長ヨリ特ニ指示アリタルトキハ之ニ違背スルコトヲ得ズ

附則

- 第十條 本規則ハ昭和十八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
第十一條 第三條第三號ノ規定ニ依リ交付スベキ設立獎勵金ハ第三條及第四條第三項ノ規定ニ拘ラズ其年三月末現在ノ當該預金者數ヲ基準トシテ當分ノ間毎年度之ヲ交付ス
第十二條 本規則施行前納稅施設法ニ依リ設立セラレタル職域納稅組合ニシテ本規則ニヨリ承認セラレタルモノニ對シテハ設立以後ノ納稅成績ヲ基準トシテ納稅獎勵金ヲ交付ス
第十三條 昭和十八年度前半期分納稅獎勵金ハ第六條第二項ノ規定ニ拘ラズ昭和十八年十二月ニ之ヲ交付ス
第十四條 本規則施行ノ際從前ノ規程ニ依リ承認ヲ受ケ現ニ事業ヲ行フ納稅組合ニ付テハ當分ノ間仍從前ノ例ニ依ル

〔大例一三號〕

- 第十條 消滅
第十一條 消滅

特別稅步一稅ニ關スル細則廢止ノ件

制定 昭四、五、二九條例一六

明治二十八年大阪府條例第一號特別稅步一稅ニ關スル細則ハ昭和三年度分限リ之ヲ廢止ス但シ昭和四年三月三十一日迄ニ土地又ハ建物ノ賣買讓與ヲ爲シタルモノニ付テハ仍舊條例ニ依ル

步一稅賦課方

制定 昭三五、一二、五指令五八〇〇

一 土地建物ノ賣買ニシテ不動産登記法ニ據ラサル權利ノ移轉ニ付テハ明治二十八年本市條例第一號第四條ノ要素ヲ闕クテ以テ步一稅ヲ賦課スル限ニアラス

步一稅ヲ賦課セサル件

制定 大二三、二二、四條例一〇

本市會ノ議決ヲ經内務大臣大藏大臣ノ許可ヲ受ケテ步一稅ヲ賦課セサル件左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
步一稅ヲ賦課セサル件
大正十一年法律第六十二號信託法ノ規定ニ依ル不動産ノ所有權ノ取得ニ對シテハ左ニ該當スル場合ニ限リ本市步一稅ハ之ヲ賦課セサルモノトス
一 信託財產ニシテ委託者カ信託行為ニ依リ信託利益ノ全部ヲ享受スヘ

キ不動産ヲ委託者ヨリ委託者ニ移ス場合ニ於ケル所有權ノ取得但シ本號ニ依リ賦課セラレサル不動産ニ付共ノ後受益者變更シタル場合及信託法第二十二條ニ依リ固有財産トナシタル場合ニ在リテハ其ノトキニ該不動産ノ所有權ノ取得アリタルモノト看做シ之ヲ賦課ス
二 信託ニ付受益者又ハ歸屬權利者ノ不動産ノ所有權ノ取得
三 信託ノ受託者更迭ノ場合ニ於ケル新受託者ノ不動産ノ所有權ノ取得
本件施行ノ期日ハ市長之ヲ定ム

第二節 負擔金

道路新設擴築受益者負擔ニ關スル規程

制定 昭一四、四、一告示二〇八
最近改正 昭一四、一、一告示七〇〇

内務大臣ノ認可ヲ受ケ大正十二年大阪市告示第六號道路新設擴築受益者負擔ニ關スル規程左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條 道路ノ新設又ハ擴築工事ニ要スル費用ハ本規程ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ之ヲ負擔セシム

第二條 本規程ニ於テ受益者ト稱スルハ第三條ノ負擔區劃内ニ在ル土地ニ付左ニ掲クル者ヲ謂フ
一 有租地ノ所有者、質權者、永小作人、地上權者、賃借人、使用借主及轉借人但シ永小作人、地上權者賃借人、使用借主及轉借人ニ付テハ建物(假設的ノモノヲ除ク)ノ所有ヲ目的トスルモノ又ハ其ノ權利ノ存續期間十年(工事著手前ニ設定セラレタル權利ノ存續期間ハ工事著手ノ日ヨリ起算ス)ヨリ長キモノニ限ル
二 無租地ニ付左ニ掲クル者但シ一時的ノモノヲ除ク
イ 地租法第二條及地租法以外ノ法令ノ規定ニ依ル無租地(保安林及都市計畫法第三十三條ノ河岸地ヲ除ク)ノ本來ノ用途ニ反スト認ムル方法ニ依リ其ノ使用收益ヲ爲シ又ハ其ノ權利ヲ設定シタル所有者及其ノ權利ヲ有スル者

〔大例一三號〕

イ以外ノ無租地ノ永小作人、地上權者、賃借人使用借主、轉借人及占用權者

第三條 負擔區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ其ノ境界線(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線)ヨリ奥行三十七米ノ地域トス
土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス道路ノ幅員ノ五倍以内ニ於テ別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得
前項ノ負擔區劃ハ市長之ヲ告示ス

第四條 前條ノ負擔區劃内ノ受益者負擔額ハ其ノ工事費ノ二分ノ一トス
隧道、橋梁其ノ他特殊ノ工事又ハ特殊ノ物件ノ移轉ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ前項ノ工事費トスルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ控除スル額ハ市長之ヲ告示ス

第五條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム
一 各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第三條ノ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ該區分内ノ工事費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム
二 前號負擔額ノ半額ヲ其ノ道路ニ接スル部分又ハ開口ノ利用之ト同等ト認ムル部分ノ長ニ比例シ他ノ半額ヲ其ノ地積ニ比例シテ配分ス
三 第三條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ其ノ負擔區利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帶トシ各地帶ニ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス
四 前號ニ依リ定メタル道路ニ接スル地帶内ノ土地ニ對シテハ其ノ地

第七條 負擔金ハ其ノ負擔區ノ工事著手ノ日ノ現在ニ依ル受益者ヨリ界ナキモノト看做ス

〔大例一三號〕

帶ニ配分セラレタル負擔額ヲ第二號ノ例ニ依リ配分シ其ノ他ノ地帶内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帶ニ配分セラレタル負擔額ヲ其ノ地積ニ比例シテ配分ス
前項第四號前段ノ場合ニ於テハ開口負擔ノ割合ヲ三分ノ一迄低下シ其ノ殘額ヲ地積ニ比例シテ各當該土地ノ受益者ノ負擔額ヲ定ムルコトヲ得
第二條第二號ノ受益者ニ對シテハ前二項ノ規定ニ依ル負擔金額ノ範圍内ニ於テ別ニ負擔スヘキ金額ヲ定ムルコトヲ得
同一ノ土地ニ付二以上ノ受益者アル場合ニ於テハ前三項ノ規定ニ依ル負擔金額ハ別ニ定ムル分擔割合ニ依リ各受益者之ヲ分擔ス
第一項第一號ノ負擔區、第三號ノ地帶及率、第二項ノ規定ニ依リ定メタル開口負擔ノ割合、第三項ノ規定ニ依リ定メタル金額、前項ノ規定ニ依ル分擔割合ハ市長之ヲ告示ス

第六條 河川、運河、溝渠、鐵道、新設軌道、崖地等ニシテ土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物カ第三條第一項、第二項ノ地域内ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス
同等以上ノ效用アリト認ムル並行道路カ第三條第一項、第二項ノ負擔區劃ノ二倍ノ地域内ニ在ルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス但シ其ノ間隔内ニ前項ノ地物アルトキハ前項ノ例ニ依ル

前二項ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔金ノ算定ニ付テハ負擔區劃ノ限界ナキモノト看做ス

之ヲ納付セシム

前項ノ工事著手ノ日ハ市長之ヲ告示ス
各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ 市長ハ之ヲ受益者ニ通知ス

第一項ノ工事著手ノ日ノ後ニ於テ負擔金ヲ課セラルヘキ土地ノ所有者、質權者、永小作人、地上權者、賃借人、使用借主又ハ轉借人ニ異動アリタルトキハ新ニ其ノ土地ノ當該權利ヲ取得シタル者ヨリ其ノ土地ニ關スル未納額(滯納額ヲ除ク)ヲ納付セシム但シ前者ニ於テ納付シタル部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ規定ニ依リ納付セシムヘキ金額ハ市長之ヲ通知ス
前項ノ通知ヲ爲シタルトキハ前者ノ負擔義務ハ前項ノ金額ノ範圍ニ於テ消滅ス

第八條 市長ハ各受益者ヲシテ市長ノ相當ト認ムル擔保ヲ提供セシメ
前條第三項ノ決定通知ノ日ヨリ五年ヲ超エサル期間ニ於テ負擔金ノ分割延納ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條 負擔金ハ工事費豫算額ニ依リ算出ス
前項ノ負擔金額カ工事費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ超過額ヲ還付シ不足スルトキハ不足額ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
第一項ノ工事費豫算額及前項ノ工事費精算額ハ市長之ヲ告示ス

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ但シ第二號及第三號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額ノ工事費額又ハ提供額ヲ超ユルコトヲ得ス

告知書ヲ發行シタルモノニ付テハ其ノ全部)ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

本規程施行前既ニ工事ニ著手シ未タ納額告知書ヲ發行セサル負擔金ニ付テハ本規程ヲ適用ス

附則 (昭一四、一、告示七〇〇)
本改正規定ハ昭和十四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

道路新設擴張受益者負擔ニ關スル規程

施行細則

制定 昭一四、四、一、告示二〇九
最近改正 昭一四、一、一、告示六九八

道路新設擴張受益者負擔ニ關スル規程施行細則左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

道路新設擴張受益者負擔ニ關スル規程施行細則

第一條 本細則ニ於テ規程ト稱スルハ昭和十四年大阪市告示第二百八號道路新設擴張受益者負擔ニ關スル規程ヲ謂フ

第二條 規程第二條ノ規定スル權利ノ目的タル土地ノ所有者ハ其ノ土地ノ所在、地積、間口ノ長、土地ノ見取圖、權利ノ種類、設定ノ年月日、存續期間、建物所有ノ目的ノ有無、有料無料ノ區別及權利者ノ住所氏名並關係工事路線名ヲ第一號様式ニ依リ權利者連署ノ上工事著手ノ告示ヲ爲シタル日ヨリ三十日以内ニ市長ニ申告スヘシ

第三條 規程第五條ノ規定ニ依リ負擔區、地帶及率ハ施行方法其ノ他土地ノ狀況ニ依リ其ノ都度市長之ヲ定ム

一 道路法又ハ都市計畫法ノ規定ニ依リ道路ノ新設若ハ擴張又ハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スヘキ關係ニ該當シタル土地カ五年以内ニ重複シテ本規程ニ依リ負擔金ヲ課セラルヘキ關係ニ該當スルトキ

二 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者アルトキ

三 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル土地ヲ土地區劃整理ノ施行ニ依リ無償ニテ國若ハ公共團體ノ所有地ニ編入シ又ハ無償ニテ提供シタルトキ

四 土地ノ狀況ニ依リ市長ニ於テ必要アリト認ムルトキ

五 左ノ土地ニ付其ノ受益者ノ申請ニ依リ必要アリト認ムルトキ
イ 國、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地

ロ 神社寺院祠宇佛堂ノ境内地、教會所說教所ノ構内地及私立學校用地地ニ關スル法律第一條ニ掲グルモノノ用ニ供スル土地
ハ 都市計畫法第十六條第一項ノ土地

ニ 市街地建築物法第二十六條第二項ノ道路ノ境域内ニ在ル土地
前項第二號及第三號ノ寄附額又ハ提供額ハ市長之ヲ評定シ第四條ノ工事費ニ算入ス

第十一條 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附則

本規程施行前納額告知書ヲ發行シタル負擔金(負擔金ノ一部ニ付納額

第四條 規程第五條第四項ノ分擔割合ハ左ノ各號ニ依ル

一 質權ノ設定アル土地

質權者 百分ノ七十

土地所有者 百分ノ三十

二 永小作權、地上權、賃貸借、使用貸借及占用權ノ目的タル土地

ニ對シテハ左ノ區分ニ依ル

イ 權利ノ存續期間二十年以下ノモノ

土地所有者 百分ノ七十

權利者 百分ノ三十

ロ 同上二十年ヲ超エ三十年以下ノモノ

土地所有者 百分ノ六十

權利者 百分ノ四十

ハ 同上三十年ヲ超ユルモノ

土地所有者 百分ノ五十

權利者 百分ノ五十

三 規程第二條ノ規定ニ依リ所有者以外ノ權利者カ其ノ權利ヲ轉賣又ハ轉貸シタル場合ニ於テハ前二號ニ依リ當該權利者ノ負擔スヘキ金額ヲ平分ス其ノ轉賣人又ハ轉借人カ更ニ轉賣又ハ轉貸シタル場合亦同シ

前項ノ負擔割合ニ付關係受益者ニ於テ其ノ變更ヲ求メントスルトキハ連署ノ上第二號様式ニ依リ市長ニ之ヲ願出ツヘシ

第五條 規程第七條第四項ノ規定ニ該當スルトキハ新舊受益者連署ノ上遲滞ナク第三號様式ニ依リ其ノ旨市長ニ申告スヘシ

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

第六條 第二條及前條ノ申告ヲ爲ササルトキ又ハ申告事項適當ナラズト認ムルトキハ市長ハ別ニ之ヲ認定ス

第七條 規程第八條ノ規定ニ依リ分割延期ヲ爲サントスルトキハ規程第七條第三項ノ負擔金額決定ノ通知ヲ爲シタル日ヨリ三十日以内ニ第四號乃至第七號様式ニ依リ願書ヲ提出スヘシ

第八條 規程第八條ノ規定ニ依リ負擔金ノ分割延期ニ付提供セシムヘキ擔保ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルコトヲ要ス

一 擔當權其ノ他ノ權利ノ設定ナキ土地ニシテ市長ノ評價額ヲ負擔金額以上タルモノ但シ之ニ要スル登録税ハ各自ノ負擔トス

二 左記有價證券ニシテ負擔金額以上タルモノ但シ大阪市債ハ額面ニ依リ其ノ他ハ時價ノ十分ノ九ヲ以テ算定ス

日本政府發行公債但シ外國ニ於テ發行スル公債ハ採用セズ

東京、大阪、京都、神戸、横濱、名古屋各市發行ノ市債

勸業債券(大券)

興業債券

拓殖債券

大阪農工債券

三 市長ニ於テ適當ト認ムル銀行又ハ信託會社ノ定期預金證書又ハ信託預金證書ニシテ負擔金額以上タルモノ

四 市長ニ於テ負擔金完納ノ資力アリト認ムル者二人ノ保證

五 本市公金取扱銀行又ハ市長ニ於テ適當ト認ムル銀行ノ内一行ノ保證

第九條 削除

第十條 規程第八條ノ規定ニ依リ負擔金ノ分割延期ノ許可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一 指定期限内ニ分割金ヲ納付セザルトキ

二 保證條件第八條ノ規定ニ達セザルニ至リタル場合ニ於テ遲滞ナク増補ヲ爲ササルトキ

三 其ノ他市長ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第十一條 規程第七條第四項ニ依リ新負擔義務者ニ於テ其ノ負擔金ニ付分割延期ヲ爲サントスルトキハ規程第七條第五項ノ通知ノ日ヨリ二十日以内ニ第七條ノ規定ニ準シ願書ヲ提出シ此ノ場合ニ於テハ前負擔義務者ニ許可シタル分割延期期間ヲ超ユルコトヲ得ス

第八條及第十條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用ス

第十二條 規程第十條第一項第五號ノ規定ニ依リ負擔金ノ減免ヲ受ケントスル者ハ規程第七條第二項ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ左ノ事項ヲ具シ第八號様式ニ依リ市長ニ申請スヘシ

一 關係工事路線名

一 減免ヲ受ケントスル土地ノ所在地、地積及間口ノ長

一 用途、供用ノ種別又ハ計畫道路ノ種類及名稱

第十三條 負擔金納付義務者本市内ニ住所又ハ居所ヲ有セザルトキハ負擔金納付ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲本市内ニ住所又ハ居所ヲ有スル納付管理人ヲ定メ市長ニ申告スヘシ其ノ納付管理人ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十四條 負擔金納付義務者九住所又ハ居所ヲ變更シタルトキハ其ノ者ヨリ、死亡シタルトキハ其ノ相続人ヨリ遲滞ナク其ノ旨第十號様式

式ニ依リ市長ニ申告スヘシ
前條ノ納付管理人其ノ住所又ハ居所ヲ變更シタルトキ亦同シ

第一號様式
道路受益者負擔金納付義務者申告書

路線名	線區間至
土地ノ所在地	區 町 丁目 番地
間口總延長	間 分 厘
總地積	坪 合 勺

圖面 符號 ノ長	間口	地積	權利ノ設定		住所 氏名 印
			種類	年月 存続 期間	
			建物所有料無 有目的料ノ區		
			有無別		

右別紙見取圖添付申告候也

昭和 年 月 日 住 所

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

備考 土地所有者
大阪市長 殿

本申告書中間口總延長及總地積ハ權利設定ノ有無ニ拘ラヌ受益者負擔金ヲ課セラルル當該土地ノ間口總延長及總地積ヲ記載スルモノトス

第二號様式
道路受益者負擔金ノ負擔割合變更願

道路 路線名 線區間至

土地ノ所在地 區 町 丁目 番地

地 積 坪 合 勺

前記ノ土地ニ對スル負擔割合ヲ左ノ通御變更相成度連署ノ上長御願候也

負擔金ノ割合

昭和 年 月 日

住 所 氏 名 住 所 氏 名 住 所 氏 名

大阪市長 殿

第三號様式
道路受益者負擔金納付義務者異動申告書

路線名	線區間自	至
工事著手	昭和	年月日
土地ノ所在地	區町丁目	番地
地積	坪合勺	

權利ノ種別
權利ノ移轉
昭和 年 月 日
住 所
氏 名
新受益者
住 所
氏 名

右ノ通權利移轉致候ニ付連署ヲ以テ及申告候也
昭和 年 月 日

大阪市長 殿

第四號様式

一金 受益者負擔金分割延納願

但 線受益者負擔金

第一期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第二期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第三期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第四期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第五期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第六期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第七期納付金 納付期限昭和 年 月 日
右ノ通分割延納致シ度昭和十四年四月一日大阪告示第百九號道路新設擴築受益者負擔ニ關スル規程施行細則第十條知了ノ上分納擔保トシテ左記土地ニ壹番抵當權ヲ設定致度登記承諾書相添及御願候也

大阪市長 殿

第五號様式

一金 受益者負擔金分割延納願

但 線受益者負擔金
第一期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第二期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第三期納付金 納付期限昭和 年 月 日

第四期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第五期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第六期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第七期納付金 納付期限昭和 年 月 日
右ノ通分割延納致シ度昭和十四年四月一日大阪告示第百九號道路新設擴築受益者負擔ニ關スル規程施行細則第十條知了ノ上分納擔保トシテ左記證券提供及御願候也
昭和 年 月 日
住 所
負擔義務者 殿

大阪市長 殿

第六號様式

一金 受益者負擔金分割延納願

但 線受益者負擔金
第一期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第二期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第三期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第四期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第五期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第六期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第七期納付金 納付期限昭和 年 月 日

第九類 財務

第二章 市税、負擔金及手数料

右ノ通分割延納致シ度昭和十四年四月一日大阪告示第百九號道路新設擴築受益者負擔ニ關スル規程施行細則第十條知了ノ上分納履行ヲ保證スルタメ左記證券ニ質權ヲ設定シ質權設定承諾書添付及御願候也
昭和 年 月 日
住 所
負擔義務者 殿

大阪市長 殿

第七號様式

一金 受益者負擔金分割延納願

但 線受益者負擔金
第一期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第二期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第三期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第四期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第五期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第六期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第七期納付金 納付期限昭和 年 月 日
右ノ通分割延納致シ度昭和十四年四月一日大阪告示第百九號道路新設擴築受益者負擔ニ關スル規程施行細則第十條知了ノ上保證人連署及御願候也

住所
負擔義務者
住所
保證人
住所
保證人

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料
昭和 年 月 日

第八號様式 道路受益者負擔金減免申請書

路線名	線區間自	至
減免ヲ受ケントスル土地ノ所在	區	町 丁目 番地
間口ノ長	間	分 厘
地積	坪	合 勺

(供用ノ種別又ハ計畫道路ノ種類及名稱)

用途
右減免相成度此段申請候也
昭和 年 月 日

住所

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料
昭和 年 月 日

第九號様式 道路受益者負擔金納付管理人届

路線名	線區間自	至
負擔義務發生ノ土地	區	町 丁目 番地 外 筆
納付義務者	住所	氏名
納付管理人	住所	氏名

右土地ニ對スル受益者負擔ニ關シ大阪市内ニ住所又ハ居所ヲ有セザルヲ以テ前記ノ者ヲ管理人ニ選定致候ニ付連署此段及御届候也
昭和 年 月 日

納付義務者
住所
納付管理人

大阪市長 殿

第十號様式 道路受益者負擔金納付義務者住所、居所變更届
大阪市長 殿

路線名
線區間自
至
前住所
新住所
右ノ通變更候ニ付此段及御届候也
昭和 年 月 日

納付義務者
住所
大阪市長 殿

大阪市長 殿

道路舗装工事費受益者負擔規程

制定 昭一四、四、一告示二一〇
最近改正 昭一四、一一、一告示七〇一

内務大臣ノ認可ヲ受ケ大阪府道路舗装工事費受益者負擔規程左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大阪府道路舗装工事費受益者負擔規程

第一條 道路ノ舗装工事(小修繕工除外)ニ因リ著シク利益ヲ受ケル者ヲシテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムル場合ハ本規程ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本規程ニ於テ受益者ト稱スルハ第三條ノ負擔區劃内ニ在ル土地ニ付左ニ掲グル者ヲ謂フ但シ市長ノ別ニ定ムル工法ニ依ル工事ニ付テハ當該道路ニ接スル土地ニ付左ニ掲グル者トス
一 有租地ノ所有者、質權者、永小作人、地上權者、賃借人、使用借主及轉借人但シ永小作人、地上權者、賃借人、使用借主及轉借

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

人ニ付テハ建物(假設的ノモノヲ除ク)ノ所有ヲ目的トスルモノ又ハ其ノ權利ノ存續期間十年(工事著手前ニ設定セラレタル權利ノ存續期間ハ工事著手ノ日ヨリ起算ス)ヨリ長キモノニ限ル
二 無租地ニ付左ニ掲グル者但シ一時的ノモノヲ除ク
イ 地租法第二條及地租法以外ノ法令ノ規定ニ依ル無租地(保安林及都市計畫法第三十三條ノ河岸地ヲ除ク)ノ本來ノ用途ニ反スト認ムル方法ニ依リ其ノ使用收益ヲ爲シ又ハ其ノ權利ヲ設定シタル所有者及其ノ權利ヲ有スル者
ロ イ以外ノ無租地ノ永小作人、地上權者、賃借人、使用借主、轉借人及占用權者

第三條 負擔區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ其ノ境界線(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線)ヨリ奥行三十七米ノ地域トス

第四條 前條ノ負擔區劃内ノ受益者負擔額ハ工事費ノ二分ノ一トス但シ其ノ負擔額ハ車道ノ幅員十一米分ニ相當スル工事費ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス
前項但書ノ工事費ハ市長ノ認定スル所ニ依ル

第五條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム
一 第三條ノ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ該當區分内ノ工事費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム
二 前號ノ負擔額ノ半額ヲ舗装ヲ爲スヘキ道路ニ接スル部分ノ長ニ比例シ他ノ半額ヲ地積ニ比例シテ配分ス但シ第二條但書ニ依ル受益者ニ對シテハ前號ノ負擔額ノ全額ヲ舗装ヲ爲スヘキ道路ニ接ス

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

ル部分ノ長ニ比例シテ配分ス

第二條第二號ノ受益者ニ對シテハ前項ノ規定ニ依ル負擔金額ノ範圍内ニ於テ市長ハ別ニ其ノ負擔スヘキ金額ヲ定ムルコトヲ得

同一ノ土地ニ付テハ以上ノ受益者アル場合ニ於テハ前二項ノ規定ニ依ル負擔金額ハ別ニ定ムル分擔割合ニ依リ各受益者之ヲ負擔ス

第一項第一號ノ負擔區、第二項ノ規定ニ依リ定メラレタル金額、前項ノ規定ニ依ル分擔割合ハ市長之ヲ告示ス

第六條 河川、運河、溝渠、鐵道、新設軌道、崖地等ニシテ土地ノ利用ヲ區分スヘキ地物カ第三條ノ地域内ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス

同等以上ノ效用アリト認ムル並行道路カ第三條ノ負擔區劃ノ二倍ノ地域内ニ在ルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス但シ其ノ間隔内ニ前項ノ地物アルトキハ前項ノ例ニ依ル

前二項ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔金ノ算定ニ付テハ負擔區劃ノ限界ナキモノト看做ス

第七條 負擔金ハ其ノ負擔區ノ工事著手ノ日ノ現在ニ依ル受益者ヨリ之ヲ納付セシム

前項ノ工事著手ノ日ハ市長之ヲ告示ス

各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ市長ハ之ヲ受益者ニ通知ス

第二項ノ工事著手ノ日ノ後ニ於テ負擔金ヲ課セラルヘキ土地ノ所有者、質權者、永小作人、地上權者、賃借人、使用借主又ハ轉借人ニ異動アリタルトキハ新ニ其ノ土地ノ當該權利ヲ取得シタル者ヨリ其

ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スヘキ關係ニ該當シタル土地カ五年以内ニ重複シテ本規程ニ依リ負擔金ヲ課セラルヘキ關係ニ該當スルトキ

二 道路ノ鋪裝ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長方適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者アルトキ

三 左ノ土地ニ付テハ其ノ受益者ノ申請ニ依リ必要アリト認ムルトキ

イ 國、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地

ロ 神社寺院祠宇佛堂ノ境内地、教會所説教所ノ境内地及私立學校用地免租ニ關スル法律第一條ニ掲グルモノノ用ニ供スル土地

ハ 都市計畫法第十六條第一項ノ土地

ニ 市街地建築物法第二十六條第二項ノ道路ノ境域内ニ在ル土地

四 其ノ他市長ニ於テ必要アリト認ムルトキ

前項第二號ノ寄附額ハ市長之ヲ評定シ第四條ノ工事費ニ算入ス

第十二條 本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附則 本規程施行前納額告知書ヲ發行シタル負擔金ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

本規程施行前既ニ工事ニ著手シ未タ納額告知書ヲ發行セサル負擔金ニ付テハ本規程ヲ適用ス

附則 (昭一四、二一告示七〇一) 本改正規定ハ昭和十四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

ノ土地ニ關スル未納額(滯納額ヲ除ク)ヲ納付セシム但シ前者ニ於テ納付シタル部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ納付セシムヘキ金額ハ市長之ヲ通知ス

前項ノ通知ヲ爲シタルトキハ前者ノ負擔義務ハ前項ノ金額ノ範圍ニ於テ消滅ス

第八條 市長ハ受益者ヲシテ市長ノ相當ト認ムル擔保ヲ提供セシメ前條第三項ノ決定通知ノ日ヨリ三年ヲ超エサル期間ニ於テ負擔金ノ分割延納ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條 負擔金ハ工事費豫算額ニ依リ算出ス

前項ノ負擔金額カ工事費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ超過額ヲ還付シ不足スルトキハ不足額ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ工事費豫算額及前項ノ工事費精算額ハ市長之ヲ告示ス

第十條 倉庫業者、運送業者、自動車業者、軌道業者、鐵道業者、百貨店業者、規模大ナル旅館業者、興行場經營者其ノ他鋪裝ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニ對シテハ市長ノ別ニ定ムル所ニ依リ特ニ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ負擔金ヲ賦課シタルトキハ其ノ賦課額ヲ第四條ノ受益者負擔金額ヨリ控除ス

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルトアルヘシ但シ第二號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額又ハ工事費額ヲ超ユルコトヲ得ス

一 道路法又ハ都市計畫法ノ規定ニ依リ道路ノ新設、擴張又ハ鋪裝

道路鋪裝工事費受益者負擔規程施行細則

制定 昭一四、四、一告示二二一 最近改正 昭一六、六、告示二九五

大阪市道路鋪裝工事費受益者負擔規程施行細則左ノ通相定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條 大阪市道路鋪裝工事費受益者負擔規程施行細則

第二條 本細則ニ於テ規程ト稱スルハ昭和十四年大阪市告示第二百十號大阪市道路鋪裝工事費受益者負擔規程ヲ謂フ

第三條 規程第二條ノ規定スル權利ノ目的タル土地ノ所有者ハ其ノ土地ノ所在、地積、間口ノ長、土地ノ見取圖、權利ノ種類、設定ノ年月日、存續期間、建物所有ノ目的ノ有無、有料無料ノ區別及權利者ノ住所氏名並關係工事路線名ヲ第一號様式ニ依リ權利者連署ノ上工事著手ノ告示ヲ爲シタル日ヨリ三十日以内ニ市長ニ申告スヘシ

第四條 規程第五條ノ規定ニ依ル負擔區ハ施工方法其ノ他土地ノ狀況ニ依リ其ノ都府市長之ヲ定ム

第五條 規程第五條第三項ノ分擔割合ハ左ノ各號ニ依ル

一 質權ノ設定アル土地 百分ノ七十

二 質權者 百分ノ三十

三 土地所有者 百分ノ三十

四 永小作權、地上權、質貸借、使用貸借及占用權ノ目的タル土地ニ對シテハ左ノ區分ニ依ル

六九九

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

イ 權利ノ存續期間二十年以下ノモノ
 土地所有者 百分ノ七十
 權利者 百分ノ三十
 ロ 同上二十年ヲ超エ三十年以下ノモノ
 土地所有者 百分ノ六十
 權利者 百分ノ四十
 ハ 同上三十年ヲ超ユルモノ
 土地所有者 百分ノ五十
 權利者 百分ノ五十
 三 規程第二條ノ規定ニ依ル所有者以外ノ權利者方其ノ權利ヲ轉質又ハ轉貸シタル場合ニ於テハ前二號ニ依リ當該權利者ノ負擔スヘキ金額ヲ平分ス其ノ轉質人又ハ轉借人方更ニ轉質又ハ轉貸シタル場合亦同シ
 前項ノ負擔割合ニ付關係受益者ニ於テ其ノ變更ヲ求メントスルトキハ連署ノ上第二號様式ニ依リ市長ニ之ヲ願出ツヘシ
 第六條 規程第七條第四項ノ規定ニ該當スルトキハ新舊受益者連署ノ上遲滞ナク第三號様式ニ依リ其ノ旨市長ニ申告スヘシ
 第七條 第三條及前條ノ申告ヲ爲ササルトキ又ハ申告事項適當ナラスト認ムルトキハ市長ハ別ニ之ヲ認定ス
 第八條 規程第八條ノ規定ニ依リ分割延納ヲ爲サントスルトキハ規程第七條第三項ノ負擔金額決定ノ通知ヲ爲シタル日ヨリ三十日以内ニ第四號乃至第七號様式ニ依リ願書ヲ提出スヘシ
 第九條 規程第八條ノ規定ニ依リ負擔金ノ分割延納ニ付提供セシムヘキ擔保ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルコトヲ要ス
 一 抵當權其ノ他ノ權利ノ設定ナキ土地ニシテ市長ノ評價額カ負擔金額以上タルモノ但シ之ニ要スル登録稅ハ各自ノ負擔トス
 二 左ノ有價證券ニシテ負擔金額以上タルモノ但シ大阪市債ハ額面ニ依リ其ノ他ハ時價ノ十分ノ九ヲ以テ算定ス
 日本政府發行公債但シ外國ニ於テ發行スル公債ハ採用セス
 東京、大阪、京都、神戸、横濱、名古屋各市發行ノ市債
 勸業債券(大券)
 興業債券
 拓殖債券
 大阪農工債券
 三 市長ニ於テ適當ト認ムル銀行又ハ信託會社ノ定期預金證書又ハ信託預金證書ニシテ負擔金額以上タルモノ
 四 市長ニ於テ負擔金完納ノ資力アリト認ムル者二人ノ保證
 五 本市公金取扱銀行又ハ市長ニ於テ適當ト認ムル銀行ノ内一行ノ保證
 第十條 削除
 第十一條 規程第八條ノ規定ニ依リ負擔金ノ分割延納ノ許可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ
 一 指定期限内ニ分割金ヲ納付セサルトキ
 二 保證條件方第九條ノ規定ニ違フサルニ至リタル場合ニ於テ遲滞ナク増補ヲ爲ササルトキ
 三 其ノ他市長ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第十二條 規程第七條第四項ニ依リ新負擔義務者ニ於テ其ノ負擔金ニ付分割延納ヲ爲サントスルトキハ規程第七條第五項ノ通知ノ日ヨリ二十日以内ニ第八條ノ規定ニ準シ願出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ前負擔義務者ニ許可シタル分割延納期間ヲ超ユルコトヲ得ス
 第九條及第十一條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用ス
 第十三條 規程第十一條第一項第三號ノ規定ニ依リ負擔金ノ減免ヲ受ケントスル者ハ規程第七條第二項ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ左ノ事項ヲ具シ第八號様式ニ依リ市長ニ申請スヘシ
 一 關係工事路線名
 一 減免ヲ受ケントスル土地ノ所在地、地積及間口ノ長
 一 用途、供用ノ種別又ハ計畫道路ノ種類及名稱
 第十四條 負擔金納付義務者本市内ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ負擔金納付ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲本市内ニ住所又ハ居所ヲ有スル納付管理人ヲ定メ市長ニ申告スヘシ其ノ納付管理人ヲ變更シタルトキ亦同シ
 第十五條 負擔金納付義務者カ住所又ハ居所ヲ變更シタルトキハ其ノ者ヨリ、死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ遲滞ナク其ノ旨第十號様式ニ依リ市長ニ申告スヘシ前條ノ納付管理人其ノ住所又ハ居所ヲ變更シタルトキ亦同シ
 第一號様式
 道路受益者負擔金納付義務者申告書

路線名	線區間
	自 至

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

土地ノ所在地	區 町 丁目	番地	間口總延長	間 分 厘	總地積	坪 合 与	圖面間口地積		權利ノ設定	建物所有目	無料	負擔義務者						
							種類	年月										
							間	坪	日	期	間	無	別	住	所	氏	名	印

右別紙見取圖添付申告候也
 昭和 年 月 日 住 所
 土地所有者
 大阪市長 殿

備考
 本申告書中間口總延長及總地積ハ權利設定ノ有無ニ拘ラス受益者負擔金ヲ課セラルル當該土地ノ間口總延長及總地積ヲ記載スルモノトス

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

第二號様式

道路受益者負擔金ノ負擔割合變更願

路 線 名 線區間自
土地ノ所在地 區 町 丁目 番地
地 積 坪 合 勺
前記ノ土地ニ對スル負擔割合ヲ左ノ通御變更相成度連署ノ上及御願
候也

負擔金ノ割合
昭和 年 月 日

住 所 氏 名
住 所 氏 名
大阪市長 殿

第三號様式

道路受益者負擔金納付義務者異動申告書

路 線 名	線區間自	至
工事 著 手	昭和 年 月 日	
土地ノ所在地	區 町 丁目	番地
地 積	坪 合 勺	

權利ノ種別

納擔保トシテ左記土地ニ壹番抵當權ヲ設定致度登記承諾書相添及御願候也
昭和 年 月 日

住 所
負擔義務者
大阪市長 殿

第五號様式

受益者負擔金分割延納願

一金 但
線受益者負擔金
第一期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第二期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第三期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第四期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第五期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第六期納付金 納付期限昭和 年 月 日
右ノ通分割延納致シ度昭和十四年四月一日大阪市告示第二百一十一號
大阪市道路鋪裝工事費受益者負擔規程施行細則第十一條知了ノ上分
納擔保トシテ左記證券提供及御願候也
昭和 年 月 日

住 所
負擔義務者

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

權利ノ移轉

舊受益者

新受益者

昭和 年 月 日
住 所 氏 名
住 所 氏 名
住 所 氏 名
右ノ通權利移轉致候ニ付連署ヲ以テ及申告候也
昭和 年 月 日

舊受益者
新受益者

第四號様式

受益者負擔金分割延納願

一金 但
線受益者負擔金
第一期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第二期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第三期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第四期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第五期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第六期納付金 納付期限昭和 年 月 日
右ノ通分割延納致シ度昭和十四年四月一日大阪市告示第二百一十一號
大阪市道路鋪裝工事費受益者負擔規程施行細則第十一條知了ノ上分

大阪市長 殿

第六號様式

受益者負擔金分割延納願

一金 但
線受益者負擔金
第一期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第二期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第三期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第四期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第五期納付金 納付期限昭和 年 月 日
第六期納付金 納付期限昭和 年 月 日
右ノ通分割延納致シ度昭和十四年四月一日大阪市告示第二百一十一號
大阪市道路鋪裝工事費受益者負擔規程施行細則第十一條知了ノ上分
納履行ヲ保證スルタメ左記證券ニ質權ヲ設定シ質權設定承諾書相添付
及御願候也
昭和 年 月 日

住 所
負擔義務者

大阪市長 殿

第七號様式

受益者負擔金分割延納願

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

認ムル区域内ノ修繕費ノ三分ノ二以内ヲ負擔セシム
前項ノ費用ヲ負擔スヘキモノ二人以上アルトキハ之ヲ分擔セシム
前項ノ分擔額ハ當廳ニ於テ其ノ損傷ノ原因トナルヘキ事業ノ種類ヲ
考量シテ之ヲ定ム

第六條 國府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル費用
ヲ徵收セサルコトアルヘシ神社寺院祠宇佛堂ノ境内地教會所設教所
ノ構内地學校敷地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地所有者ニ對シテハ本
規程ニ依ル費用ノ負擔ヲ免除スルコトアルヘシ但シ有料借地又ハ他
ノ目的ノ爲使用スル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ土地ヲ住宅ニ兼用スルモノニシテ當廳ニ於テ主トシテ住宅ニ
使用スルモノト認ムルモノハ他ノ目的ノ爲使用スル者ト看做ス

第七條 前條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ免除シ若ハ徵收セサルコトアルモ
他ノ土地所有者ノ負擔額ハ之ヲ增加セス

第八條 負擔金ハ工事著手ノ日ニ於ケル土地所有者ヨリ徵收ス但シ場
合ニヨリ其ノ分納ヲ許可スルコトアルヘシ

第九條 道路ノ鋪裝又ハ修繕ニ要スル費用ヲ補足スル爲物件、勞力又
ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ本規程
ニ依ル負擔金ヲ減免スルコトアルヘシ

當廳ニ於テ適當ト認メタル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル
者ニ對シテハ前項ノ規定ヲ準用ス

第十條 本規程ニ依リ土地所有者ヨリ徵收スヘキ負擔金ハ質權ノ目的
タル土地ニ付テハ質權者十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權又ハ賃借
權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者又ハ賃借權者ヨリ徵收ス

三分ノ二ノ一五%

二 平均損傷率三〇%以上五〇%未滿ノ路線ニ付テハ其ノ修繕費ノ
三分ノ二ノ三〇%

三 平均損傷率五〇%以上ノ路線ニ付テハ其ノ修繕費ノ三分ノ二ノ
五〇%

同一路線ニ二以上ノ同一事業ヲ營ム負擔義務者アルトキハ乗合自動
車業者ニ付テハ其ノ乗入車輛數(許可車輛數)ニ、其ノ他ノ負擔義務
者ニ付テハ其ノ車輛數及車體ノ重量ニ比例シテ前項ニ依リ算出シタ
ル負擔額ヲ分擔セシム

各路線ノ區間及其ノ平均損傷率ハ市長之ヲ認定ス

第四條 負擔金ハ工事費精算額ニ依リ毎年四月ヨリ九月ニ至ル迄ノ分
ヲ十一月ニ、十月ヨリ翌年三月ニ至ル迄ノ分ヲ五月(昭和六年度ニ
限リ六月)ニ徵收ス

前項ノ期間中負擔義務ノ發生又ハ消滅シタル者ニ對シテハ月割ヲ以
テ負擔金ヲ徵收ス

第五條 負擔義務者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ其ノ申請ニ依リ負
擔額ヲ減免スルコトアルヘシ

一 天災又ハ不可抗力ニ因リ引續キ三十日以上ニ互リ事業ヲ休止シ
タルトキ

二 引續キ三十日以上ニ互リ官廳ヨリ事業ノ停止ヲ命セラレ又ハ道
路ノ通行停止ヲ命セラレタルトキ

三 自己ノ都合ニ依リ引續キ九十日以上ニ互リ事業ヲ休止シタルト
キ

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

第十一條 本規程ノ施行ニ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

道路費用一部負擔ニ關スル規程廢止ノ件

大正十年大阪市告示第百十九號道路費用一部負擔ニ關スル規程ハ昭和
十四年四月一日ヨリ之ヲ廢止ス

但シ特ニ路面ヲ損傷セシムヘキ事業ヲ爲ス者ニ對スル負擔金ニ付テ
ハ此ノ限ニ在ラス

道路費用一部負擔ニ關スル規程施行細則左ノ通相定ム

道路費用一部負擔ニ關スル規程施行細則

第一條 大正十年本市告示第百十九號道路費用一部負擔ニ關スル規程
第五條ノ規定ニ依リ負擔金ノ徵收ハ本細則ノ定ムル所ニ依ル

第二條 負擔金算定ノ標準タル修繕費トハ歩道車道ノ區別アル道路ニ
付テハ車道ノ維持修繕ニ要スル費用トス但シ特ニ歩道ヲモ損傷スル
場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 各事業者ノ負擔額ハ其ノ事業者ノ使用スル車輛ニ因ル各路線
ノ平均損傷率ヲ參酌シ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 平均損傷率一五%以上三〇%未滿ノ路線ニ付テハ其ノ修繕費ノ

四 其ノ他市長ニ於テ必要アリト認メタルトキ

附則
本細則ハ昭和五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件

大阪都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件左ノ通相定ム

大阪都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件

第一條 大阪市長ハ都市計畫事業トシテ其ノ執行スヘキ道路ノ新設又
ハ擴築ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシ
ム

第二條 本令ニ於テ受益者ト稱スルハ大正九年內務省令第二十八號ニ
拘ラズ第三條ノ負擔區劃内ニ在ル土地ニ付左ニ掲グル者ヲ謂フ

一 有租地ノ所有者、質權者、永小作人、地主權者、賃借人、使用
借主及轉借人但シ永小作人、地上權者、賃借人、使用借主及轉借
人ニ付テハ建物(假設的ノモノヲ除ク)ノ所有ヲ目的トスルモノ又
ハ其ノ權利ノ存續期間十年(事業者著手前ニ設定セラレタル權利ノ
存續期間ハ事業者著手ノ日ヨリ起算ス)ヨリ長キモノニ限ル

二 無租地ニ付左ニ掲グル者但シ一時的ノモノヲ除ク

イ 地租法第二條及地租法以外ノ法令ノ規定ニ依ル無租地(保安
林及都市計畫法第三十三條ノ河岸地ヲ除ク)ノ本來ノ用途ニ反

スト認ムル方法ニ依リ其ノ使用収益ヲ爲シ又ハ其ノ權利ヲ設定シタル所有者及其ノ權利ヲ有スル者
ロ イ以外ノ無租地ノ永小作人、地上權者、賃借人、使用借主、轉借人及占用權者

第三條 負擔區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ其ノ境界線(街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セザル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線)ヨリ道路(道路ノ一部ヲ成ス廣場ニ在リテハ之ニ接續スル幅員最モ大ナル道路)ノ幅員ノ五倍ノ地域トス
土地ノ狀況ニ依リ前項ノ負擔區劃ヲ擴張スル必要アリト認ムルトキハ前項ノ道路幅員ノ十倍以内ニ於テ内務大臣之ヲ決定ス

第四條 第四項ノ事業費ノ負擔ニ付テハ前二項ノ規定ニ拘ラズ内務大臣ハ別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得

第四條 前條ノ負擔區劃内ノ受益者負擔額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ三分ノ一、道路擴張ノ場合ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トス但シ前條第二項ノ場合ニ於テ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ十分ノ五、道路擴張ノ場合ハ其ノ事業費ノ十分ノ四以内ニ於テ内務大臣之ヲ決定ス

道路擴張ノ場合ニ於テ其ノ擴張道路ノ地積ガ其ノ敷地内ニ在ル舊道路ノ地積ノ三倍以上トナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト看做ス

前項ノ地積ハ第五條第一項第一號ノ區分毎ニ之ヲ計算ス
隧道、橋梁其ノ他特殊ノ工事又ハ特殊ノ物件ノ移轉ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シ

第六條 河川、運河、溝渠、鐵道、新設軌道、崖地等ニシテ土地ノ利用ヲ區分スベキ地物ガ第三條第一項、第二項ノ地域内ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス
同等以上ノ效用アリト認ムル並行道路ガ第三條第一項、第二項ノ負擔區劃ノ二倍ノ地域内ニ在ルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス但シ其ノ間隔内ニ前項ノ地物アルトキハ前項ノ例ニ依ル

前二項ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔金ノ算定ニ付テハ負擔區劃ノ限界ナキモノト看做ス

第七條 負擔金ハ其ノ負擔區ノ事業著手ノ日ノ現在ニ依ル受益者ヨリ之ヲ納付セシム

前項ノ事業著手ノ日ハ市長之ヲ告示スベシ
各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ市長ハ之ヲ受益者ニ通知スベシ

第一項ノ事業著手ノ日ノ後ニ於テ負擔金ヲ課セラルベキ土地ノ所有者、質權者、永小作人、地上權者、賃借人、使用借主又ハ轉借人ニ異動アリタルトキハ新ニ其ノ土地ノ當該權利ヲ取得シタル者ヨリ其ノ土地ニ關スル未納額(滯納額ヲ除ク)ヲ納付セシム但シ前者ニ於テ納付シタル部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ納付セシムベキ金額ハ市長之ヲ通知スベシ
前項ノ通知ヲ爲シタルトキハ前者ノ負擔義務ハ前項ノ金額ノ範圍ニ於テ消滅ス

第八條 市長ハ各受益者ヲシテ市長ノ相當ト認ムル擔保ヲ提供セシメ

タル額ヲ以テ第一項ノ事業費トスルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ控除スル額ハ市長之ヲ告示スベシ

第五條 各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム
一 各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第三條ノ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ該當區分内ノ事業費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム
二 前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帯トシ各地帯ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス
三 道路ニ接スル地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ノ半額ヲ其ノ道路ニ接スル部分又ハ間口ノ利用之ト同等ト認ムル部分ノ長ニ比例シ他ノ半額ヲ其ノ地積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ノ土地ニ對シテハ其ノ地帯ニ配分セラレタル負擔額ヲ其ノ地積ニ比例シテ配分ス

第三條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項第三號ノ間口負擔ノ割合ヲ三分ノ一迄低下シ其ノ殘額ヲ地積ニ比例シテ各當該土地ノ受益者ノ負擔金額ヲ定ムルコトヲ得

第二條第二號ノ受益者ニ對シテハ前二項ノ規定ニ依リ負擔金額ノ範圍内ニ於テ市長ハ別ニ其ノ負擔スベキ金額ヲ定ムルコトヲ得
同一ノ土地ニ付テハ以上ノ受益者アル場合ニ於テハ前三項ノ規定ニ依リ負擔金額ハ市長ノ定ムル分擔割合ニ依リ各受益者之ヲ分擔ス

第一項第一號ノ負擔區、第二號ノ地帯及率、第二項ノ規定ニ依リ定メタル間口負擔ノ割合、第三項ノ規定ニ依リ定メタル金額、前項ノ規定ニ依リ分擔割合ハ市長之ヲ告示スベシ

且利子ニ相當スル増負擔金ヲ納付セシメ前條第三項ノ決定通知ノ日ヨリ七年ヲ超エザル期間ニ於テ負擔金ノ分割延納ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條 負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ算出ス
前項ノ負擔金額ガ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第二號及第三號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額、工事費額又ハ提供額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路ノ新設若ハ擴張又ハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スベキ關係ニ該當シタル土地ガ五年以内ニ重複シテ本令ニ依リ負擔金ヲ課セラルベキ關係ニ該當スルトキ

二 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者アルトキ

三 道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル土地ヲ土地區劃整理ノ施行ニ依リ無償ニテ國若ハ公共團體ノ所有地ニ編入シ又ハ無償ニテ提供シタルトキ

四 土地ノ狀況ニ依リ市長ニ於テ必要アリト認ムルトキ

五 左ノ土地ニ付テハ其ノ受益者ノ申請ニ依リ必要アリト認メタルトキ

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

イ 國、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地
ロ 神社寺院祠宇佛堂ノ境内地、教會所、説教所ノ構内地及私立學校用地免租ニ關スル法律第一條ニ掲グルモノノ用ニ供スル土地

ハ 都市計畫法第十六條第一項ノ土地

ニ 市街地建築物法第二十六條第二項ノ道路ノ境域内ニ在ル土地
前項第二號及第三號ノ寄附額又ハ提供額ハ市長之ヲ評定シ第四條ノ事業費ニ算入ス

第十一條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年內務省令第十七號ハ之ヲ廢止ス

本令施行前納額告知書ヲ發行シタル負擔金(負擔金ノ一部ニ付納額告知書ヲ發行シタルモノニ付テハ其ノ全部)ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル但シ負擔金ノ未納額ニ付テハ第七條第四項乃至第六項及第八條ノ規定ヲ適用ス此ノ場合ニ於テハ最初ノ納額告知書發行ノ日ヲ以テ第七條第三項ノ決定通知ノ日ト看做ス
本令施行前既ニ事業ニ著手シ未ダ納額告知書ヲ發行セザル負擔金ニ付テハ本令ヲ適用ス

所有者 百分ノ三十
ニ 永小作權、地上權、賃貸借、使用貸借及占用權ノ目的タル土地
ニ對シテハ左ノ區分ニ依ル

イ 權利ノ存續期間二十年以下ノモノ
土地所有者 百分ノ七十

權利者 百分ノ三十
ロ 同上二十年ヲ超エ三十年以下ノモノ
土地所有者 百分ノ六十

權利者 百分ノ四十
ハ 同上三十年ヲ超ユルモノ
土地所有者 百分ノ五十

權利者 百分ノ五十
三 省令第二條ノ規定ニ依ル所有者以外ノ權利者カ其ノ權利ヲ轉賣又ハ轉貸シタル場合ニ於テハ前二號ニ依リ當該權利者ノ負擔スヘキ金額ヲ平分ス其ノ轉賣人又ハ轉借人カ更ニ轉賣又ハ轉貸シタル場合亦同シ

前項ノ負擔割合ニ付キ關係受益者ニ於テ其ノ變更ヲ求メムトスルトキハ連署ノ上第二號様式ニ依リ市長ニ之ヲ願出ツヘシ

第五條 省令第七條第四項ノ規定ニ該當スルトキハ新舊受益者連署ノ上遲滞ナク第三號様式ニ依リ其ノ旨市長ニ申告スヘシ

第六條 第二條及前條ノ申告ヲ爲ササルトキ又ハ申告事項適當ナラスト認ムルトキハ市長ハ別ニ之ヲ認定ス

第七條 省令第八條ノ規定ニ依リ分割延納ヲ爲サムトスルトキハ省令

第九類 財務 第二章 市税、負擔金及手数料

都市計畫事業道路新設擴張受益者負擔ニ關スル件施行細則

制定 昭八、五、一一 告示一四七
最近改正 昭一四、九、 告示五八九

昭和八年五月內務省令第十四號大阪都市計畫事業道路新設擴張受益者負擔ニ關スル件施行細則左ノ通相定ム
大阪都市計畫事業道路新設擴張受益者負擔ニ關スル件施行細則

則

第一條 本細則ニ於テ省令ト稱スルハ昭和八年內務省令第十四號大阪都市計畫事業道路新設擴張受益者負擔ニ關スル件ヲ謂フ

第二條 省令第二條ノ規定スル權利ノ目的タル土地ノ所有者ハ其ノ土地ノ所在、地積、間口ノ長、土地ノ見取圖、權利ノ種類、設定ノ年月日、存續期間、建物所有ノ目的ノ有無、有料無料ノ區別及權利者ノ住所氏名並關係事業路線名ヲ第一號様式ニ依リ權利者連署ノ上事業著手ノ告示ヲ爲シタル日ヨリ三十日以内ニ市長ニ申告スヘシ

第三條 省令第五條ノ規定ニ依ル負擔區、地帶及率ハ施工方法其ノ他土地ノ狀況ニ依リ其ノ都度市長之ヲ定ム

第四條 省令第五條第四項ノ分擔割合ハ左ノ各號ニ依ル
一 質權ノ設定アル土地 百分ノ七十

第七條第三項ノ負擔金額決定ノ通知ヲ爲シタル日ヨリ三十日以内ニ第四號乃至第七號様式ニ依リ願書ヲ提出スヘシ

第八條 省令第八條ノ規定ニ依リ負擔金ノ分割延納ニ付キ提供セシムヘキ擔保ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルコトヲ要ス
一 抵當權其ノ他權利ノ設定ナキ土地ニシテ市長ノ評價額カ負擔金額以上タルモノ但シ之ニ要スル登録税ハ各自ノ負擔トス

二 左記有價證券ニシテ負擔金額以上タルモノ但シ大阪市債ハ額面ニ依リ其ノ他ハ時價ノ十分ノ九ヲ以テ算定ス
日本政府發行公債但シ外國ニ於テ發行スル公債ハ採用セス
東京、大阪、京都、神戸、横濱、名古屋各市發行ノ市債
勸業債券(大券)

興業債券
拓殖債券
大阪農工債券

三 市長ニ於テ適當ト認ムル銀行又ハ信託會社ノ定期預金證書又ハ信託預金證書ニシテ負擔金額以上タルモノ

四 市長ニ於テ負擔金完納ノ資力アリト認ムル者二人ノ保證
五 本市公金取扱銀行又ハ市長ニ於テ適當ト認ムル銀行ノ内一行ノ保證

第九條 削除
第十條 省令第八條ノ規定ニ依リ負擔金ノ分割延納ノ許可ヲ受ケタル者左記各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一 指定期限内ニ分納金ヲ納付セザルトキ